

令和04年度 江井ヶ島松陰新田線道路改良工事

工事設計図書  
(当初設計)

工事番号

路線名等 市道大久保840号線

工事箇所 明石市大久保町松陰新田地内

工 種 道路改良



# 特記仕様書

工 事 名	江井ヶ島松陰新田線道路改良工事
工 事 場 所	明石市大久保町松陰新田地内
工 期	契約締結日の翌日から令和5年3月10日まで

## 第1条 総則

### 1-1. 適用

本仕様書は、明石市都市局道路安全室道路整備課が発注する、『江井ヶ島松陰新田線道路改良工事』に適用する。

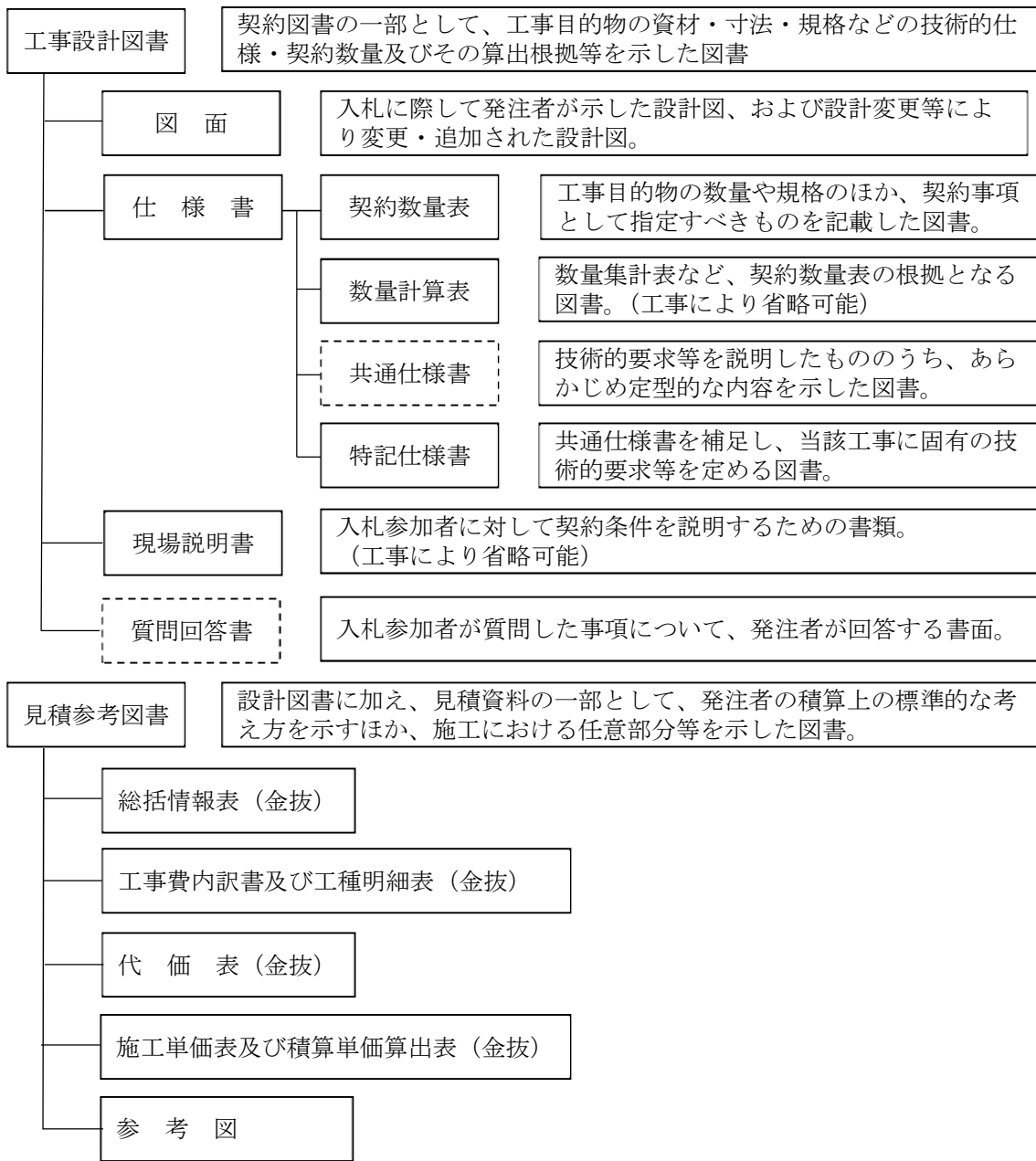
設計図書に記載されていない事項は、兵庫県土木請負工事必携（令和3年10月一部改訂版）、兵庫県土木工事共通仕様書（令和3年10月一部改訂版）、兵庫県土木工事施工管理基準（令和3年10月一部改訂版）、「小型構造物標準図集」（平成30年9月（第3回改訂版）兵庫県土木整備部）（以下、「小型図集」と称する。）ならびに、土木学会「コンクリート標準示方書（最新の改訂版）」によるものとする。（その他追加・改訂通知を含む）

### 1-2. 設計図書

本工事においては、明石市工事請負契約約款第1条に規定するものを設計図書とする。

設計図書の他に交付する「見積参考図書」とは入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、明石市工事請負契約約款第1条でいう設計図書ではない。

従って、「見積参考図書」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件及び地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。なお、「見積参考図書」の有効期限は本工事の入札（見積日）までとする。



### 1-3 現場代理人の兼務

本工事については、現場代理人の他工事との兼務を認める。

### 1-4. 施工範囲に関する留意事項

工事内容のうち、現場条件等（現況地盤の状況等）により工事内容を変更する可能性がある。よって、工事着手前に工事内容について監督員の確認を受けるものとする。なお、工事内容に変更を伴う場合は、監督員の指示によるものとし、設計変更の対象とする。

施工中に設計変更が生じる場合（交通誘導員の人数の変更含む）、必ず事前に監督員と文

書にて協議すること。協議文書無き事項は設計変更の対象にならない。

#### 1-5. 設計図書の照査

受注者は、施工前及び施工途中において、自らの費用負担において設計図書の照査を行い、施工条件と工事現場が一致しない等の事実を発見したときは、監督員にその事実が確認できる資料を書面により提出し、確認を求めなければならない。

#### 1-6. 施工計画書

受注者は、工事着手前に施工計画書を監督員に提出し、監督員の承諾を得た後に着手しなければならない。

#### 1-7. 工事カルテ

受注者は、受注時または変更時において工事請負代金額が 500 万円以上の工事について、工事实績情報サービス (CORINS) に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、完成時は工事完成後 10 日以内に、監督員の確認を受けたうえ、登録機関に登録申請しなければならない。なお、登録内容に訂正が必要な場合は、工事实績情報サービス (CORINS) に基づき、「訂正のための確認のお願い」を作成し、訂正があった日から 10 日以内に、監督員の確認を受けたうえ、登録機関に登録申請しなければならない。

変更登録は、工期又は技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金額が 2,500 万円を跨いで変更があった場合には、変更後の請負代金額に則った登録を行うものとする。

また、登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が 10 日に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

#### 1-8. 施工体制台帳

(施工体制台帳)

施工体制台帳の提出が必要な工事について、受注者は、所定様式 (工事担当技術者) を追加して施工体制台帳を作成し工事現場に備えるとともに、監督員に提出するものとする。なお、様式には監理技術者、主任技術者 (下請負を含む) 及び元請負の専門技術者 (専任している場合のみ) の顔写真、氏名、生年月日、所属会社名を記載するものとする。

下請負に関する契約書の写しは、施工体制台帳に添付するものとし、現地に備え付けるものとする。

(現場の管理)

受注者は監理技術者、主任技術者 (下請負を含む) 及び元請負の専門技術者 (専任してい

る場合のみ)に、工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させるものとする。

施工体系図は、現地の見やすい場所に掲示すること。

工事関係車両の夜間駐車及び現場外駐車を行わず適切な管理を行うこと。

## 1-9. 建設副産物

(再生資源の利用の促進)

受注者は、建設副産物適正処理推進要綱(建設事務次官通達、平成14年5月30日)を遵守して、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図らなければならない。

### 1. 提出様式

本工事については、再生資源の活用に関する法律に基づく再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成するものとする。

なお、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画及びその実施状況の記載する様式については、建設副産物対策近畿地方連絡協議会が発行する再生資源利用【促進】計画書(実施書)を使用するものとする。

### 2. 提出方法

作成した再生資源利用【促進】計画書(実施書)は、1部は自社で工事間完成後1年間保管し、計画書は1部、実施書は1部と再生資源利用【促進】入力システムを用いて作成した実施書を監督員に提出するものとする。

- ・工事着手前:「再生資源利用促進計画書」

施工計画書に計画書を添付する。

- ・工事完成後:「再生資源利用促進実施書」

書面による計画書・実施書及び実施書を竣工図書として提出する。

(ガラ処分について)

1. 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律「建設リサイクル法」に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

2. アスファルト・コンクリートガラは、中間処理(再資源化)とする。

ガラ運搬については処分地まで直接運搬とする。

又、ガラの運搬に際し、シート等にて飛散しないようにし、一般利用者に迷惑のかからないように留意すること。

交通法規を遵守し、特に過積載のないよう管理すること

特定建設資材廃棄物の搬出先は、積算条件として、以下を設定している。

再資源化等をする施設の名称及び所在地等

特定建設資材廃棄物の種類	土砂
施設の名称	田口建材(株)
運搬距離	6.0km
積算数量	420m <sup>3</sup> 、190m <sup>3</sup>
所在地	明石市大久保町松陰 1126-53
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による。

特定建設資材廃棄物の種類	土砂（小規模）
施設の名称	田口建材(株)
運搬距離	6.0km
積算数量	13m <sup>3</sup> 、6m <sup>3</sup>
所在地	明石市大久保町松陰 1126-53
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による。

特定建設資材廃棄物の種類	石
施設の名称	(有) 榎谷リサイクルセンター
運搬距離	22.3km
積算数量	30m <sup>3</sup>
所在地	神戸市西区榎谷町寺谷 1242-684
受入等諸条件	当該施設へお問合せください。
その他	監督員の指示による。

特定建設資材廃棄物の種類	コンクリート(鉄筋)
施設の名称	田口建材(株)
運搬距離	6.4km
積算数量	6m <sup>3</sup>
所在地	明石市大久保町松陰 1126-53
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による。

特定建設資材廃棄物の種類	アスファルト殻（小規模）
施設の名称	(株)美建
運搬距離	7.6km
積算数量	0.7m <sup>3</sup> 、0.7m <sup>3</sup> 、0.2m <sup>3</sup>
所在地	神戸市西区上新地3丁目12-4
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による。

上表については、積算条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではない。

受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。なお、受注者の選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。

ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設からの登録抹消等により受け入れ困難となった場合は、設計変更を行う。

#### 1-10. 段階確認

受注者は、兵庫県土木工事共通仕様書に定める工種については、事前に立会願を監督員に提出し段階確認を受けなければならない。

#### 1-11. 履行報告

受注者は、工事履行報告書を別添の様式に基づき作成し、工程表及び工事状況写真を添付し、毎月末に監督員に提出しなければならない。

#### 1-12. 工事中の安全確保

(法令遵守)

受注者は、関係諸法規を遵守し、現場内外の安全管理に万全を期し、工事施工に伴う諸手続きは、受注者の責任において関係諸官庁に提出し許可を得ること。

(地下埋設物件の事故防止)

1. 工事の施工にあたって予想される地下埋設物件は、管理者と現地立会のうえ、当該物件の位置・深さを確認し、保安対策について十分打合せを行ない、事故の発生を防止すること。
2. 受注者の責により地下埋設物件に損害を与えた場合は、すみやかに監督員に報告するとともに関係機関に連絡し応急措置をとり、受注者の負担によりこれを補修しなければならない。
3. 埋設物件等の管理者不明のものがある場合は、監督員に報告し、その処置については、占用企業者全体の立会を求め、管理者を明確にしなければならない。その結果、死管の処置を受注者が企業者より依頼を受けた場合には、文書によってその責任を明確にして



おこななければならない。

(道路付属物ならびに占用物件の処置)

工事施工のため支障となる道路の付属物並びに占用物件がある場合には、その処置について予め監督員と打合せを行うものとする。

### 1-13. 環境対策

(低騒音型・超低騒音型の使用)

本工事箇所は、特に生活環境を保全する必要がある地域であるので、施工にあたっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定にもとづき指定された建設機械を使用すること。

(排出ガス対策型建設機械)

本工事において下表に示す建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、「建設技術評価制度」又は「民間開発建設技術の審査証明事業」により評価された「排出ガス浄化装置」を装着した建設機械を使用することで同等とみなす。

ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。

上記において、「これにより難しい場合」とは、受注者の都合で調達できない場合を含むものとする。

なお、施工現場において使用する建設機械が排出ガス対策型建設機械であることを確認できる写真を撮影し、完成書類として提出するものとする。

機 種	備 考
<ul style="list-style-type: none"><li>・バックホ</li><li>・トラクタショベル (車輪式)</li><li>・ブルドーザ</li><li>・発動発電機 (可搬式、溶接兼用機含)</li><li>・路面切削機 (ホイール式・廃材積込装置付)</li><li>・空気圧縮機 (可搬式)</li><li>・油圧ユニット</li></ul> <p>(以下に示す基礎工事用機械のうち、パースマシーンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの：</p> <p>油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入・引抜機、アースオーガ、ホルケーシング掘削機、リバーサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型ホルケーシング掘削機)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ</li><li>・ホイールクレーン</li></ul>	ディーゼルエンジン (エンジン出力 7.5kw 以上、260kw 以下) を搭載した建設機械 に限る

## 1-14. 交通安全管理

### (安全対策費)

安全対策については、交通誘導員を計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合わせの結果により変更等が生じた場合は監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。また、条件変更及び受注者にて特に必要と認めた場合は、その対策等について監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

### (安全施設類)

標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置する他、道路管理者及び所轄警察署と打合わせを行い実施するものとする。なお、打合わせの結果又は条件変更等に伴い、道路保安施設設置基準（案）以上の保安施設類が必要な場合、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

### (交通誘導員の配置)

1. 交通誘導員については、道路管理者及び所轄警察署の打合わせの結果に従い適正に配置し、道路使用許可証（警察署提出）を遵守すること。打ち合わせの結果又は、条件変更に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

なお、交通誘導員 A,B の定義は次のとおり。

交通誘導員 A : 警備業者の警備員（警備業法第 2 条第 4 項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第 1 条第 4 号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る 1 級検定合格警備員又は 2 級検定合格警備員

交通誘導員 B : 警備業者の警備員で、交通誘導員 A 以外の交通の誘導に従事するもの。

### (交通誘導員の配置)

本工事における交通整理箇所については、作業中は交通誘導員を常時配置するものとし、休憩時等における交替要員を考慮するものとする。

なお、カルバート工（市道横断部）については、市道の通行止めを想定しているため、交通誘導員は 24 時間配置すること。

### 【本工事】

施工内容	編成	昼夜間	備考
カルバート工 (市道横断部)	交通誘導警備員 B : 7 名	昼間	市道横断部のカルバート据付に伴う工事に適用 人数に交替誘導員 1 名含む
カルバート工 (上記以外)	交通誘導警備員 B : 2 名	昼間	

本工事 (カーポート工 以外)	交通誘導警備員 B : 1 名	昼間	
-----------------------	-----------------	----	--

**【附帯工事】**

施工内容	編成	昼夜間	備考
カーポート工 (市道横断部)	交通誘導警備員 B : 7 名	夜間	当該工事では通行止めを 想定し、24 時間配置とする ただし、【本工事】で計上し た人数を除く 人数に交替誘導員 1 名含む
附帯工事 (上記以外)	交通誘導警備員 B : 1 名	昼間	

(安全教育・研修訓練)

工事現場における安全対策の重要性に鑑み、全工事・全作業員を対象とし、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全教育・研修訓練を行うものとする。また、実施項目については、施工計画書に本工事の内容に即した安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督員に提出するものとする。

- 1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
- 2) 当該工事内容等の周知徹底
- 3) 土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
- 4) 当該工事における災害対策訓練
- 5) 当該工事現場で予想される事故対策
- 6) その他、安全・訓練等として必要な事項

安全教育・研修訓練は、工事期間中月 1 回(半日)以上実施し、監督員に実施状況報告書を提出するものとする。

なお、安全教育・研修訓練に要する必要な費用(労務者の日当)は、現場管理費に含んでいる。

**1-15. 諸法令の遵守**

(道路法等の遵守)

受注者は、道路法、道路運送車両法及び道路交通法の趣旨に基づき、資材運搬等に必要車両の諸元について当該法律を遵守しなければならない。

(過積載による違法運行の防止について)

受注者は過積載防止について、その具体的内容を施工計画書に記載するものとする。

(不正軽油の使用の禁止)

1. 受注者は、工事の施工にあたり、使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第700条の22の2（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。
2. 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合には、速やかに是正措置を講じなければならない。

（特殊車両通行許可制度の徹底）

道路法第47条の2に基づく通行許可の確認において、受注者は下記の資料を監督員に提出し、確認を得なければならない。

車両制限令第3条における一般制限値を超える車両について

- ① 施工計画書に一般的制限値を超える車両を記載
- ② 出発地点、走行途中、現場到着地点における写真（荷姿全景、ナンバープレート等通行許可書と照合可能な写真）なお、走行途中の写真撮影が困難な場合は監督員の承諾を得て省略できるものとする。
- ③ 通行許可書の写し
- ④ 夜間通行が条件の場合、車両通行記録計（タコグラフ）の写し

## 第2条 材料

### 2-1. 適用

(品質規格)

本工事に使用する材料の品質規格は、共通仕様書及び「小型図集」によるものとする。

### 2-2. セメントコンクリート製品

本工事に使用するセメントコンクリート製品は、共通仕様書及び「小型図集」によるものとする。なお、「小型図集」に示す構造規格を満足する側溝等の使用に当たっては、監督員の承諾を得て使用することができるものとし、それに係る請負代金の変更は行わないものとする。

### 2-3. アスファルト舗装及び路盤

(アスファルト混合物)

1. 受注者は、加熱アスファルト混合物を使用する場合は、以下の資料を提出し承諾を受けなければならない。
  - ① アスファルト合材配合統一用紙を提出した合材を使用する場合  
アスファルト混合物配合設計総括表を提出すること。  
ただし、監督員が必要を認めた場合には、アスファルト混合物設計のバックデータ及び使用材料の試験成績表の資料を提出しなければならない。
  - ② アスファルト混合物事前審査委員会が認定した合材を使用する場合  
事前審査制度認定書（認定書、混合物総括表）の写しを監督員に提出しなければならない。
  - ③ 上記によらない場合  
共通仕様書第2編材料編第2章材料第18節アスファルトコンクリートによらなければならない。
2. アスファルト合材統一用紙を提出した混合物またはアスファルト混合物事前審査制度認定混合物を使用する場合は、土木工事共通仕様書によらず、アスファルト混合物及びその材料に関する品質証明、試験成績表の提出並びに配合設計、試験練りを省略することができる。
3. 配合統一用紙または事前審査制度認定書による場合の「品質管理基準」の材料及びプラントについては、以下のとおりとする。

工種	種別	試験区分	試験項目	試験基準	
				配合統一用紙	事前審査制度認定書
ア ス フ ア ル ト 舗 装	材 料	必須	塑性変形輪数	混合所自主管理*1	混合所自主管理*2
			土木施工管理基準 「品質管理基準」の全項目	アスファルト混合物配 合設計総括表の提出に かえるものとする。	事前審査制度認定書 (認定書、混合物総括 表)の提出にかえるも のとする。
		その他	土木施工管理基準 「品質管理基準」の全項目		
		試験配合			
	プ ラ ン ト	必須	混合物のアスファルト量抽出 混合物の粒度分析試験 湿度測定(混合物)	混合所自主管理*1	混合所自主管理*2
			基準密度の決定	アスファルト混合物配 合設計総括表の提出に かえるものとする。	事前審査制度認定書 (認定書、混合物総括 表)の提出にかえるも のとする。

※1 監督員から指示のあった場合は、試験結果を提出するものとする。

※2 監督員から指示のあった場合は、試験結果一覧表提出するものとする。

## 第3条 その他

### 3-1. 産業廃棄物管理票

受注者は、本工事で排出される建設廃棄物を現場外に搬出して処理(再資源化施設、積み替え保管場所経由で最終処分)する場合、産業廃棄物管理票(マニユフェスト)により、適正に処理されていることを確認するものとする。

### 3-2. 工事測量

工事着手後直ちに測量を実施し、測量標(仮BM)、用地境界、中心線、縦断、横断等を確認しなければならない。

測量結果が設計図書に示されている数値と差異を生じた場合は速やかに監督員へ報告するとともに、指示を受けること。

### 3-3. 品質管理

コンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては55%以下、無筋コンクリートについては60%以下としなければならない。

鉄筋のかぶりを確保するためスペーサーを構造物の側面については1㎡につき2個以上、底面については4個以上設置すること。

レディミクストコンクリートの使用にあたっては、品質確保の観点から、「2017年制定コンクリート標準示方書(施工編)」に基づき、工場を選定すること。

### 3-4. 写真管理

工事写真の管理については、写真管理基準(土木工事施工管理基準)に準じるものとし、デジタル写真で提出する場合は、デジタル写真管理情報基準(案)に準じること。

### 3-5. 注意事項

- ① 関係各署における各届出書は期限までに必ず提出すること。
- ② 関係機関における連絡は確実に実施すること。特に地元自治会や小学校等において工事のPRを市の監督員と協議し、徹底すること。施工時期、施工方法、施工時間については各関係機関の承諾を得てから施工すること。
- ③ 民地との取り合い部において、隣接者と高さ等の調整が発生する場合は、各隣接者に個別に対応を行うこと。
- ④ 各工事中のすりつけ及び段差表示等安全対策は、特に徹底すること。民地や現道とのすりつけは入念に行うものとし、段差が生じる場合には、注意看板の設置や夜間照明等の安全対策を行うこと。
- ⑤ 工事中の仮区画線の明示・工事予告看板の設置を徹底すること。
- ⑥ 本工事の施工上知り得た情報を他人に漏らしたり、利用したりしてはならない。
- ⑦ 各工種においては、現地の状況等により数量変更の可能性があることを認識し、変

更が生じた場合は監督員と協議し速やかに対応すること。

- ⑧ 最終の設計変更に伴う資料については、工期の 1 ヶ月前までに受注者が十分精査したうえで提出すること。設計変更資料が工期の 1 ヶ月前を過ぎて提出された際は、設計変更の対象にならない。
- ⑨ 設計図書に変更が生じた場合や、その他地元協議等によるものも含め変更に伴う測量・施工図面の修正・新規追加及び数量計算については、受注者の負担により行うものとする。
- ⑩ 工事完了時、出来形成果表及び完成図面を紙ベース（1 部）並びに電子データにて監督職員へ提出するものとする。
- ⑪ 公共基準点の有無について確認し、監督職員に報告すること。公共基準点の周辺にて施工する場合は、「明石市公共基準点管理保全要綱」に基づき適正に申請及び復元等の処理をすること。
- ⑫ 施工の影響でやむを得ず官民境界標を亡失した場合は、必ず復旧すること。
- ⑬ 安全施設類においては、周辺住民の生活環境への配慮をすること。
- ⑭ 受注者は施工に際し周辺構造物等の保全について十分配慮し、事前、事後の確認を行い、損傷を及ぼした場合は、受注者の責において真摯に対応し、原形復旧すること。
- ⑮ 工事の施工中に埋蔵文化財等を発見した場合は直ちに作業を一時中断し、その取り扱いについて監督職員の指示を受けること。
- ⑯ 仮設用水及び仮設電気の申請・届出とも費用はすべて受注者の負担とする。
- ⑰ 明石市契約約款に記載されている保険については必ず加入すること。
- ⑱ 事故や苦情が発生した場合は、速やかに対応し、処置状況を監督職員に連絡すること。また、工事着手前に周辺地権者との調整を積極的に行い、未然に苦情がないように努めること。
- ⑲ 構造物を境界上に設置する場合は、測量・立会等により境界を確認の上設置すること。もし、境界点や境界ラインに構造物が設置されていないと事後発覚した場合は、受注者の負担で再度構造物を設置しなおすこと。
- ⑳ 長期現場の作業を休止する場合は、事前に緊急時の連絡体制についてとりまとめ、監督職員へ提出する。
- 21 計画工程に基づき実施工程、出来高曲線について管理すること。また、週間工程表を監督職員へ提出すること。
- 22 排水構造物（JIS 側溝、可変側溝）は、地権者協議、設計照査に連動して数量・構造・規格変更の可能性がある。併せて、関連する集水樹の設置を増工することがある。その場合、監督員から指示を行い、設計変更を行う。
- 23 事前測量の結果、各構造物計画高さ和田畑の地盤高さに利水上の不整合が発生する場合、監督員と協議を行うこと。
- 24 民地内施工の際は、地権者と日程調整や影響範囲について調整を行ったうえで施



工を行うこと。

- 25 本工事箇所は耕作地域である。周辺の作物やビニルハウスへ土埃や粉塵等の影響が及ぶ可能性がある場合は、仮囲い等の対策を行うこと。なお、対策費については共通仮設費率に含まれている。
- 26 施工の際に機材進入路が別途必要な場合、進入路の位置、施工方法など施工計画を監督員と協議の上、施工すること。また、進入路を構築する土材料はCBR調査を行ったうえで採用すること。なお、これにかかる内容は設計変更を行う。
- 27 安定処理工におけるセメント系固化材の使用量は参考値である。路床安定処理工については、施工前に材料のCBR試験を行い、CBR20以上であることを確認すること。また、施工後は品質管理基準に記載されているCBR試験でCBR20以上であることを確認すること。
- 28 現場打L型擁壁工およびボックスカルバート工の安定処理工については、施工前に配合試験を行い、図面記載の必要地耐力を達成できる添加量を確認できた後、施工に入ること。また、現場打L型擁壁工およびボックスカルバート工を行う前に平板載荷試験を行い、図面記載の必要地耐力以上あることを確認すること。
- 29 本工事の施工順序について、現場打L型擁壁およびそれに係る工事を優先することとし、それらについては2022年内に完成させること。
- 30 現場打L型擁壁は検査完了後、地権者へ引渡しする構造物である。地権者へ引渡しするための書類を作成すること。書類とは、図面や写真等とし、監督員と協議の上、作成するものとする。
- 31 現場打L型擁壁は明石市「宅地造成等規制法による宅地造成技術基準マニュアル（解説編）」に準拠するものである。特記事項は図面へ記載している。
- 32 地盤改良工ではセメント系固化材を使用するため、施工前と施工後に、兵庫県土木工事施工管理基準に記載されている、六価クロム溶出試験を行うこと。なお、試験方法は、セメント及びセメント系固化材を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。
- 33 地盤改良工で使用するセメント系固化材は発塵抑制型とすること。周辺の田畑等に影響が及ばないように施工すること。
- 34 集水桝へ設置する堰板の費用（材工共）は本工事に含まれているものとする。
- 35 工事期間中に電柱移設が必要であることから、各占用業者及び監督員と調整を行うこと。

# 契約数量表

	費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
本工事費						
道路改良						
道路土工						
掘削工						
掘削			式		1	
掘削		土砂 オープンカット	m3		450	
作業土工						
床掘り			式		1	
床掘り						
床掘り						
床掘り						
埋戻し			式		1	
埋戻し						
埋戻し						
埋戻し						
残土処理工						
土砂等運搬			式		1	
土砂等運搬						

# 契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
残土等処分		式		1	
処分費					
地盤改良工					
路床安定処理工					
安定処理		式		1	
安定処理					
安定処理工(擁壁)					
安定処理(擁壁)		式		1	
安定処理					
安定処理					
安定処理					
安定処理工(カバート)					
安定処理(カバート)		式		1	
安定処理					
擁壁工					
場所打擁壁工(構造物単位)					
現場打L型擁壁1号	L=16.8m	式		1	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	m3		2	

# 契約数量表

頁0-0003/0013

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
型枠	一般型枠	m2		3	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	m3		2	
型枠	一般型枠	m2		3	
コンクリート(場所打擁壁)	コンクリート(各種)	m3		12	
型枠	一般型枠	m2		44	
鉄筋工	異形棒鋼 (SD345) D13mm	t		1.05	
一般用硬質塩化ビニル管 (VP管)	径75mm×厚5.5mm×長4000mm	本		0.3	
吸出防止材設置		m2		0.4	
吸出し防止シート(ポリエステル不織布)	5mm厚以上, 90kgf/5cm以上	m2		0.4	
宅地擁壁用透水マット		m2		9	
目地板	瀝青質目地板 t=10mm	m2		0.7	
現場打L型擁壁 2号	L=25.6m	式		1	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	m3		3	
型枠	一般型枠	m2		5	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	m3		3	
型枠	一般型枠	m2		5	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	m3		13	
型枠	一般型枠	m2		47	

# 契約数量表

費目・工種明細など	規格 1・規格 2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
鉄筋工	異形棒鋼 (SD345) D13mm	t		0.56	
一般用硬質塩化ビニル管 (VP管)	径75mm×厚5.5mm×長4000mm	本		0.2	
吸出防止材設置		m2		0.3	
吸出し防止シート (ポリエステル不織布)	5mm厚以上, 90kgf/5cm以上	m2		0.3	
宅地擁壁用透水マット		m2		7	
目地板	瀝青質目地板 t=10mm	m2		1.5	
現場打型擁壁 3号	L=5.9m	式		1	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	m3		1	
型枠	一般型枠	m2		1	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	m3		1	
型枠	一般型枠	m2		1	
コンクリート (場所打擁壁)	コンクリート (各種)	m3		5	
型枠	一般型枠	m2		20	
鉄筋工	異形棒鋼 (SD345) D13mm	t		0.39	
一般用硬質塩化ビニル管 (VP管)	径75mm×厚5.5mm×長4000mm	本		0.1	
吸出防止材設置		m2		0.1	
吸出し防止シート (ポリエステル不織布)	5mm厚以上, 90kgf/5cm以上	m2		0.1	
宅地擁壁用透水マット		m2		4	

# 契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
カルバート工					
プレキャストカルバート工					
プレキャストボックス		式		1	
ボックスカルバート	作業区分->据付 L=2.0m/個	m		29	
ボックスカルバート	B1000*1000*2000	本		11	
ボックスカルバート	B1000*1000*2000	本		2	
ボックスカルバート	B1000*1000*1798/1210	本		1	
ボックスカルバート	B1000*1000*1209/1797	本		1	
定着金具		組		24	
PC鋼より線	φ 15.2mm	m		128	
1号地覆擁壁工(下流側)		箇所		1	
1号地覆擁壁工(上流側)		箇所		1	
排水構造物工					
側溝工					
プレキャストU型側溝		式		1	
プレキャストU型 落ちふた式U形側溝 1種(歩道用)	JIS133	m		54	
自由勾配側溝		式		1	
可変側溝	300*600	箇所		1	

# 契約数量表

頁0-0006/0013

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
土留め式可変側溝		箇所		1	
側溝蓋		式		1	
側溝蓋設置	JIS側溝1種	枚		108	
側溝蓋設置	可変側溝	枚		14	
集水枡・マンホール工					
現場打ち集水枡		式		1	
現場打集水枡42	400*400*400	箇所		1	
現場打集水枡43	400*400*400	箇所		1	
構造物撤去工					
構造物取壊し工					
舗装版切断		式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		10	
舗装版破碎		式		1	
舗装版破碎積込(小規模土工)		m2		13	
コンクリートはつり		式		1	
構造物とりこわし工	鉄筋構造物	m3		6	
運搬処理工					
殻運搬		式		1	

# 契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
殻運搬	舗装版破碎	m3		0.7	
殻運搬	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし	m3		6	
殻処分		式		1	
処分費	アスファルト殻	式		1	
処分費	コンクリート殻(鉄筋)	式		1	
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員		式		1	
交通誘導警備員 B					
地質調査費		式		1	
平板載荷試験					
軟弱地盤調査費		式		1	
溶出試験 (配合試験時)					
溶出試験 (施工時)					



# 契約数量表

	費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
附帯工事費(1)						
道路改良						
道路土工						
掘削工						
掘削			式		1	
掘削		土砂 オープンカット	m3		220	
作業土工						
床掘り			式		1	
床掘り						
埋戻し			式		1	
埋戻し						
残土処理工						
土砂等運搬			式		1	
土砂等運搬						
残土等処分			式		1	
処分費						
地盤改良工						
安定処理工 (擁壁)						

# 契約数量表

頁0-0009/0013

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
安定処理(擁壁)		式		1	
安定処理					
安定処理					
擁壁工					
場所打擁壁工(構造物単位)					
現場打L型擁壁1号-2	L=10.0m	式		1	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	m3		1	
型枠	一般型枠	m2		2	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	m3		1	
型枠	一般型枠	m2		2	
コンクリート(場所打擁壁)	コンクリート(各種)	m3		8	
型枠	一般型枠	m2		31	
鉄筋工	異形棒鋼(SD345) D13mm	t		0.64	
一般用硬質塩化ビニル管(VP管)	径75mm×厚5.5mm×長4000mm	本		0.25	
吸出防止材設置		m2		0.36	
吸出し防止シート(ポリエステル不織布)	5mm厚以上, 90kgf/5cm以上	m2		0.36	
宅地擁壁用透水マット		m2		8	
目地板	瀝青質目地板 t=10mm	m2		0.8	

# 契約数量表

頁0-0010/0013

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
現場打L型擁壁3号-1	L=2.4m	式		1	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	m3		0.4	
型枠	一般型枠	m2		0.4	
コンクリート	無筋・鉄筋構造物	m3		0.4	
型枠	一般型枠	m2		0.4	
コンクリート(場所打擁壁)	コンクリート(各種)	m3		2	
型枠	一般型枠	m2		8	
鉄筋工	異形棒鋼 (SD345) D13mm	t		0.16	
一般用硬質塩化ビニル管(VP管)	径75mm×厚5.5mm×長4000mm	本		0.06	
吸出防止材設置		m2		0.09	
吸出し防止シート(ポリエステル不織布)	5mm厚以上, 90kgf/5cm以上	m2		0.09	
宅地擁壁用透水マット		m2		2	
畦畔工					
畦畔工					
畦畔工		式		1	
畦畔工		m		38	
支障物撤去工					
石材撤去工					

# 契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
石材撤去工		式		1	
土砂等運搬	土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		30	
処分費	[石]	式		1	
復元測量					
復元測量					
復元測量		式		1	
復元測量					
仮設工					
仮排水工					
仮排水工		式		1	
仮排水工					
土砂等運搬		式		1	
殻運搬					
土砂等運搬					
土砂等処分		式		1	
処分費					
処分費					
舗装					

# 契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
舗装工					
アスファルト舗装工					
上層路盤(車道・路肩部)		式		1	
上層路盤(車道・路肩部)	粒調碎石 M-25, M-30, M-40	m2		20	
表層(車道・路肩部)		式		1	
表層(車道・路肩部)	t = 50mm	m2		20	
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員		式		1	
交通誘導警備員 B					
交通誘導警備員 B					
交通誘導警備員 B					
試掘工		式		1	
試掘工					
殻運搬					
土砂等運搬					
処分費					
処分費					



1. 数量総括表  
(本工事)







数量総括表(3)

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	元 数 量		変 更 数 量		増 減	摘 要
					計算数量	設計数量	計算数量	設計数量	ーは減を示す	
擁 壁 工				式	1.0					
	場 所 打 擁 壁 工			式	1.0					
	( 構 造 物 単 位 )	L型擁壁	現場打L型擁壁(1)-1,3	m3	12.6	12				
			現場打L型擁壁(2)-1,2	m3	13.2	13				
			現場打L型擁壁(3)-2	m3	5.3	5				
排 水 構 造 物 工										
	側 溝 工			式	1.0					
		U型側溝	PU2-300×300	m	54.0	54				
		土留め式可変側溝	B300×H600～1100	m	14.0	14				
		可変側溝	B300×H600	m	1.0	1				
		側溝蓋	JIS側溝歩道用	枚	108.0	108				
		可変側溝蓋	歩道用	枚	14.0	14				
	集水柵・マンホール工			式	1.0					
		集水柵42	400×400	箇所	1.0	1				
		集水柵43	400×400	箇所	1.0	1				
カ ル バ ー ト 工				式	1.0					
		ボックスカルバート	1号(B)1000×(H)1000	m	29.1	29				
		地 覆 擁 壁	下流側	箇所	1.0	1				
		地 覆 擁 壁	上流側	箇所	1.0	1				



## 2. 道 路 土 工

道路土工 集計表

1.0式当たり

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
道路土工				
掘削	土砂掘削 オープンカット	m3	458.0	
路床安定処理工				
	セメント安定処理t=70cm	m2	284.5	
	固化材112kg/m3	t	22.3	199.2×112/1000
作業土工（擁壁）				
床掘	土砂掘削	m3	46.5	
埋戻	1.0m ≤ W < 4.0m	m3	48.5	
作業土工（排水）				
床掘	土砂掘削	m3	10.5	
埋戻	W < 1.0m	m3	10.5	
作業土工 (ボックスカルバート1000×1000)				
床掘	土砂掘削	m3	64.5	
埋戻	1.0m ≤ W < 4.0m	m3	76.2	
残土処理工	残土処理	m3	429.3	(掘削+床掘) - (盛土+埋戻) / 0.9



# 土工集計表

規 格	掘削 (土砂)	盛土			残土処理
		W<2.5m	2.5m≤W<4.0m	4.0m≤W	
区 分	土砂	土砂	土砂	土砂	土砂
単 位	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
掘削	415.9				
路体盛土					
路床盛土					
歩道盛土					415.9
横断土工					
(NO.54(R)) ボックスカルバート1000×1000(1)	33.6				
(NO.54(R)) ボックスカルバート1000×1000(2)	8.5				
合計	458.0	0.0	0.0	0.0	415.9
規 格	床掘 (土砂)	埋戻し			残土処理
		1m未満	1m以上4m未満	4m以上	
区 分	土砂	土砂	土砂	土砂	土砂
単 位	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
擁壁	46.5	0.0	48.5		-7.4
横断土工					
排水構造物	10.5	10.5			-1.2
横断土工					
(NO.54(R)) ボックスカルバート1000×1000(1)	57.6		62.4		21.9
(NO.54(R)) ボックスカルバート1000×1000(2)	6.9		13.8		0.1
合 計	121.5	10.5	124.7	0.0	13.4
					429.3

土 工 計 算 表

測点	距 離	土砂掘削 (オープンカット)			土砂掘削 (片切)			路体盛土 (W<2.5m)			摘 要
		断面積 (m <sup>2</sup> )	平均面積	体積 (m <sup>3</sup> )	断面積 (m <sup>2</sup> )	平均面積	体積 (m <sup>3</sup> )	断面積 (m <sup>2</sup> )	平均面積	体積 (m <sup>3</sup> )	
No.36											
No.37	20.00	5.2	2.60	52.0							
No.38	20.00	24.0	14.60	292.0							
BC. 2 No. 38+4.41	4.41	1.9	12.95	57.1							
No.39	15.59		0.95	14.8							
計	60.0			415.9							



作業土工（擁壁右側）

計 算 表

測点	距 離	床掘（土砂掘削）									摘 要
		断面積(m2)	平均面積	体積(m3)							
No.36											
No.37	20.00	1.1	0.55	11.0							
No.38	20.00	1.1	1.10	22.0							
BC. 2 No. 38+4. 41	4.41	1.1	1.10	4.9							
No.39	15.59		0.55	8.6							
計	60.0			46.5							
合 計	60.0			46.5							

## 作業土工（擁壁右側）

## 計 算 表

測点	距 離	埋戻 (W<1.0m)			埋戻 (1.0m≤W≤4.0m)			埋戻 (4.0m<W)			摘 要
		断面積(m <sup>2</sup> )	平均面積	体積(m <sup>3</sup> )	断面積(m <sup>2</sup> )	平均面積	体積(m <sup>3</sup> )	断面積(m <sup>2</sup> )	平均面積	体積(m <sup>3</sup> )	
No.36											
No.37	20.00				0.8	0.40	8.0				
No.38	20.00				1.6	1.20	24.0				
BC.2 No. 38+4.41	4.41				1.3	1.45	6.4				
No.39	15.59					0.65	10.1				
計	60.0						48.5				
合 計	60.0						48.5				

作業土工 (排水右側)

計 算 表

測点	距 離	床掘 (土砂掘削)								摘 要
		断面積 (m2)	平均面積	体積 (m3)						
No.36										
No.37	20.00	0.30	0.15	3.0						
No.38	20.00	0.20	0.25	5.0						
BC.2 No. 38+4. 41	4.41	0.20	0.20	0.9						
No.39	15.59		0.10	1.6						
計	60.00			10.5						
合計	60.0			10.5						

## 作業土工（排水右側）

## 計 算 表

測点	距 離	埋戻 (W<1.0m)			埋戻 (1.0m≤W≤4.0m)			埋戻 (4.0m<W)			摘 要
		断面積(m <sup>2</sup> )	平均面積	体積(m <sup>3</sup> )	断面積(m <sup>2</sup> )	平均面積	体積(m <sup>3</sup> )	断面積(m <sup>2</sup> )	平均面積	体積(m <sup>3</sup> )	
No.36											
No.37	20.00	0.3	0.15	3.0							
No.38	20.00	0.2	0.25	5.0							
BC.2 No.38+4.41	4.41	0.2	0.20	0.9							
No.39	15.59		0.10	1.6							
計	60.00			10.5							
合計	60.0			10.5							

名称： 土工 (NO. 54(R))ボックスカルバート1000×1000(1)

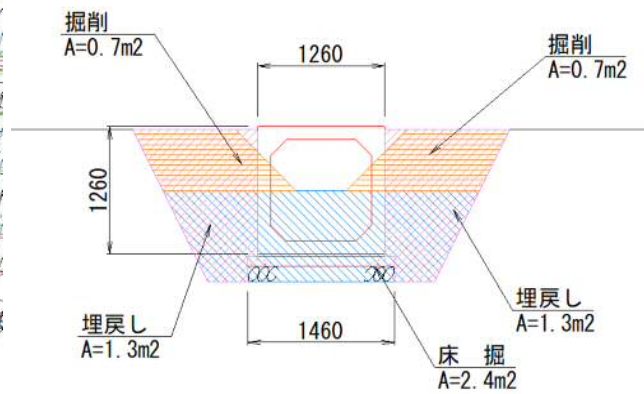
算式根拠となる構造図

平 面 図



土工延長 L=24.0m

断面図 (1)



[道路土工]

掘削 (オープンカット)

$$V = 1.4 \times 24.0 = 33.6 \text{ m}^3$$

[作業土工]

床掘

$$V = 2.4 \times 24.0 = 57.6 \text{ m}^3$$

埋戻し

$$V = 2.6 \times 24.0 = 62.4 \text{ m}^3$$

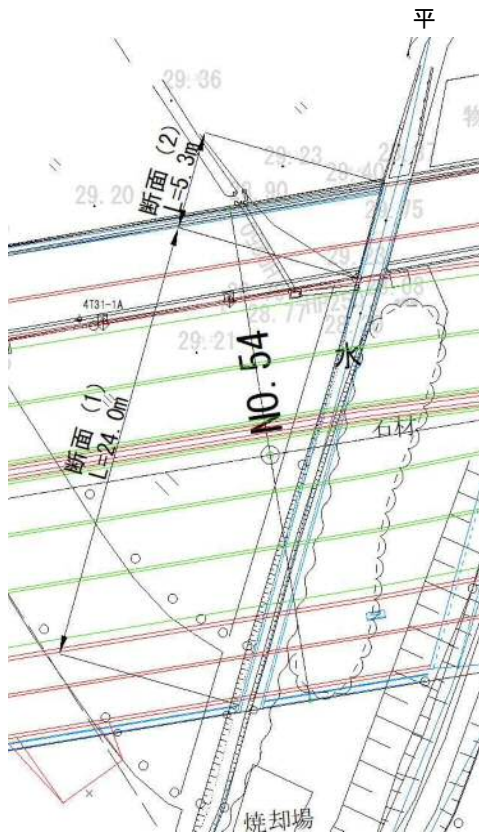
[残土処理工]

残土処理

$$V = (33.6 + 57.6) - 62.4 \times 1/0.9 = 21.9 \text{ m}^3$$

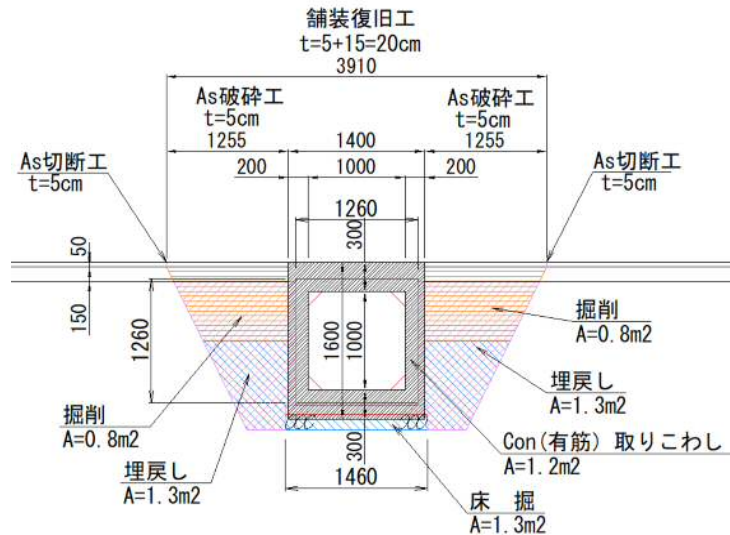
名称： 土工 (NO. 54(R))ボックスカルバート1000×1000 (2)

算式根拠となる構造図



土工延長 L=5.3m

断面図 (2)



[道路土工]

掘削 (オープンカット)

$$V = 1.6 \times 5.3 = 8.5 \text{ m}^3$$

[作業土工]

床掘

$$V = 1.3 \times 5.3 = 6.9 \text{ m}^3$$

埋戻し

$$V = 2.6 \times 5.3 = 13.8 \text{ m}^3$$

[残土処理工]

残土処理

$$V = (8.5 + 6.9) - 13.8 \times 1/0.9 = 0.1 \text{ m}^3$$

[撤去工]

As切断工 (t=5cm)

$$L = 5.3 \times 2 = 10.6 \text{ m}$$

As破碎工 (t=5cm)

$$A = 1.255 \times 5.3 \times 2 = 13.3 \text{ m}^2$$

Con取こわし工 (有筋)

$$V = 1.2 \times 5.3 = 6.4 \text{ m}^3$$

[残塊処分工]

残塊処分 (As)

$$V = 13.3 \times 0.05 = 0.7 \text{ m}^3$$

残塊処分 (Con有筋)

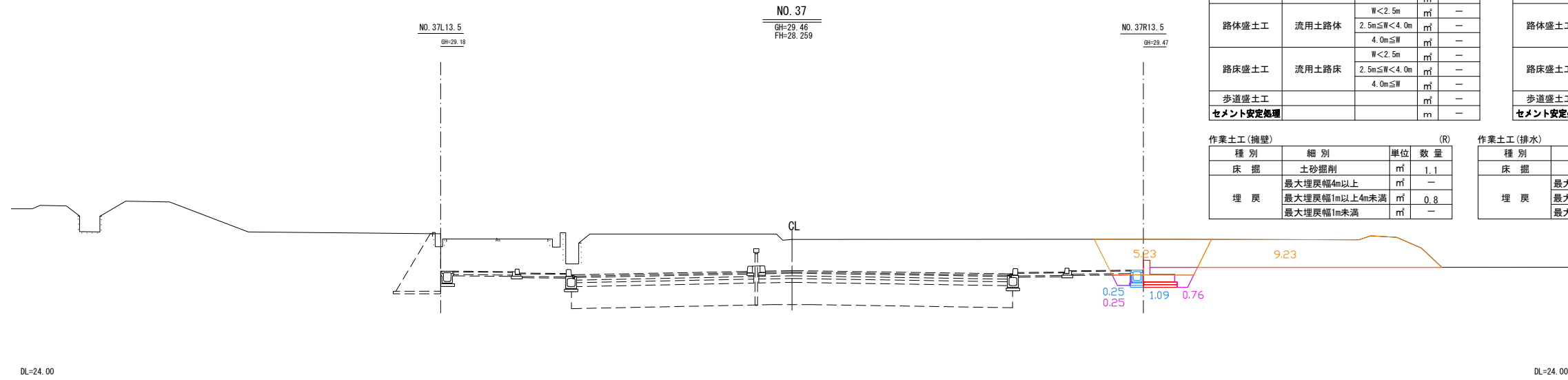
$$V = 6.4 \text{ m}^3$$

土 工 根 拠 図



# 横断図 (1)

S=1:100



NO. 37  
GH=29.46  
FH=28.259

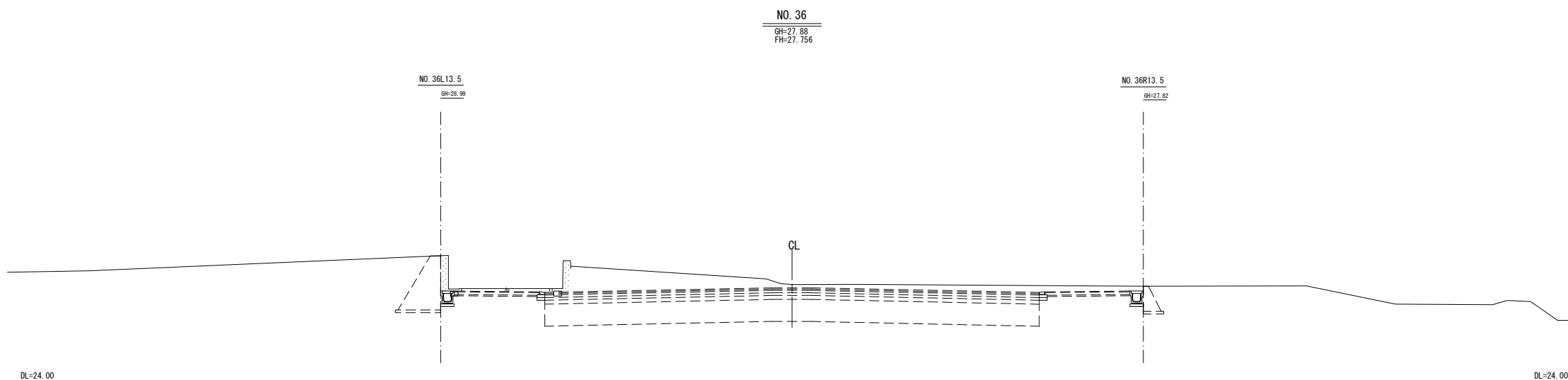
NO. 37R13.5  
GH=29.47

道路土工				
種別	細別	区分	単位	数量
掘削工	土砂掘削	オフカット	m <sup>2</sup>	5.2
		片切	m <sup>2</sup>	—
路体盛土工	流用土路体	W<2.5m	m <sup>2</sup>	—
		2.5m≦W<4.0m	m <sup>2</sup>	—
		4.0m≦W	m <sup>2</sup>	—
路床盛土工	流用土路床	W<2.5m	m <sup>2</sup>	—
		2.5m≦W<4.0m	m <sup>2</sup>	—
		4.0m≦W	m <sup>2</sup>	—
歩道盛土工			m <sup>2</sup>	—
セメント安定処理			m	—

付帯土工				
種別	細別	区分	単位	数量
掘削工	土砂掘削	オフカット	m <sup>2</sup>	9.2
		片切	m <sup>2</sup>	—
路体盛土工	流用土路体	W<2.5m	m <sup>2</sup>	—
		2.5m≦W<4.0m	m <sup>2</sup>	—
		4.0m≦W	m <sup>2</sup>	—
路床盛土工	流用土路床	W<2.5m	m <sup>2</sup>	—
		2.5m≦W<4.0m	m <sup>2</sup>	—
		4.0m≦W	m <sup>2</sup>	—
歩道盛土工			m <sup>2</sup>	—
セメント安定処理			m	—

作業土工(擁壁) (R)			
種別	細別	単位	数量
床掘	土砂掘削	m <sup>2</sup>	1.1
埋戻	最大埋戻幅4m以上	m <sup>2</sup>	—
	最大埋戻幅1m以上4m未満	m <sup>2</sup>	0.8
	最大埋戻幅1m未満	m <sup>2</sup>	—

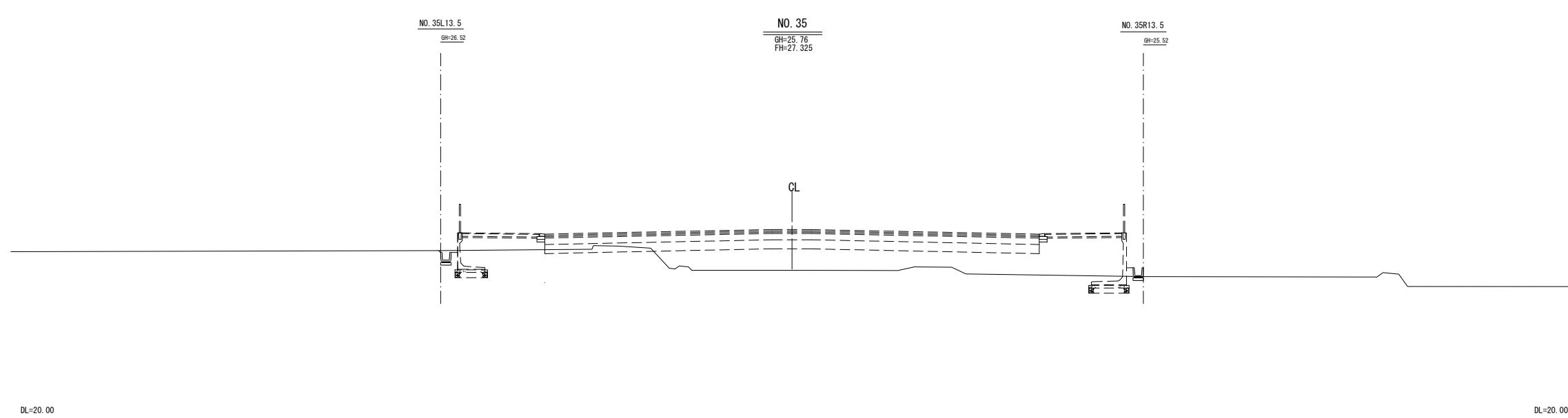
作業土工(排水) (R)			
種別	細別	単位	数量
床掘	土砂掘削	m <sup>2</sup>	0.3
埋戻	最大埋戻幅4m以上	m <sup>2</sup>	—
	最大埋戻幅1m以上4m未満	m <sup>2</sup>	—
	最大埋戻幅1m未満	m <sup>2</sup>	0.3



NO. 36  
GH=27.88  
FH=27.756

NO. 36L13.5  
GH=28.99

NO. 36R13.5  
GH=27.82



NO. 35  
GH=25.76  
FH=27.325

NO. 35L13.5  
GH=26.52

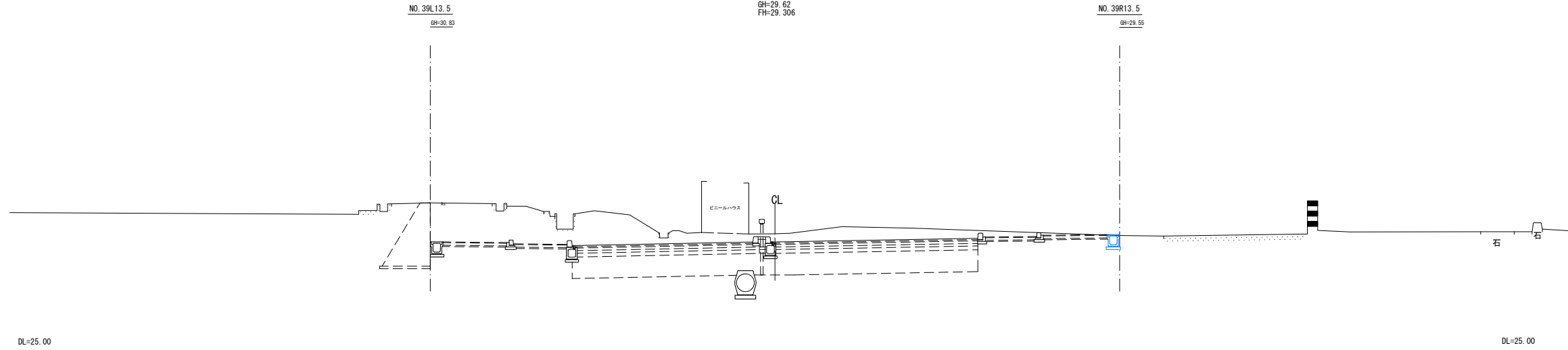
NO. 35R13.5  
GH=25.52

令和 年度	工事
事業	江井ヶ島松陰新田線
横断図(1)	業全
縮尺	S=1:100
明石市 都市局 道路整備課	

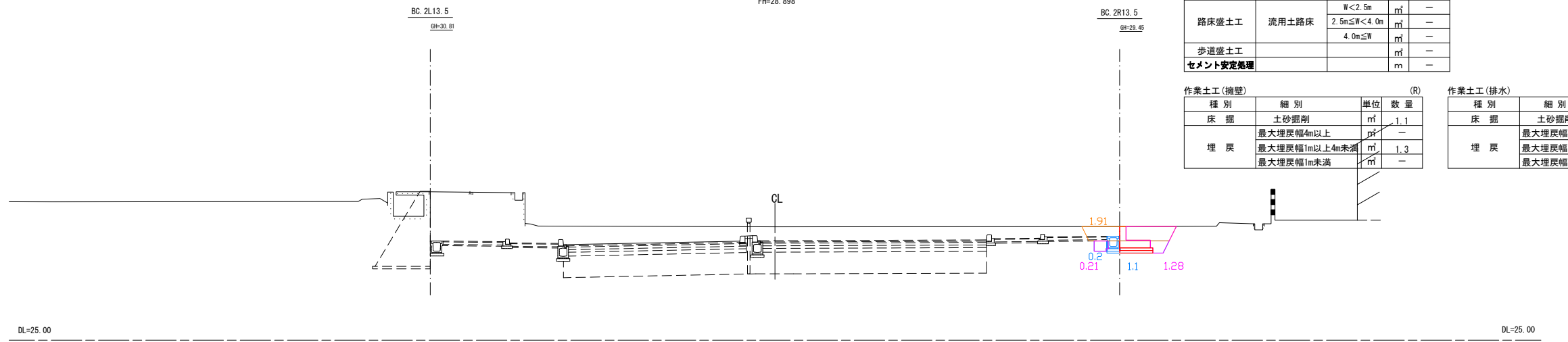
# 横断図 (2)

S=1:100

NO. 39  
GH=29.62  
FH=29.306



BC. 2  
GH=29.44  
FH=28.898



道路土工

種別	細別	区分	単位	数量
掘削工	土砂掘削	切	m	1.9
		片切	m	-
路体盛土工	流用土路体	W<2.5m	m	-
		2.5m≦W<4.0m	m	-
		4.0m≦W	m	-
		W<2.5m	m	-
路床盛土工	流用土路床	2.5m≦W<4.0m	m	-
		4.0m≦W	m	-
		W<2.5m	m	-
歩道盛土工			m	-
セメント安定処理			m	-

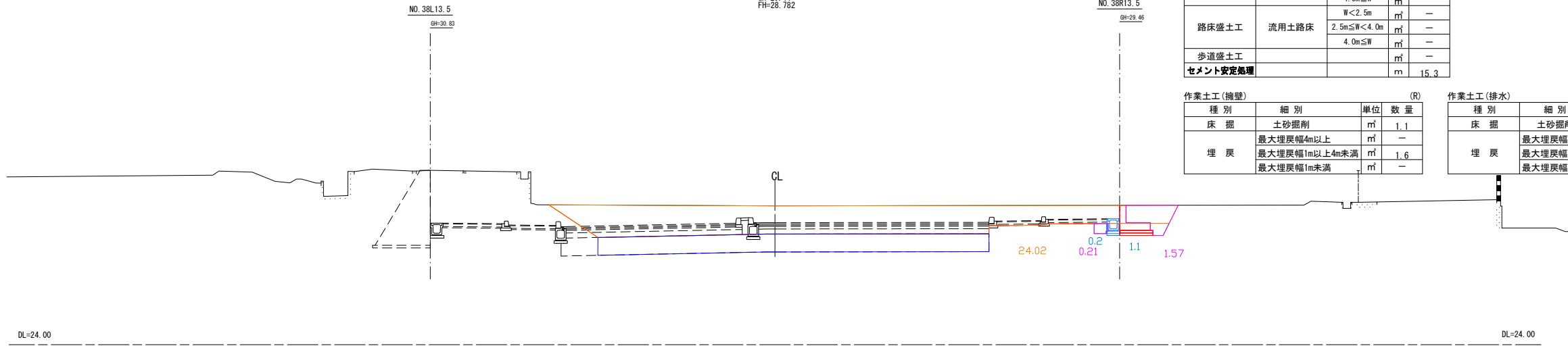
作業土工(擁壁) (R)

種別	細別	単位	数量	
床掘	土砂掘削		m	1.1
		最大埋戻幅4m以上	m	-
		最大埋戻幅1m以上4m未満	m	1.3
埋戻	最大埋戻幅1m未満	m	-	

作業土工(排水) (R)

種別	細別	単位	数量	
床掘	土砂掘削		m	0.2
		最大埋戻幅4m以上	m	-
		最大埋戻幅1m以上4m未満	m	-
埋戻	最大埋戻幅1m未満	m	0.2	

NO. 38  
GH=29.44  
FH=28.782



道路土工

種別	細別	区分	単位	数量
掘削工	土砂掘削	切	m	24.0
		片切	m	-
路体盛土工	流用土路体	W<2.5m	m	-
		2.5m≦W<4.0m	m	-
		4.0m≦W	m	-
		W<2.5m	m	-
路床盛土工	流用土路床	2.5m≦W<4.0m	m	-
		4.0m≦W	m	-
		W<2.5m	m	-
歩道盛土工			m	-
セメント安定処理			m	15.3

作業土工(擁壁) (R)

種別	細別	単位	数量	
床掘	土砂掘削		m	1.1
		最大埋戻幅4m以上	m	-
		最大埋戻幅1m以上4m未満	m	1.6
埋戻	最大埋戻幅1m未満	m	-	

作業土工(排水) (R)

種別	細別	単位	数量	
床掘	土砂掘削		m	0.2
		最大埋戻幅4m以上	m	-
		最大埋戻幅1m以上4m未満	m	-
埋戻	最大埋戻幅1m未満	m	0.2	

令和 年度	工事
事業	江井ヶ島松陰新田線
横断図(2)	業全
縮尺	S=1:100
明石市 都市局 道路整備課	

### 3. 擁 壁 工



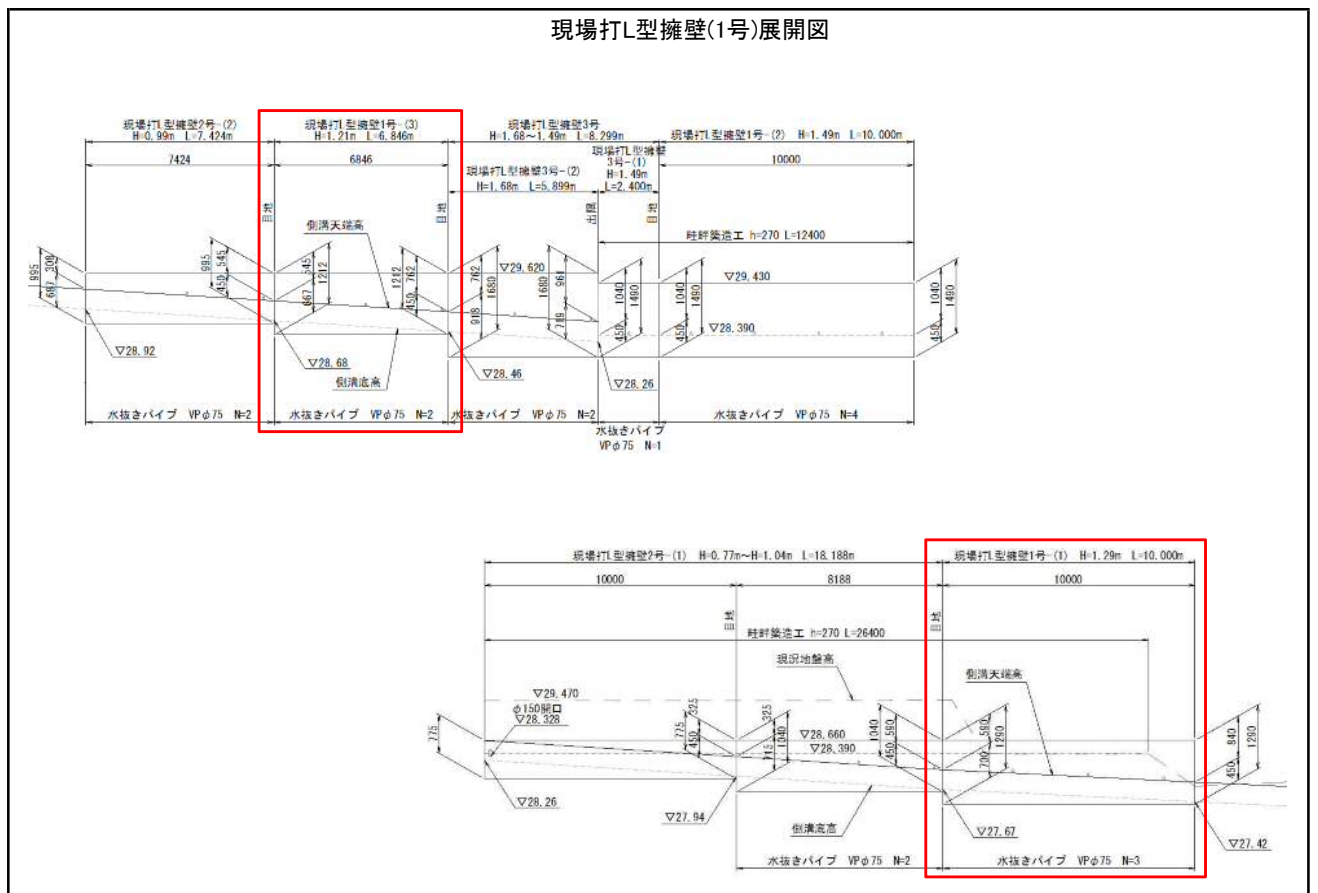
現場打擁壁工集計表

項目	種別	単位	現場打L型擁壁	現場打L型擁壁	現場打L型擁壁				合計
			1号	2号	3号				
均しコンクリート	t=10,18-8-40BB	m3	2.78	3.33	1.06				7.2
同上型枠	無筋構造物	m2	3.37	5.12	1.18				9.7
均しコンクリート	t=10,18-8-40BB	m3	2.78	3.33	1.06				7.2
同上型枠	無筋構造物	m2	3.37	5.12	1.18				9.7
コンクリート	21-8-25BB	m3	12.63	13.22	5.31				31.2
型枠	鉄筋構造物	m2	44.48	47.33	20.55				112.4
鉄筋	D13 SD345	kg	1059.61	563.46	397.00				2020.1
水抜パイプ	VPφ75	m	1.25	1.00	0.50				2.8
透水材	B30×L30×t5.0	箇所	5	4	2				11.0
透水材マット		m2	9.3	6.8	4.1				20.2
目地材	t=10	m2	0.75	1.55					2.3
足場工	単管傾斜足場	掛m2							0.0
	枠組足場	掛m2							0.0
土工									
基面整正		m2	27.800	33.300	10.620				71.7
地盤改良工	t=80cm	m2	35.830	45.510	13.430				94.8
固化剤	セメント系	t	3.440	3.640	1.400				8.5

現場打L型擁壁(1号) 平均高計算表

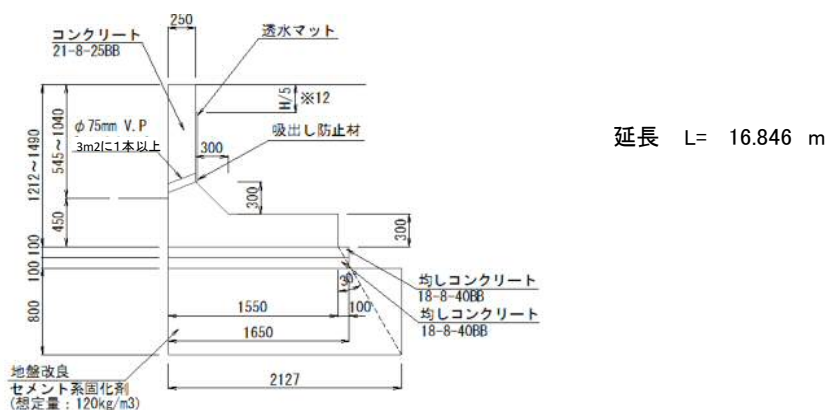
	区間延長 L (m)	全 高 (H)			地 上 高 (h)			備 考
		全 高 H (m)	平均 高 H' (m)	縦断面積 L×H'=A (㎡)	地 上 高 h (m)	平均 高 h' (m)	縦断面積 L×h'=A' (㎡)	
1号-(3)	6.846	1.212	1.212	8.297	0.545	0.654	4.477	
		1.212			0.762			
1号-(1)	10.000	1.290	1.290	12.900	0.590	0.715	7.150	
		1.290			0.840			
計	16.846			21.197			11.627	
平均全高H=		21.197	÷	16.846	=	1.258		
平均地上高h=		11.627	÷	16.846	=	0.690		
平均根入高h=		1.258	-	0.690	=	0.568		

現場打L型擁壁(1号)展開図



算式根拠となる構造図

種別及び細別： 現場打L型擁壁1号計算書 1式当り

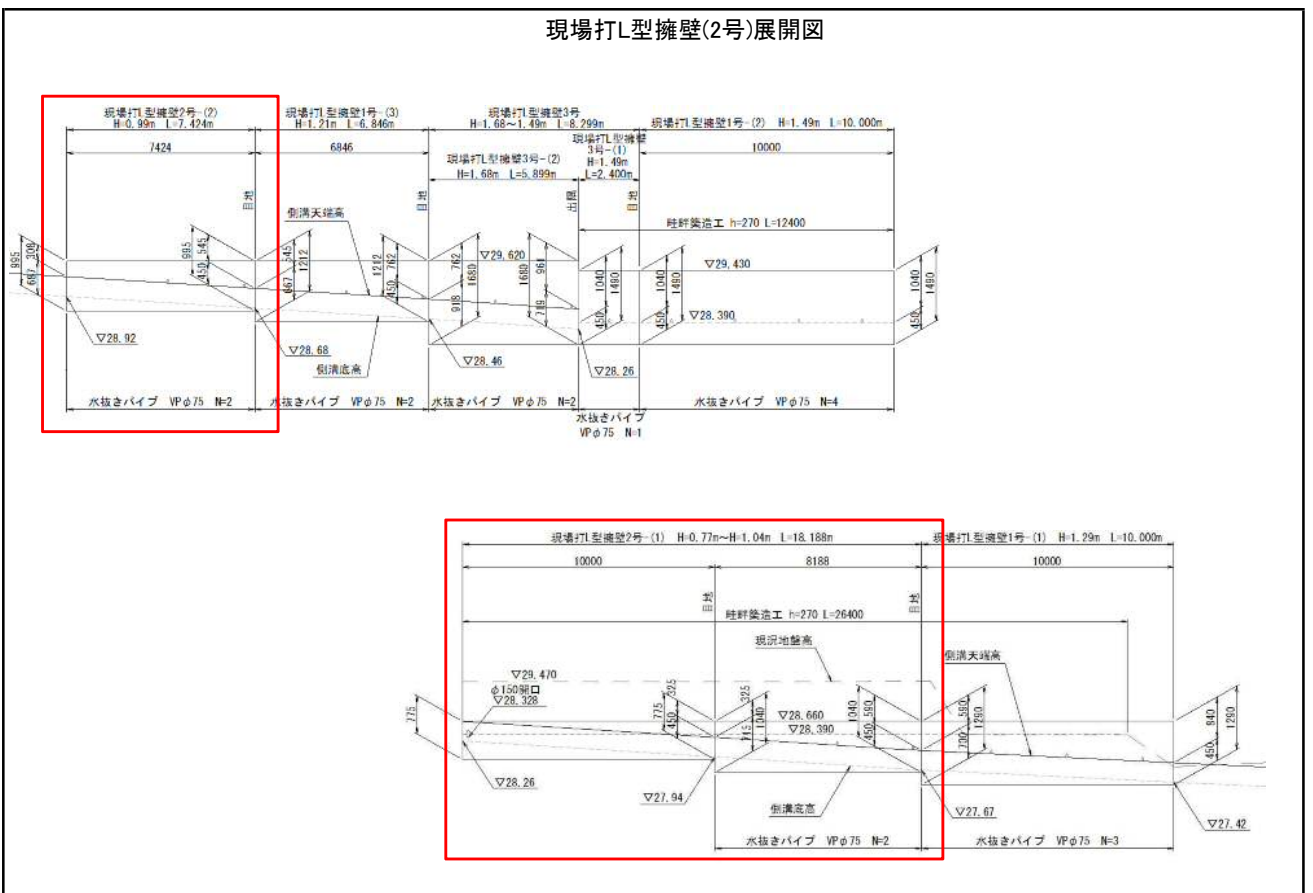


名称	規格・形状	算式	単位	数量
基面整正		$A = 1.650 \times 16.846$	m <sup>2</sup>	27.80
均しコンクリート	18-8-40 t=10cm	$V = 1.650 \times 16.846 \times 0.100$	m <sup>3</sup>	2.78
同上型枠		$A = 0.100 \times 16.846 \times 2$	m <sup>2</sup>	3.37
均しコンクリート	18-8-40 t=10cm	$V = 1.650 \times 16.846 \times 0.100$	m <sup>3</sup>	2.78
同上型枠		$A = 0.100 \times 16.846 \times 2$	m <sup>2</sup>	3.37
コンクリート	21-8-25	$V = (0.250 \times (1.258 - 0.30) + 1.55 \times 0.30 + 1/2 \times 0.30 \times 0.30) \times 16.846$	m <sup>3</sup>	12.63
型枠		$A = (1.258 + 1.258 - 0.30 + 0.30 \times \sqrt{2}) \times 16.846$	m <sup>2</sup>	44.48
鉄筋	D13 SD345	鉄筋表より $W = 62.900 \times 16.846$	kg	1059.61
水抜きパイプ	VP φ75	N = 展開図より = 2 + 3 = 5 L = 0.25 × 5	m	1.25
吸出し防止材	B30 × L30 × t5.0		箇所	5
透水マット		$A = 0.69 \times 0.8 \times 16.846$	m <sup>2</sup>	9.30
目地材		$A = (0.250 \times (1.258 - 0.30) + 1.55 \times 0.30 + 1/2 \times 0.30 \times 0.30) \times 1$	m <sup>2</sup>	0.75
地盤改良	t=80cm	$A = 16.846 \times 2.127$	m <sup>2</sup>	35.83
固化剤	セメント系	$W = 0.800 \times 2.127 \times 16.846 \times 120 / 1000$	t	3.44

現場打L型擁壁(2号) 平均高計算表

	区間延長 L (m)	全 高 (H)			地 上 高 (h)			備 考
		全 高 H (m)	平 均 高 H' (m)	縦断面積 L×H'=A (㎡)	地 上 高 h (m)	平 均 高 h' (m)	縦断面積 L×h'=A' (㎡)	
2号-(2)	7.424	0.995	0.995	7.387	0.308	0.427	3.170	
2号-(1)	10.000	0.775	0.775	7.750	0.000	0.163	1.630	
		0.775			0.325			
	8.188	1.040	1.040	8.516	0.325	0.458	3.750	
		1.040			0.590			
計	25.612			23.653			8.550	
平均全高H=		23.653	÷	25.612	=	0.924		
平均地上高h=		8.550	÷	25.612	=	0.334		
平均根入高h=		0.924	-	0.334	=	0.590		

現場打L型擁壁(2号)展開図

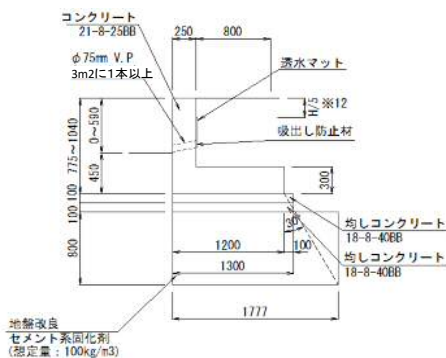




算式根拠となる構造図

種別及び細別： 現場打L型擁壁2号計算書

1式当り



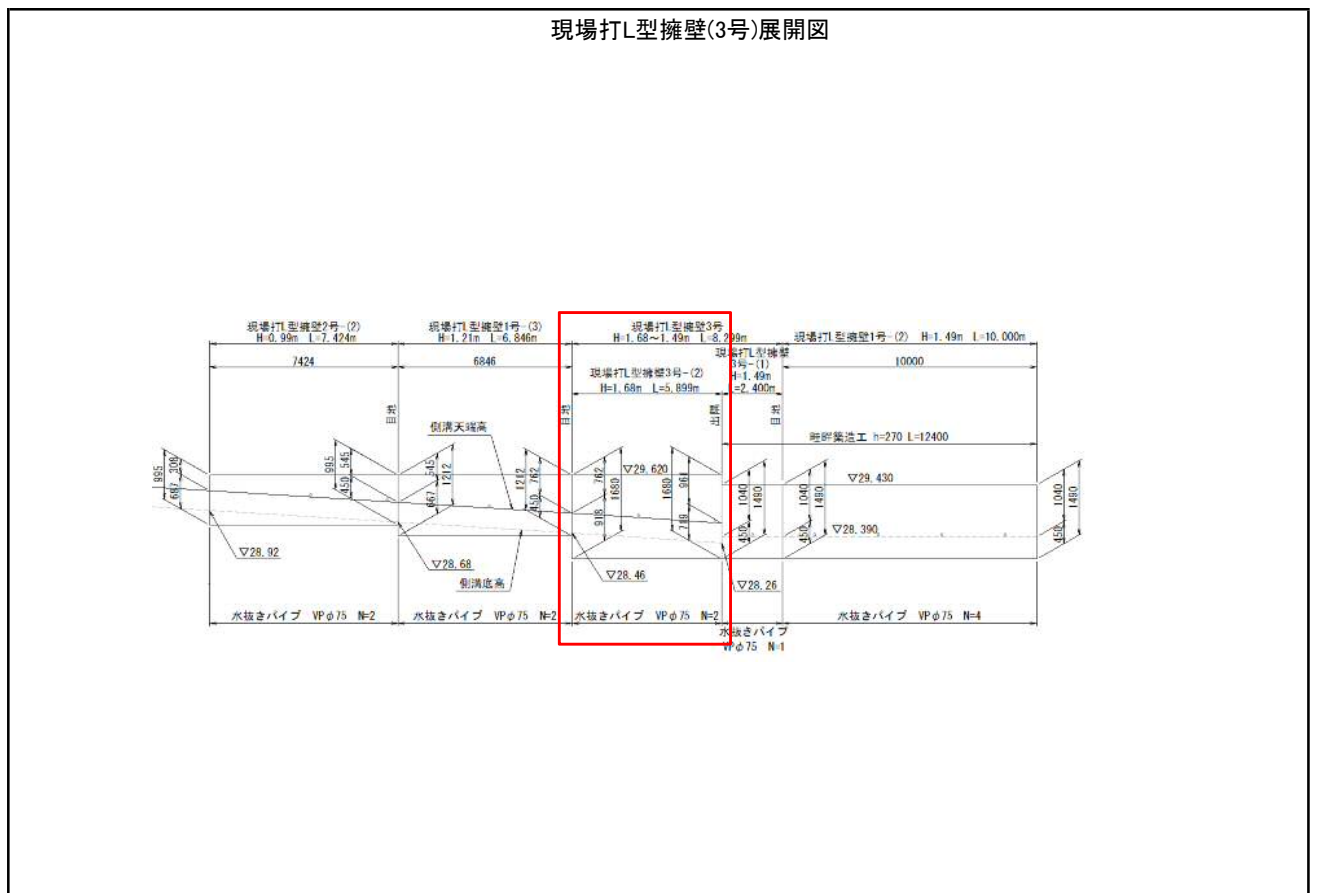
延長 L= 25.612 m

名称	規格・形状	算式	単位	数量
基面整正		$A = 1.300 \times 25.612$	m <sup>2</sup>	33.30
均しコンクリート	18-8-40 t=10cm	$V = 1.300 \times 25.612 \times 0.100$	m <sup>3</sup>	3.33
同上型枠		$A = 0.100 \times 25.612 \times 2$	m <sup>2</sup>	5.12
均しコンクリート	18-8-40 t=10cm	$V = 1.300 \times 25.612 \times 0.100$	m <sup>3</sup>	3.33
同上型枠		$A = 0.100 \times 25.612 \times 2$	m <sup>2</sup>	5.12
コンクリート	21-8-25	$V = (0.250 \times (0.924 - 0.30) + 1.20 \times 0.30) \times 25.612$	m <sup>3</sup>	13.22
型枠		$A = 0.924 \times 2 \times 25.612$	m <sup>2</sup>	47.33
鉄筋	D13 SD345	鉄筋表より $W = 22.000 \times 25.612$	kg	563.46
水抜きパイプ	VP φ75	N = 展開図より = 2 + 2 = 4 L = 0.25 × 4	m	1.00
吸出し防止材	B30 × L30 × t5.0		箇所	4
透水マット		$A = 0.334 \times 0.8 \times 25.612$	m <sup>2</sup>	6.84
目地材		$A = (0.250 \times (0.924 - 0.30) + 1.20 \times 0.30) \times 3$	m <sup>2</sup>	1.55
地盤改良	t=80cm	$A = 25.612 \times 1.777$	m <sup>2</sup>	45.51
固着剤	セメント系	$W = 0.800 \times 1.777 \times 25.612 \times \frac{100}{1000}$	t	3.64

現場打L型擁壁(3号) 平均高計算表

	区間延長 L (m)	全 高 (H)			地 上 高 (h)			備 考
		全 高 H (m)	平 均 高 H' (m)	縦断面積 L×H'=A (㎡)	地 上 高 h (m)	平 均 高 h' (m)	縦断面積 L×h'=A' (㎡)	
3号-(2)	5.899	1.680	1.680	9.910	0.762	0.862	5.085	
		1.680			0.961			
計	5.899			9.910			5.085	
平均全高H=		9.910	÷	5.899	=	1.680		
平均地上高h=		5.085	÷	5.899	=	0.862		
平均根入高h=		1.680	-	0.862	=	0.818		

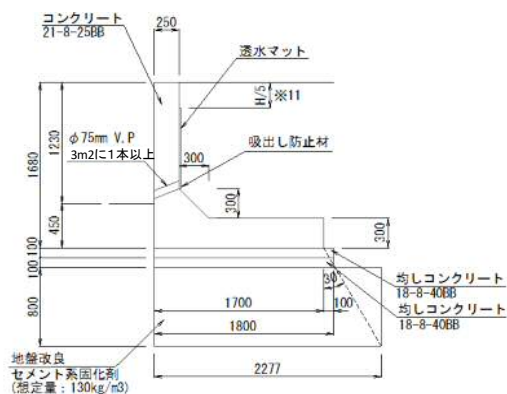
現場打L型擁壁(3号)展開図



算式根拠となる構造図

種別及び細別： 現場打L型擁壁3号計算書

1式当り



延長 L= 5.899 m

名称	規格・形状	算式	単位	数量
基面整正		$A = 1.800 \times 5.899$	m <sup>2</sup>	10.62
均しコンクリート	18-8-40 t=10cm	$V = 1.800 \times 5.899 \times 0.100$	m <sup>3</sup>	1.06
同上型枠		$A = 0.100 \times 5.899 \times 2$	m <sup>2</sup>	1.18
均しコンクリート	18-8-40 t=10cm	$V = 1.800 \times 5.899 \times 0.100$	m <sup>3</sup>	1.06
同上型枠		$A = 0.100 \times 5.899 \times 2$	m <sup>2</sup>	1.18
コンクリート	21-8-25	$V = (0.250 \times (1.68 - 0.30) + 1.70 \times 0.30 + 1/2 \times 0.30 \times 0.30) \times 5.899$	m <sup>3</sup>	5.31
型枠		$A = (1.68 + 1.68 - 0.30 + 0.30 \times \sqrt{2}) \times 5.899$	m <sup>2</sup>	20.55
鉄筋	D13 SD345	鉄筋表より $W = 67.300 \times 5.899$	kg	397.00
水抜きパイプ	VP φ75	N = 展開図より = 2 L = 0.25 × 2	m	0.50
吸出し防止材	B30 × L30 × t5.0		箇所	2
透水マット		$A = 0.862 \times 0.8 \times 5.899$	m <sup>2</sup>	4.07
地盤改良	t=80cm	$A = 5.899 \times 2.277$	m <sup>2</sup>	13.43
固化剤	セメント系	$W = 0.800 \times 2.277 \times 5.899 \times 130 / 1000$	t	1.40

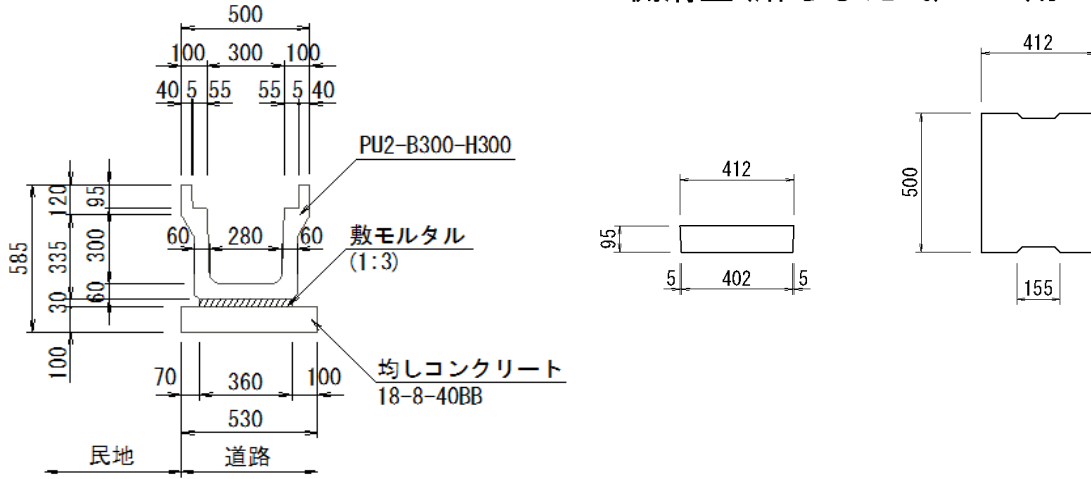
## 4. 排 水 構 造 物 工



# 単位数量計算書

細 別	U型側溝-560×10×300	PU2-B300×H300	10m当り
-----	-----------------	---------------	-------

## 側溝蓋(落ちぶた式) 300用



名 称	規 格	計 算 式	数 量
均し コンクリート	18-8-40BB	$A = 0.53 \times 0.10 \times 10.00$	= 0.530 m <sup>3</sup>
敷モルタル	1:3	$V = 0.36 \times 0.03 \times 10.00$	= 0.108 m <sup>3</sup>
PU2- B300×H300		$L = 10.00$	= 10.000 m
側溝蓋		$N = 10.00 \div 0.50$	= 20.000 枚

# 単位数量計算書

細 別	土留め式可変側溝	1箇所当り																																												
MC 可変側溝蓋 歩道用(1種) B300用 S=1:10																																														
<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <caption>寸法表</caption> <thead> <tr> <th>内幅</th> <th>H</th> <th>T2</th> <th>T3</th> <th>B2</th> <th>B3</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center;">300</td> <td>600</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>630</td> <td>1150</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>700</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>630</td> <td>1150</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>800</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>630</td> <td>1150</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>900</td> <td>70</td> <td>40</td> <td>780</td> <td>1300</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>1000</td> <td>70</td> <td>40</td> <td>780</td> <td>1300</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>1100</td> <td>70</td> <td>40</td> <td>780</td> <td>1300</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>			内幅	H	T2	T3	B2	B3	C	300	600	55	55	630	1150	80	700	55	55	630	1150	80	800	55	55	630	1150	80	900	70	40	780	1300	100	1000	70	40	780	1300	100	1100	70	40	780	1300	100
内幅	H	T2	T3	B2	B3	C																																								
300	600	55	55	630	1150	80																																								
	700	55	55	630	1150	80																																								
	800	55	55	630	1150	80																																								
	900	70	40	780	1300	100																																								
	1000	70	40	780	1300	100																																								
	1100	70	40	780	1300	100																																								
名 称	規 格	計 算 式	数 量																																											
基礎碎石	RC-40 t=100	$A = 1.20 \times 2.00 \times 4 + 1.35 \times 2.00 \times 3$	= 17.700 m <sup>2</sup>																																											
基礎コンクリート	18-12-20BB	$V = 1.20 \times 0.10 \times 2.00 \times 4 + 1.35 \times 0.10 \times 2.00 \times 3$	= 1.770 m <sup>3</sup>																																											
敷モルタル	1 : 3	$V = (0.11 \times 2 \times 2.00 \times 7 + 0.63 \times 2.00 \times 4 + 0.78 \times 2.00 \times 3) \times 0.02$	= 0.256 m <sup>3</sup>																																											
インバートコンクリート	18-12-20BB	$V = 0.30 \times 0.296 \times 2.00 \times 7$	= 1.243 m <sup>3</sup>																																											
土留め式可変側溝	B300-H600	N=	= 1.000 本																																											
	B300-H700	N=	= 1.000 本																																											
	B300-H800	N=	= 2.000 本																																											
	B300-H900	N=	= 1.000 本																																											
	B300-H1000	N=	= 1.000 本																																											
	B300-H1100	N=	= 1.000 本																																											
歩道用蓋版		$N = 1.000 \div 0.500 \times 7.000$	= 14.000 枚																																											
インバートコンクリート平均厚		$h = \frac{(0.313 + 0.238 + 0.338 + 0.264 + 0.364 + 0.290 + 0.290 + 0.216 + 0.316 + 0.242 + 0.342 + 0.268 + 0.368 + 0.294)}{7.000} \div 2$	= 0.296 m																																											

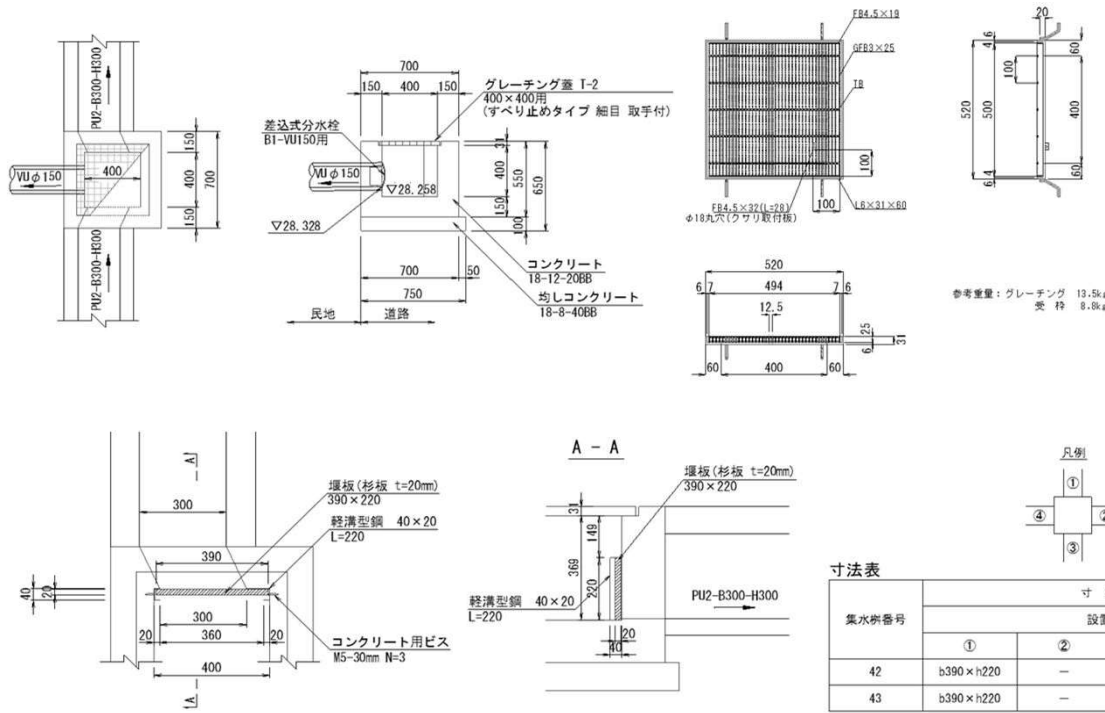
# 単位数量計算書

細 別	可変側溝	1箇所当り	
名 称	規 格	計 算 式	数 量
基礎砕石	RC-40 t=150	$A = 0.55 \times 1.00$	= 0.550 m <sup>2</sup>
基礎コンクリート	18-12-20BB	$V = 0.55 \times 0.10 \times 1.00$	= 0.055 m <sup>3</sup>
敷モルタル	1 : 3	$V = 0.10 \times 0.03 \times 2 \times 1.00$	= 0.006 m <sup>3</sup>
インバートコンクリート	18-12-20BB	$V = 0.30 \times 0.332 \times 1.00$	= 0.100 m <sup>3</sup>
可変側溝	B300-H600 L=1000	$N =$	= 1.000 本
インバートコンクリート平均厚		$( 0.350 + 0.313 ) / 2$	= 0.332 m



# 単位数量計算書

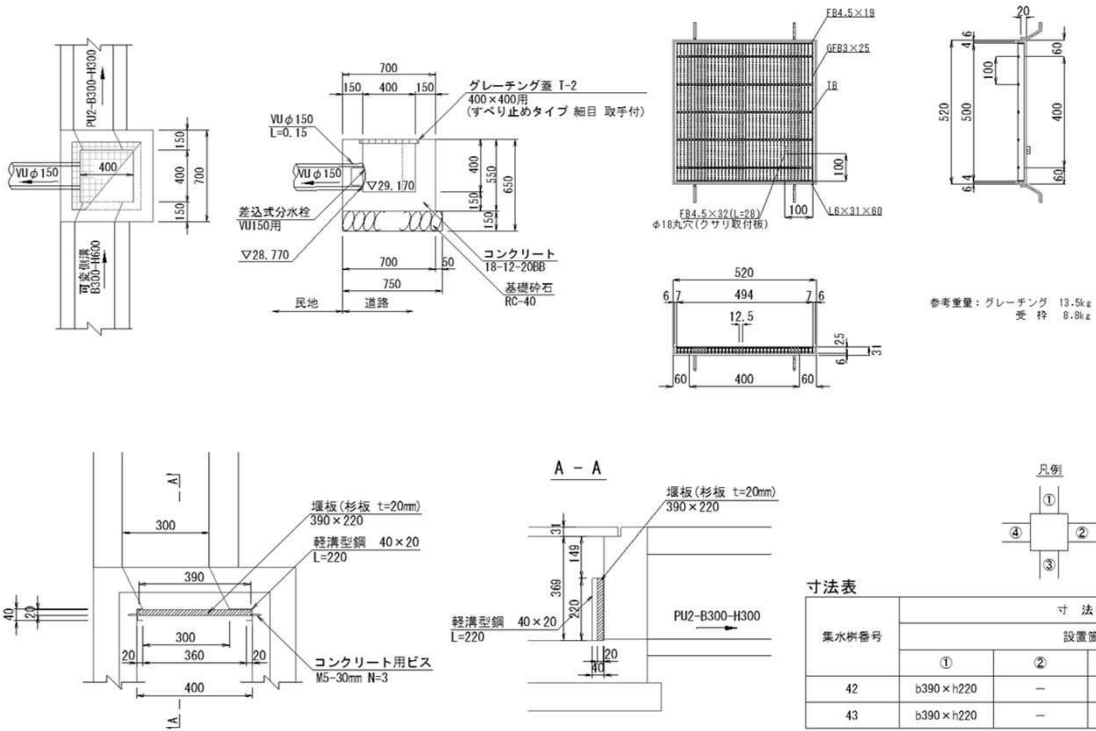
細 別	集水柵-400×400×400 (集水柵42)	1箇所当り
-----	-------------------------	-------



名 称	規 格	計 算 式	数 量
型枠		$A = (0.750 + 0.800) \times 4 \times 0.100$	0.620 m <sup>2</sup>
均しコンクリート	18-8-40BB	$V = 0.750 \times 0.800 \times 0.100$	= 0.060 m <sup>3</sup>
型枠		$A = 0.700 \times 0.55 \times 4 + 0.4 \times 0.519 \times 4$	= 2.370 m <sup>2</sup>
コンクリート	18-12-20BB	$V = (0.700 \times 0.700 \times 0.550 - 0.400 \times 0.400 \times 0.369 - 0.520 \times 0.520 \times 0.031) \times 1.0$	= 0.202 m <sup>3</sup>
グレーチング蓋	T-2, 400×400用 細目 取手付	N= 1	= 1 枚
基面整正		A= 0.750 × 0.800	= 0.600 m <sup>2</sup>
差込式分水栓	B1-VUφ150用	N= 1	= 1 個
堰板	杉板 t=20mm 390×220	N= 1	= 1 個
軽溝形鋼	40×20 L=220	N= 2	= 2 個
コンクリート用ビス	M5-30mm N=3	N= 2	= 2 個

# 単位数計算書

細別	集水柵-400×400×400 (集水柵43)	1箇所当り
----	-------------------------	-------



名称	規格	計算式	数量
基礎碎石	RC-40 , t=150	$A= 0.750 \times 0.800$	= 0.600 m <sup>2</sup>
型枠		$A= 0.700 \times 0.55 \times 4 + 0.4 \times 0.519 \times 4$	= 2.370 m <sup>2</sup>
コンクリート	18-12-20BB	$V= ( 0.700 \times 0.700 \times 0.550 - 0.400 \times 0.400 \times 0.369 - 0.520 \times 0.520 \times 0.031 ) \times 1.0$	= 0.202 m <sup>3</sup>
グレーチング蓋	T-2 , 400×400用 細目 取手付	N= 1	= 1 枚
基面整正		A= 0.750 × 0.800	= 0.600 m <sup>2</sup>
差込式分水栓	B1-VU φ150用	N= 1	= 1 個
堰板	杉板 t=20mm 390×220	N= 1	= 1 個
軽溝形鋼	40×20 L=220	N= 2	= 2 個
コンクリート用ビス	M5-30mm N=3	N= 2	= 2 個

## 5. カルバート工



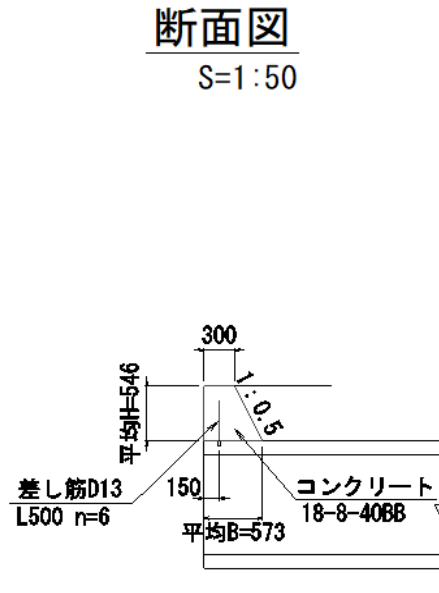
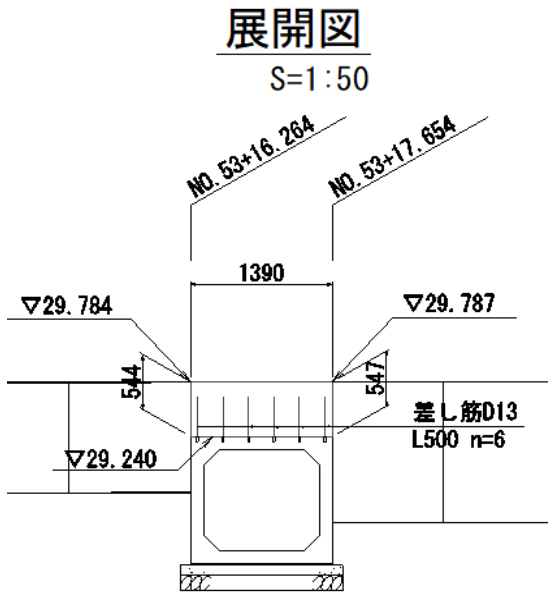
カルバート工集計表

項目	種別	単位	ボックスカルバート1号			合計
			ボックスカルバート	地覆擁壁 (下流部)	地覆擁壁 (上流部)	
基礎碎石	t=150, RC-40	m2	45.37			45.4
均しコンクリート	18-8-40	m3	4.54			4.5
同上型枠	無筋構造物	m2	5.82			5.8
敷モルタル	1:3	m3	0.73			0.7
ボックスカルバート	1000×1000	m	29.08			29.1
コンクリート	18-8-40	m3		0.33	0.32	0.7
型枠	無筋構造物	m2		1.61	1.57	3.2
差し筋	D13 SD345	kg		2.99	2.39	5.4
削孔		箇所		6.00	6.00	12.0
土工						
基面整正		m2	45.37			45.4
地盤改良	t=100cm	m2	79.39			79.4
固化剤	セメント系	t	9.50			9.5

名 称	計 算 式	数 量
ボックスカルバート	(B) 1000 × (H) 1000	29.082 29.08
敷モルタル (1 : 3)	$(1.260 \times 29.08) \times 0.020$	= 0.733 0.73 m3
均しコンクリート (18-8-40BB)	$(1.560 \times 29.08) \times 0.100$	= 4.536 4.54 m3
同上型枠	$0.100 \times 29.08 \times 2$	= 5.816 5.82 m2
基礎材 (RC-40、t=150)	$1.560 \times 29.08$	= 45.365 45.37 m2
基面整正	$1.560 \times 29.08$	= 45.365 45.37 m2
地盤改良	$2.730 \times 29.08$	= 79.388 79.39 m2
固化剤 (セメント系)	$2.730 \times 1.00 \times 29.08 \times 120/1000$	= 9.527 9.50 t

# 単位数量計算書

細 別	1号地覆擁壁工（下流側）	1箇所当り
-----	--------------	-------



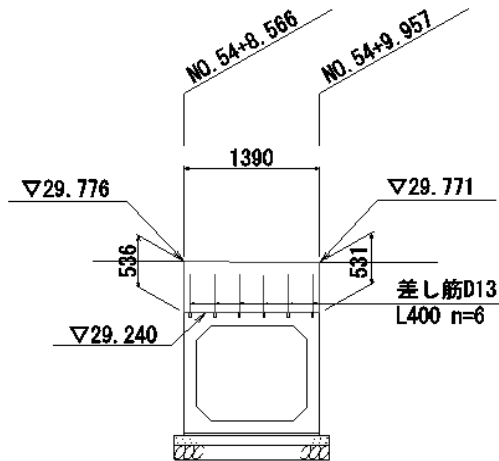
名 称	規 格	計 算 式	数 量
コンクリート	18-8-40BB	$V = 1/2 \times (0.30 + 0.573) \times 0.546 \times 1.39$	= 0.33 m3
型枠		$A = (0.546 + 0.546 \times 1.118) \times 1.39$	= 1.61 m2
差し筋	D13 SD345	$W = 0.500 \times 0.995 \times 6$	= 2.99 kg
削孔			6.000 箇所

# 単位数量計算書

細 別	1号地覆擁壁工（上流側）	1箇所当り
-----	--------------	-------

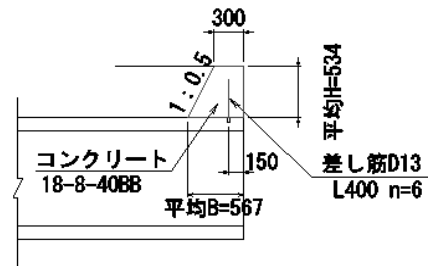
### 展開図

S=1:50



### 断面図

S=1:50



名 称	規 格	計 算 式	数 量
コンクリート	18-8-40BB	$V = 1/2 \times (0.30 + 0.567) \times 0.534 \times 1.39$	= 0.32 m3
型枠		$A = (0.534 + 0.534 \times 1.118) \times 1.39$	= 1.57 m2
差し筋	D13 SD345	$W = 0.400 \times 0.995 \times 6$	= 2.39 kg
削孔			6.000 箇所



1. 数量総括表  
( 附帯工事 )







## 数量総括表(4)

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	元 数 量		変 更 数 量		増 減	摘 要
					計算数量	設計数量	計算数量	設計数量	ーは減を示す	
仮 排 水 工				式	1.0					
	仮 排 水 工			式	1.0					
		As切断工		m	10.5	10				
		As破碎工		m2	13.3	13				
		残殻処分	As	m3	0.7	0.7				
		床掘	小規模	m3	13.8	10				
		暗渠管設置・撤去	高密度ポリエチレン管 Φ300	m	60.0	60				
		大型土のう設置・撤去		個	2.0	2				
		埋戻	小規模 再生切込砕石	m3	12.7	10				
		残土処理	小規模 土砂	m3	13.8	13				
		上層路盤	粒調砕石 (t=15cm)	m2	13.3	13				
		表層	密粒度アスコン (t=5cm)	m2	13.3	13				
技 術 管 理 費										
	軟弱地盤対策費			式	1.0					
		六価クロム溶出試験	配合試験時	検体	1.0	1				
		六価クロム溶出試験	施工時	検体	1.0	1				

2. 土 工  
( 附 帶 工 事 )



土工集計表

規 格	掘削 (土砂)	盛土			残土処理
		W<2.5m	2.5m≤W<4.0m	4.0m≤W	
区 分	土砂	土砂	土砂	土砂	土砂
単 位	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
掘削	184.0				184.0
路体盛土					
路床盛土					
歩道盛土					
表土鋤取(t=20cm)	36.4				36.4
合計	220.4	0.0	0.0	0.0	220.4
規 格	床掘 (土砂)	埋戻し			残土処理
		1m未満	1m以上4m未満	4m以上	
区 分	土砂	土砂	土砂	土砂	土砂
単 位	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>
擁壁					
横断土工 (NO.37+11.7(R)) 現場打凡型擁壁	16.7		34.5		-21.6
合計	16.7	0.0	34.5	0.0	-21.6
					198.8

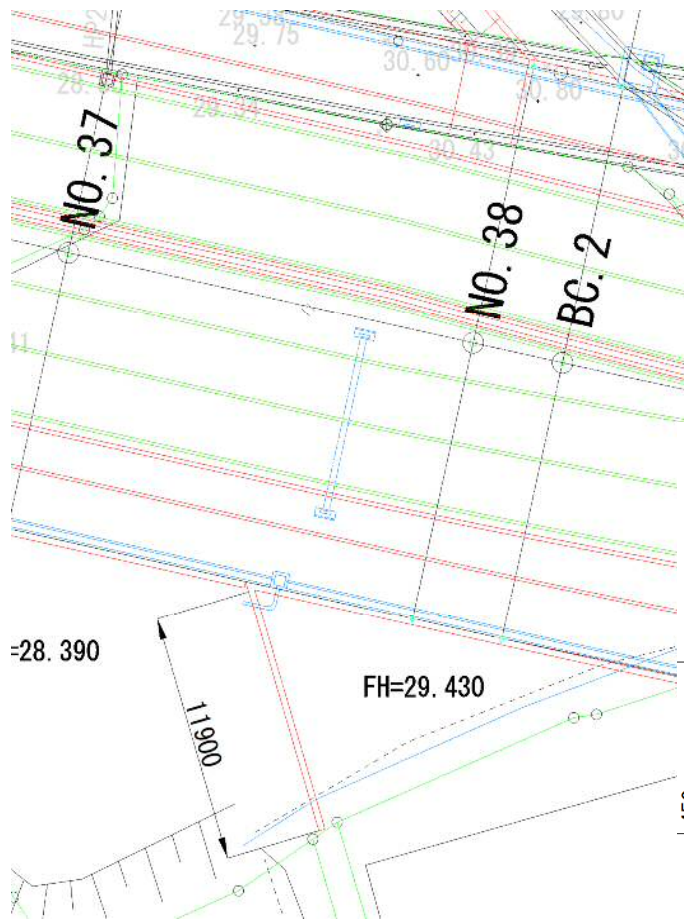




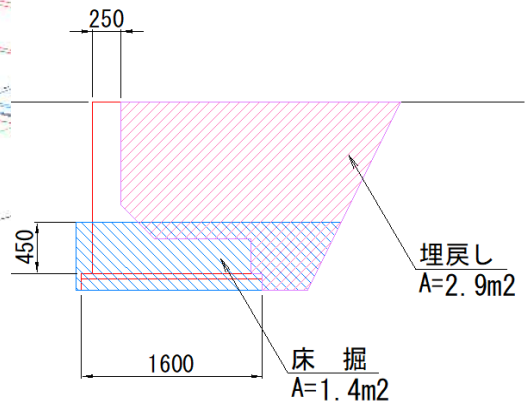
名称： 土工 (NO. 37+11.7(R))現場打L型擁壁

算式根拠となる構造図

平 面 図



断面図



土工延長 L=11.9m

[作業土工]

床掘

$$V = 1.4 \times 11.9 = 16.7 \text{ m}^3$$

埋戻し

$$V = 2.9 \times 11.9 = 34.5 \text{ m}^3$$

[残土処理工]

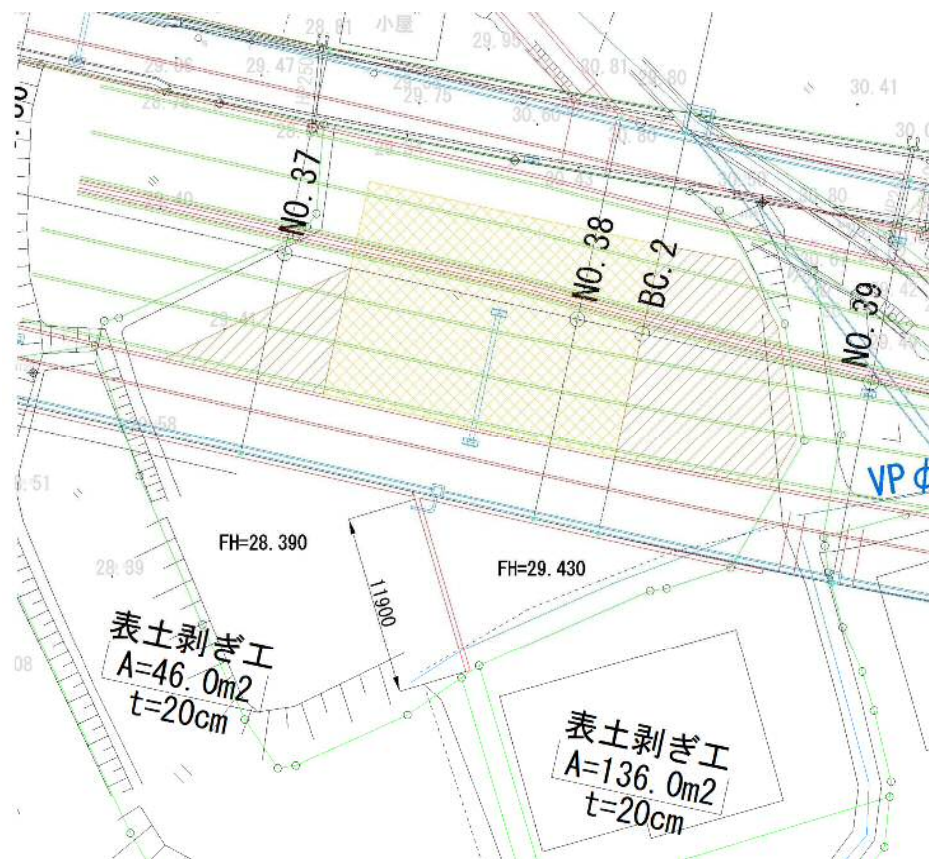
残土処理

$$V = 16.7 - 34.5 \times 1/0.9 = -21.6 \text{ m}^3$$

名称： 土工 (NO. 37+11.7(R))現場打L型擁壁

算式根拠となる構造図

平 面 図



[土工]

表土剥ぎ (t=20cm)

$$V = (46.0 + 136.0) \times 0.2 = 36.4 \text{ m}^3$$

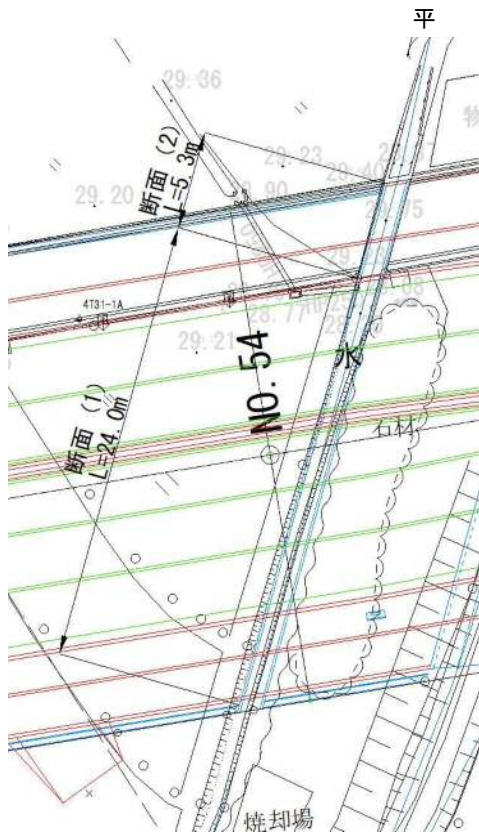
[残土処理工]

残土処理

$$V = = 36.4 \text{ m}^3$$

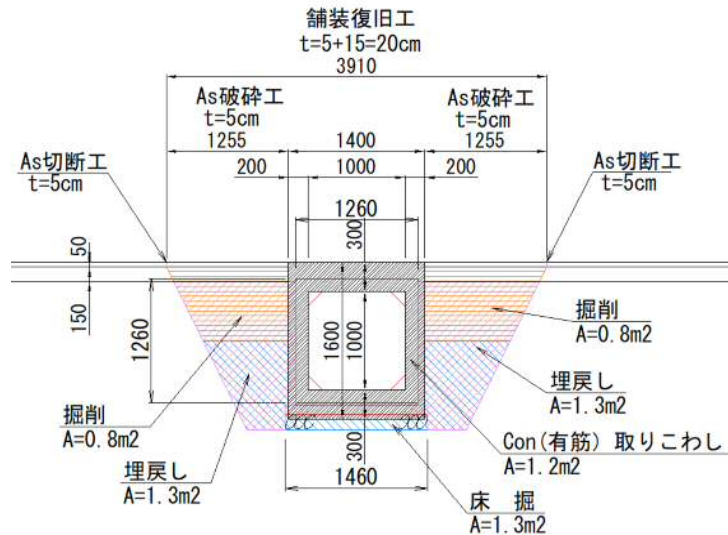
名称： 土工 (NO. 54(R))ボックスカルバート1000×1000(2)

算式根拠となる構造図



土工延長 L=5.3m

断面図(2)



[道路土工]

掘削 (オープンカット)

$$V = 1.6 \times 5.3 = 8.5 \text{ m}^3$$

[作業土工]

床掘

$$V = 1.3 \times 5.3 = 6.9 \text{ m}^3$$

埋戻し

$$V = 2.6 \times 5.3 = 13.8 \text{ m}^3$$

[残土処理工]

残土処理

$$V = (8.5 + 6.9) - 13.8 \times 1/0.9 = 0.1 \text{ m}^3$$

[撤去工]

As切断工 (t=5cm)

$$L = 5.3 \times 2 = 10.6 \text{ m}$$

As破碎工 (t=5cm)

$$A = 1.255 \times 5.3 \times 2 = 13.3 \text{ m}^2$$

Con取こわし工 (有筋)

$$V = 1.2 \times 5.3 = 6.4 \text{ m}^3$$

[残塊処分工]

残塊処分 (As)

$$V = 13.3 \times 0.05 = 0.7 \text{ m}^3$$

残塊処分 (Con有筋)

$$V = 6.4 \text{ m}^3$$

[舗装復旧工]

表層 : 密粒度アスコン (t=5cm)

$$A = 3.91 \times 5.3 = 20.7 \text{ m}^2$$

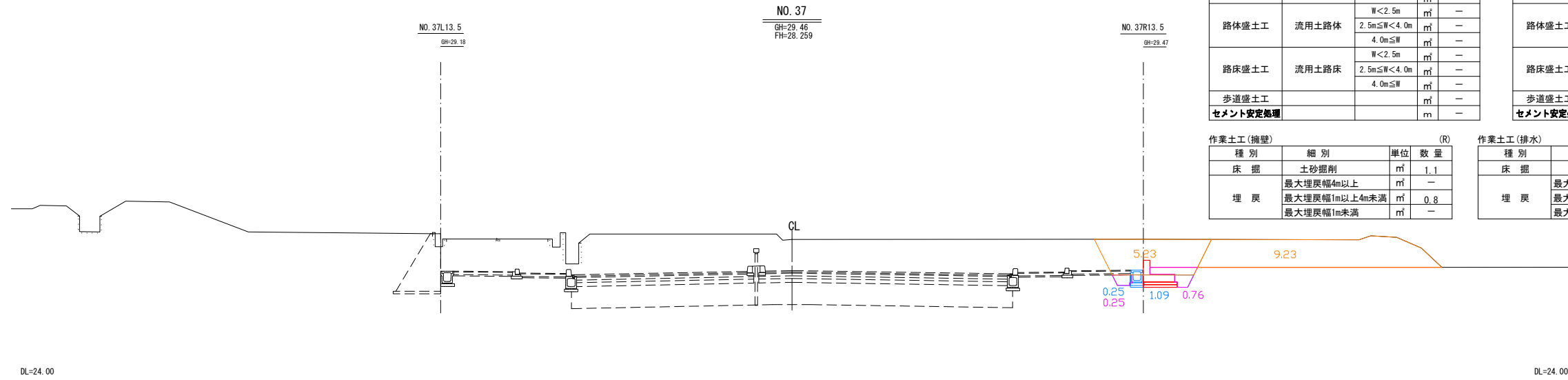
路盤 : 粒調碎石 (t=15cm)

$$= 20.7 \text{ m}^2$$

土 工 根 拠 図

# 横断図 (1)

S=1:100

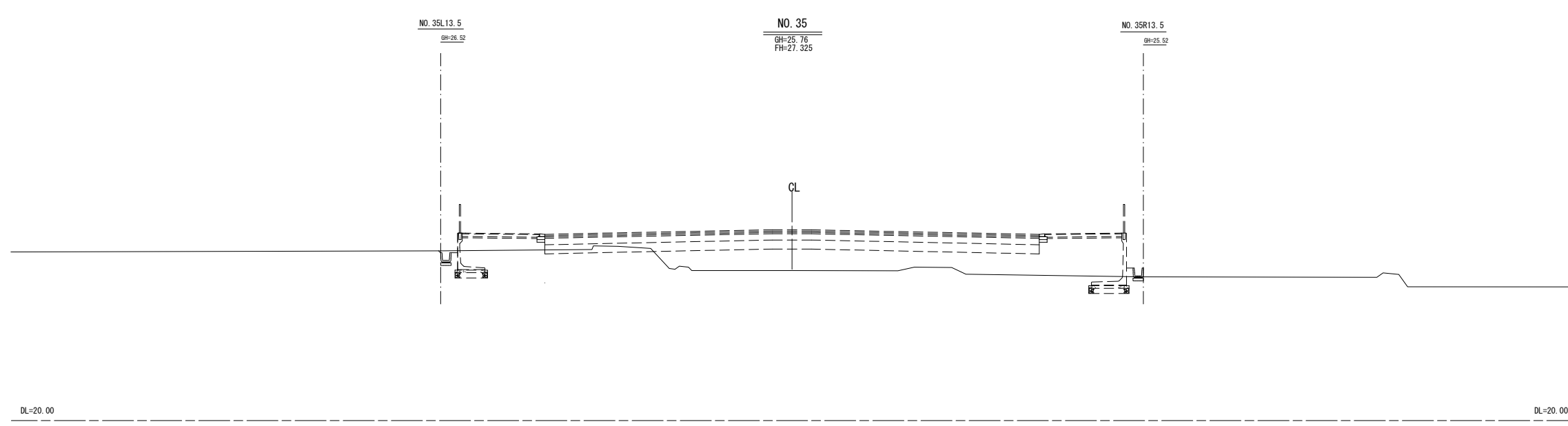
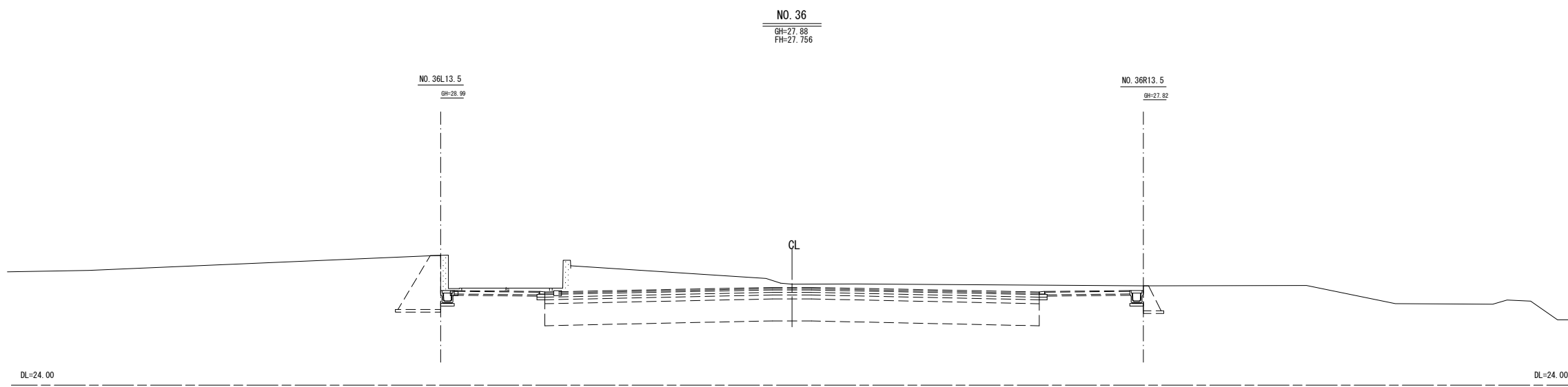


道路土工				
種別	細別	区分	単位	数量
掘削工	土砂掘削	オフカット	m <sup>2</sup>	5.2
		片切	m <sup>2</sup>	—
路体盛土工	流用土路体	W<2.5m	m <sup>2</sup>	—
		2.5m≦W<4.0m	m <sup>2</sup>	—
		4.0m≦W	m <sup>2</sup>	—
路床盛土工	流用土路床	W<2.5m	m <sup>2</sup>	—
		2.5m≦W<4.0m	m <sup>2</sup>	—
		4.0m≦W	m <sup>2</sup>	—
歩道盛土工			m <sup>2</sup>	—
セメント安定処理			m	—

付帯土工				
種別	細別	区分	単位	数量
掘削工	土砂掘削	オフカット	m <sup>2</sup>	9.2
		片切	m <sup>2</sup>	—
路体盛土工	流用土路体	W<2.5m	m <sup>2</sup>	—
		2.5m≦W<4.0m	m <sup>2</sup>	—
		4.0m≦W	m <sup>2</sup>	—
路床盛土工	流用土路床	W<2.5m	m <sup>2</sup>	—
		2.5m≦W<4.0m	m <sup>2</sup>	—
		4.0m≦W	m <sup>2</sup>	—
歩道盛土工			m <sup>2</sup>	—
セメント安定処理			m	—

作業土工 (擁壁) (R)			
種別	細別	単位	数量
床掘	土砂掘削	m <sup>2</sup>	1.1
埋戻	最大埋戻幅4m以上	m <sup>2</sup>	—
	最大埋戻幅1m以上4m未満	m <sup>2</sup>	0.8
	最大埋戻幅1m未満	m <sup>2</sup>	—

作業土工 (排水) (R)			
種別	細別	単位	数量
床掘	土砂掘削	m <sup>2</sup>	0.3
埋戻	最大埋戻幅4m以上	m <sup>2</sup>	—
	最大埋戻幅1m以上4m未満	m <sup>2</sup>	—
	最大埋戻幅1m未満	m <sup>2</sup>	0.3

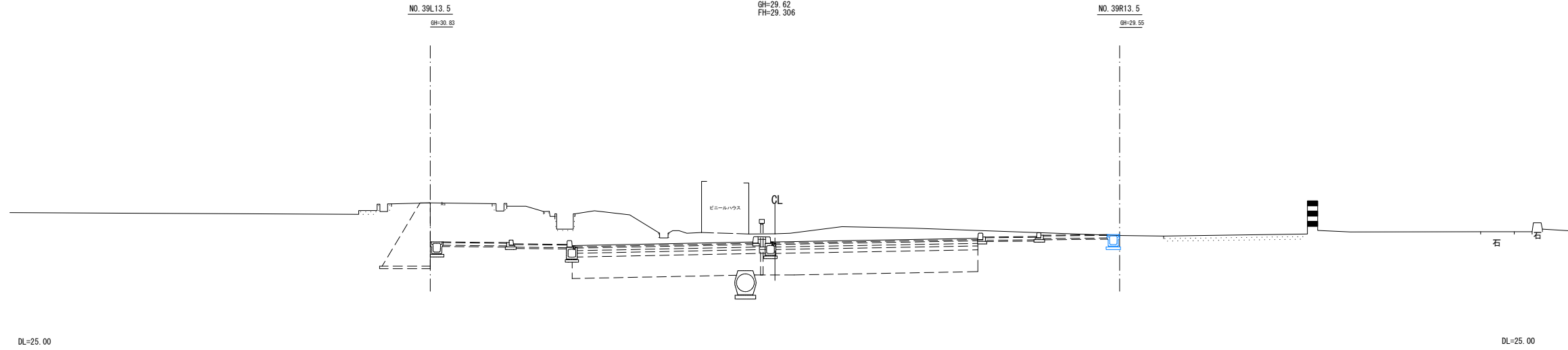


令和 年度	工事
事業	江井ヶ島松陰新田線
横断図 (1)	業全
縮尺	S=1:100
明石市 都市局 道路整備課	

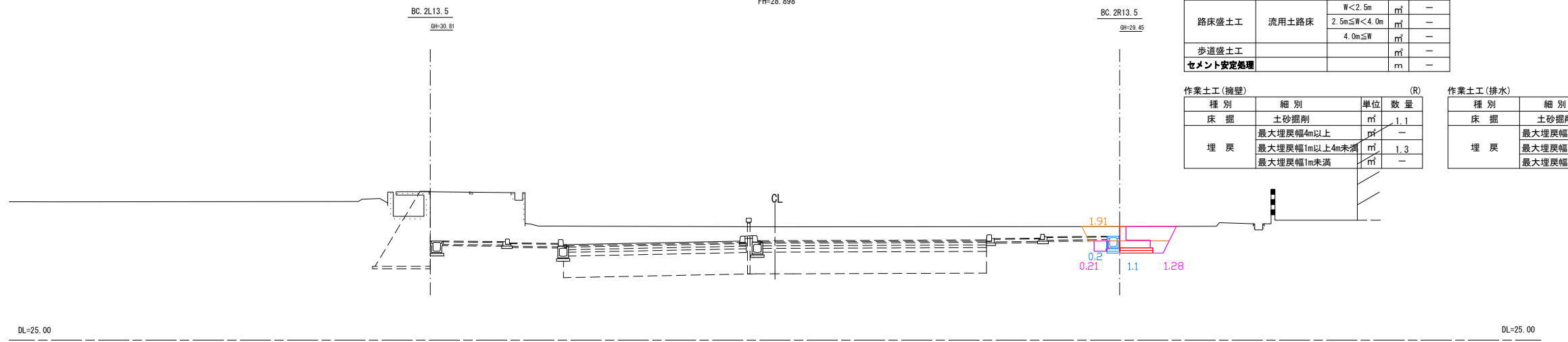
# 横断図 (2)

S=1:100

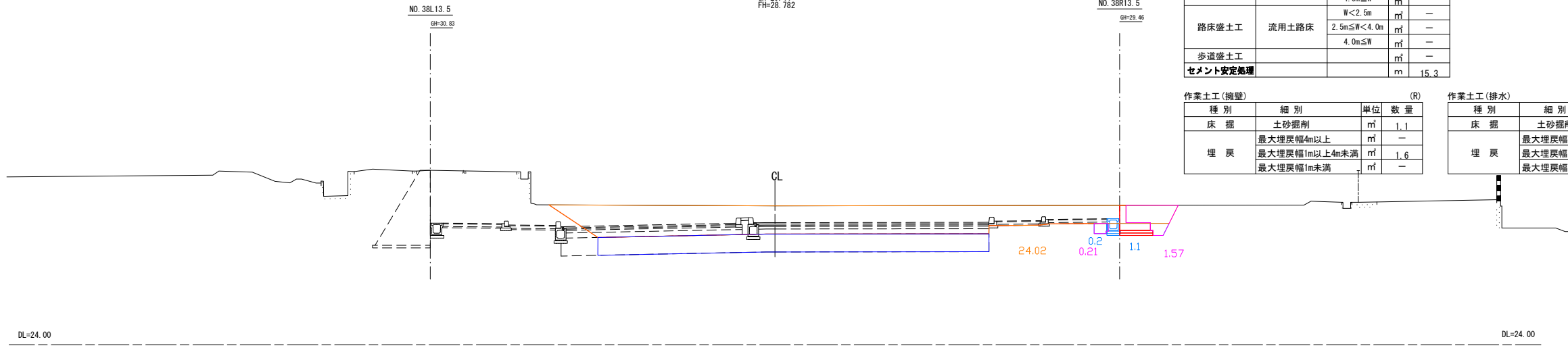
NO. 39  
GH=29.62  
FH=29.306



BC. 2  
GH=29.44  
FH=28.898



NO. 38  
GH=29.44  
FH=28.782



道路土工

種別	細別	区分	単位	数量
掘削工	土砂掘削	オ-ソカット	m	1.9
		片切	m	-
路体盛土工	流用土路体	W<2.5m	m	-
		2.5m≦W<4.0m	m	-
		4.0m≦W	m	-
		W<2.5m	m	-
路床盛土工	流用土路床	2.5m≦W<4.0m	m	-
		4.0m≦W	m	-
		歩道盛土工	m	-
セメント安定処理			m	-

作業土工(擁壁) (R)

種別	細別	単位	数量
床掘	土砂掘削	m	1.1
	最大埋戻幅4m以上	m	-
	最大埋戻幅1m以上4m未満	m	1.3
埋戻	最大埋戻幅1m未満	m	-

作業土工(排水) (R)

種別	細別	単位	数量
床掘	土砂掘削	m	0.2
	最大埋戻幅4m以上	m	-
埋戻	最大埋戻幅1m以上4m未満	m	-
	最大埋戻幅1m未満	m	0.2

道路土工

種別	細別	区分	単位	数量
掘削工	土砂掘削	オ-ソカット	m	24.0
		片切	m	-
路体盛土工	流用土路体	W<2.5m	m	-
		2.5m≦W<4.0m	m	-
		4.0m≦W	m	-
		W<2.5m	m	-
路床盛土工	流用土路床	2.5m≦W<4.0m	m	-
		4.0m≦W	m	-
		歩道盛土工	m	-
セメント安定処理			m	15.3

作業土工(擁壁) (R)

種別	細別	単位	数量
床掘	土砂掘削	m	1.1
	最大埋戻幅4m以上	m	-
	最大埋戻幅1m以上4m未満	m	1.6
埋戻	最大埋戻幅1m未満	m	-

作業土工(排水) (R)

種別	細別	単位	数量
床掘	土砂掘削	m	0.2
	最大埋戻幅4m以上	m	-
埋戻	最大埋戻幅1m以上4m未満	m	-
	最大埋戻幅1m未満	m	0.2

令和 年度	工事
事業	江井ヶ島松陰新田線
横断図(2)	業全
縮尺	S=1:100
明石市 都市局 道路整備課	



3. 擁 壁 工  
（ 附 帶 工 事 ）



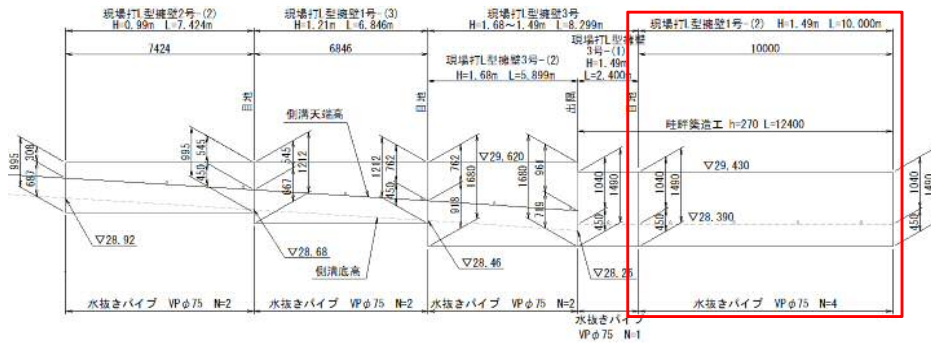
現場打擁壁工集計表

項目	種別	単位	現場打L型擁壁	現場打L型擁壁						
			1号-2	3号-1						
均しコンクリート	t=50,18-8-40	m3	1.65	0.43						2.1
同上型枠	無筋構造物	m2	2.00	0.48						2.5
均しコンクリート	t=50,18-8-40	m3	1.65	0.43						2.1
同上型枠	無筋構造物	m2	2.00	0.48						2.5
コンクリート	21-8-25	m3	8.08	2.22						10.3
型枠	鉄筋構造物	m2	31.04	8.14						39.2
鉄筋	D13 SD345	kg	647.00	167.08						814.1
水抜パイプ	VPφ75	m	1.00	0.25						1.3
透水材	B30×L30×t5.0	箇所	4	1						5.0
透水材マット		m2	8.3	2.0						10.3
目地材	t=10	m2	0.81							0.8
足場工	単管傾斜足場	掛m2								0.0
	枠組足場	掛m2								0.0
土工										
基面整正		m2	16.5	4.32						20.8
地盤改良工	t=80cm	m2	21.27	5.46						26.7
固化剤	セメント系	t	2.040	0.570						2.6

現場打L型擁壁(1号) 平均高計算表

	区間延長 L (m)	全 高 (H)			地 上 高 (h)			備 考
		全 高 H (m)	平均 高 H' (m)	縦断面積 L×H'=A (㎡)	地 上 高 h (m)	平均 高 h' (m)	縦断面積 L×h'=A' (㎡)	
1号-(2)	10.000	1.490 1.490	1.490	14.900	1.040 1.040	1.040	10.400	
計	10.000			14.900			10.400	
平均全高H=		14.900	÷	10.000	=	1.490		
平均地上高h=		10.400	÷	10.000	=	1.040		
平均根入高h=		1.490	-	1.040	=	0.450		

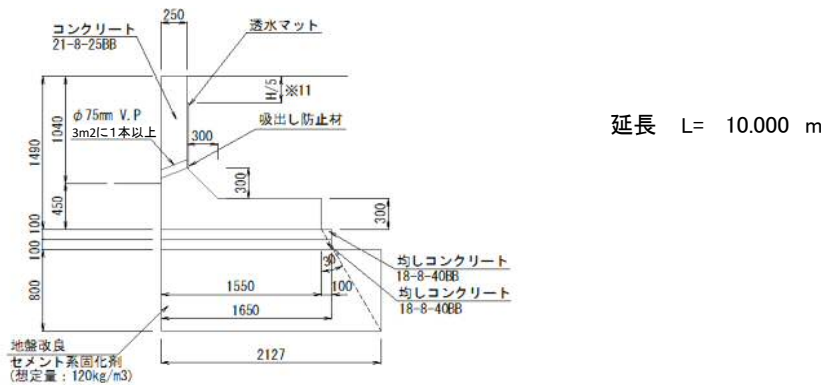
現場打L型擁壁(1号)展開図



算式根拠となる構造図

種別及び細別： 現場打L型擁壁1号-2計算書

1式当り

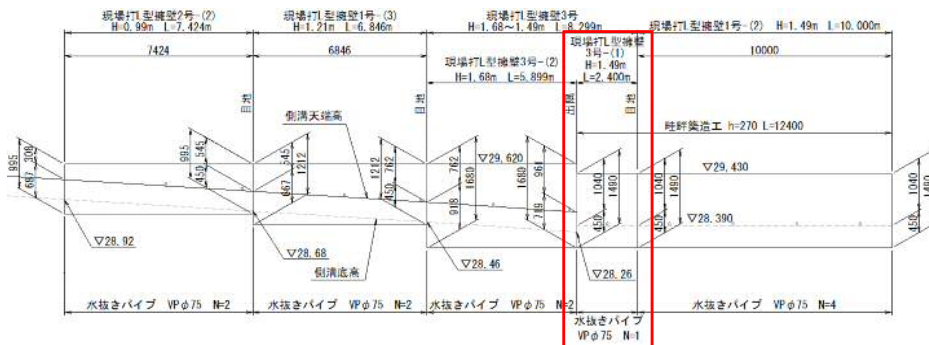


名称	規格・形状	算式	単位	数量
基面整正		$A = 1.650 \times 10.000$	m <sup>2</sup>	16.50
均しコンクリート	18-8-40 t=10cm	$V = 1.650 \times 10.000 \times 0.100$	m <sup>3</sup>	1.65
同上型枠		$A = 0.100 \times 10.000 \times 2$	m <sup>2</sup>	2.00
均しコンクリート	18-8-40 t=10cm	$V = 1.650 \times 10.000 \times 0.100$	m <sup>3</sup>	1.65
同上型枠		$A = 0.100 \times 10.000 \times 2$	m <sup>2</sup>	2.00
コンクリート	21-8-25	$V = (0.250 \times (1.49 - 0.30) + 1.55 \times 0.30 + 1/2 \times 0.30 \times 0.30) \times 10.00$	m <sup>3</sup>	8.08
型枠		$A = (1.49 + 1.49 - 0.30 + 0.30 \times \sqrt{2}) \times 10.00$	m <sup>2</sup>	31.04
鉄筋	D13 SD345	鉄筋表より $W = 64.700 \times 10.000$	kg	647.00
水抜きパイプ	VP φ75	N = 展開図より = 4 L = 0.25 × 4	m	1.00
吸出し防止材	B30 × L30 × t5.0		箇所	4
透水マット		$A = 1.04 \times 0.8 \times 10.000$	m <sup>2</sup>	8.32
目地材		$A = (0.250 \times (1.49 - 0.30) + 1.55 \times 0.30 + 1/2 \times 0.30 \times 0.30) \times 1$	m <sup>2</sup>	0.81
地盤改良	t=80cm	$A = 10.000 \times 2.127$	m <sup>3</sup>	21.27
固化剤	セメント系	$W = 0.800 \times 2.127 \times 10.000 \times 120 / 1000$	t	2.04

現場打L型擁壁(3号) 平均高計算表

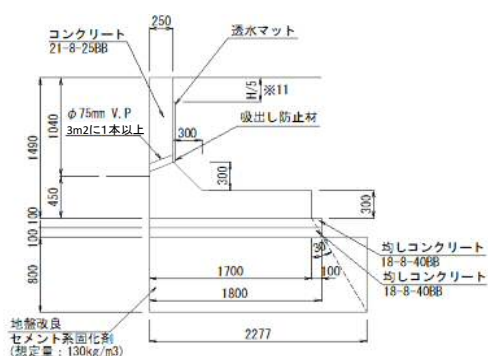
	区間延長 L (m)	全 高 (H)			地 上 高 (h)			備 考
		全 高 H (m)	平 均 高 H' (m)	縦断面積 L×H'=A (㎡)	地 上 高 h (m)	平 均 高 h' (m)	縦断面積 L×h'=A' (㎡)	
3号-(1)	2.400	1.490	1.490	3.576	1.040	1.040	2.496	
		1.490						
計	2.400			3.576			2.496	
平均全高H=		3.576	÷	2.400	=	1.490		
平均地上高h=		2.496	÷	2.400	=	1.040		
平均根入高h=		1.490	-	1.040	=	0.450		

現場打L型擁壁(3号)展開図



算式根拠となる構造図

種別及び細別： 現場打L型擁壁3号-1計算書 1式当り



延長 L= 2.400 m

名称	規格・形状	算式	単位	数量
基面整正		$A = 1.800 \times 2.400$	m <sup>2</sup>	4.32
均しコンクリート	18-8-40 t=10cm	$V = 1.800 \times 2.400 \times 0.100$	m <sup>3</sup>	0.43
同上型枠		$A = 0.100 \times 2.400 \times 2$	m <sup>2</sup>	0.48
均しコンクリート	18-8-40 t=10cm	$V = 1.800 \times 2.400 \times 0.100$	m <sup>3</sup>	0.43
同上型枠		$A = 0.100 \times 2.400 \times 2$	m <sup>2</sup>	0.48
コンクリート	21-8-25	$V = (0.250 \times (1.49 - 0.30) + 1.70 \times 0.30 + 1/2 \times 0.30 \times 0.30) \times 2.40$	m <sup>3</sup>	2.05
補強コンクリート		$V = 1/2 \times 0.50 \times 0.57 \times (1.49 - 0.30)$	m <sup>3</sup>	0.17
		合計	m <sup>3</sup>	2.22
型枠		$A = (1.49 + 1.49 - 0.30 + 0.30 \times \sqrt{2}) \times 2.40$	m <sup>2</sup>	7.45
補強コンクリート部		$A = 0.58 \times (1.49 - 0.30)$	m <sup>2</sup>	0.69
		合計	m <sup>2</sup>	8.14
鉄筋	D13 SD345	$W = 65.900 \times 2.400 + 1.280 \times 0.995 \times 7$	kg	167.08
水抜きパイプ	VP φ75	$N = \text{展開図より} = 1$ $L = 0.25 \times 1$	m	0.25
吸出し防止材	B30 × L30 × t5.0		箇所	1
透水マット		$A = 1.04 \times 0.8 \times 2.400$	m <sup>2</sup>	2.00
地盤改良	t=80cm	$A = 2.400 \times 2.277$	m <sup>2</sup>	5.46
固化剤	セメント系	$W = 0.800 \times 2.277 \times 2.400 \times 130 / 1000$	t	0.57

4. 畦 畔 工  
( 附 帶 工 事 )







5. 支 障 物 撤 去 工  
（ 附 帶 工 事 ）

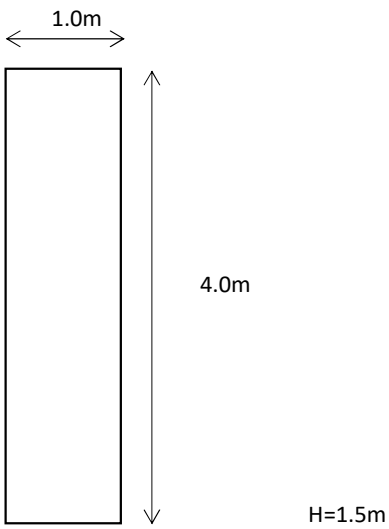




6. 試 掘 工  
（ 附 帶 工 事 ）



# 単位数計算書

細 別	試掘工	1箇所当り	
 <p style="text-align: center;">1.0m 4.0m H=1.5m</p>			
名 称	規 格	計 算 式	数 量
As切断	t=5cm	$L = 4.0 \times 2$	= 8.0 m
As破碎	t=5cm 小規模	$A = 1.0 \times 4.0$	= 4.0 m <sup>2</sup>
残殻処分	As	$V = 4.0 \times 0.05$	= 0.2 m <sup>3</sup>
床掘	小規模	$V = 1.0 \times 4.0 \times 1.5$	= 6.0 m <sup>3</sup>
埋戻	小規模 再生切込砕石	$V = 1.0 \times 4.0 \times 1.35$	= 5.4 m <sup>3</sup>
残土処分	小規模 土砂	$V = 6.000$	= 6.0 m <sup>3</sup>
上層路盤	粒調砕石 t=15cm	$A = 1.0 \times 4.0$	= 4.0 m <sup>2</sup>
表層	t=5cm	$A = 1.0 \times 4.0$	= 4.0 m <sup>2</sup>



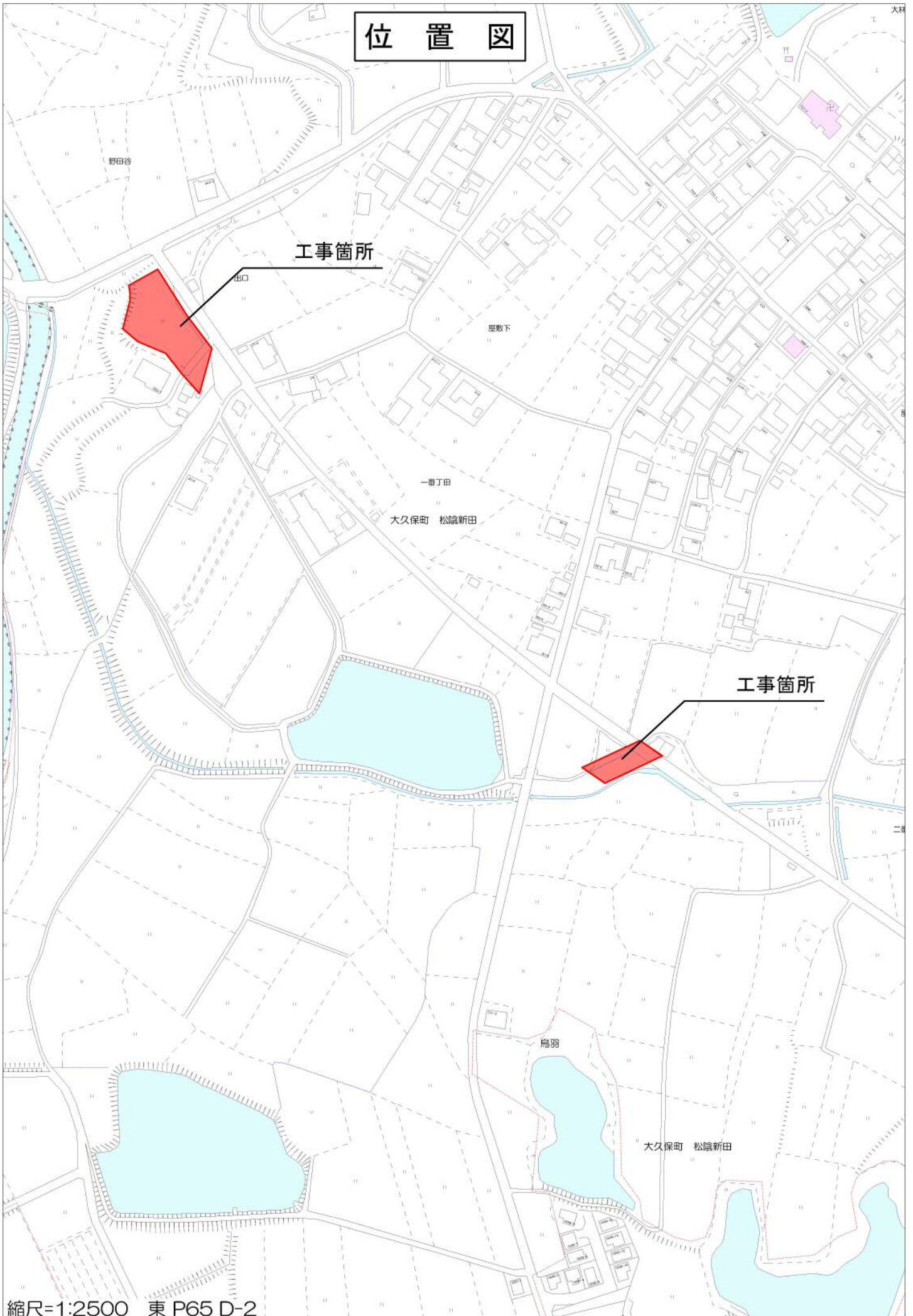
7. 仮 排 水 工  
（ 附 帯 工 事 ）



# 単位数計算書

細 別	仮排水工	1式当り	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>断面図（仮排水工）</p> </div> <div style="text-align: center;"> </div> </div>			
名 称	規 格	計 算 式	数 量
As切断	t=5cm	$L = 5.3 \times 2$	= 10.6 m
As破碎	t=5cm 小規模	$A = 1.255 \times 5.3 \times 2$	= 13.3 m <sup>2</sup>
残殻処分	As	$V = 13.3 \times 0.05$	= 0.7 m <sup>3</sup>
床掘	小規模	$V = 1.3 \times 2 \times 5.3$	= 13.8 m <sup>3</sup>
暗渠管 設置・撤去	高密度ポリエチレン管 Φ300	$L = 30 \times 2$	= 60.0 m
大型土のう 設置・撤去		$N = 2.0$	2.0 個
埋戻	小規模 砕石切込砕石	$V = 1.2 \times 2 \times 5.3$	= 12.7 m <sup>3</sup>
残土処分	土砂 小規模	$V = 13.8$	= 13.8 m <sup>3</sup>
上層路盤	粒調砕石 t=15cm	$A = 1.255 \times 5.3 \times 2$	= 13.3 m <sup>2</sup>
表層	t=5cm	$A = 1.255 \times 5.3 \times 2$	= 13.3 m <sup>2</sup>

# 位置図

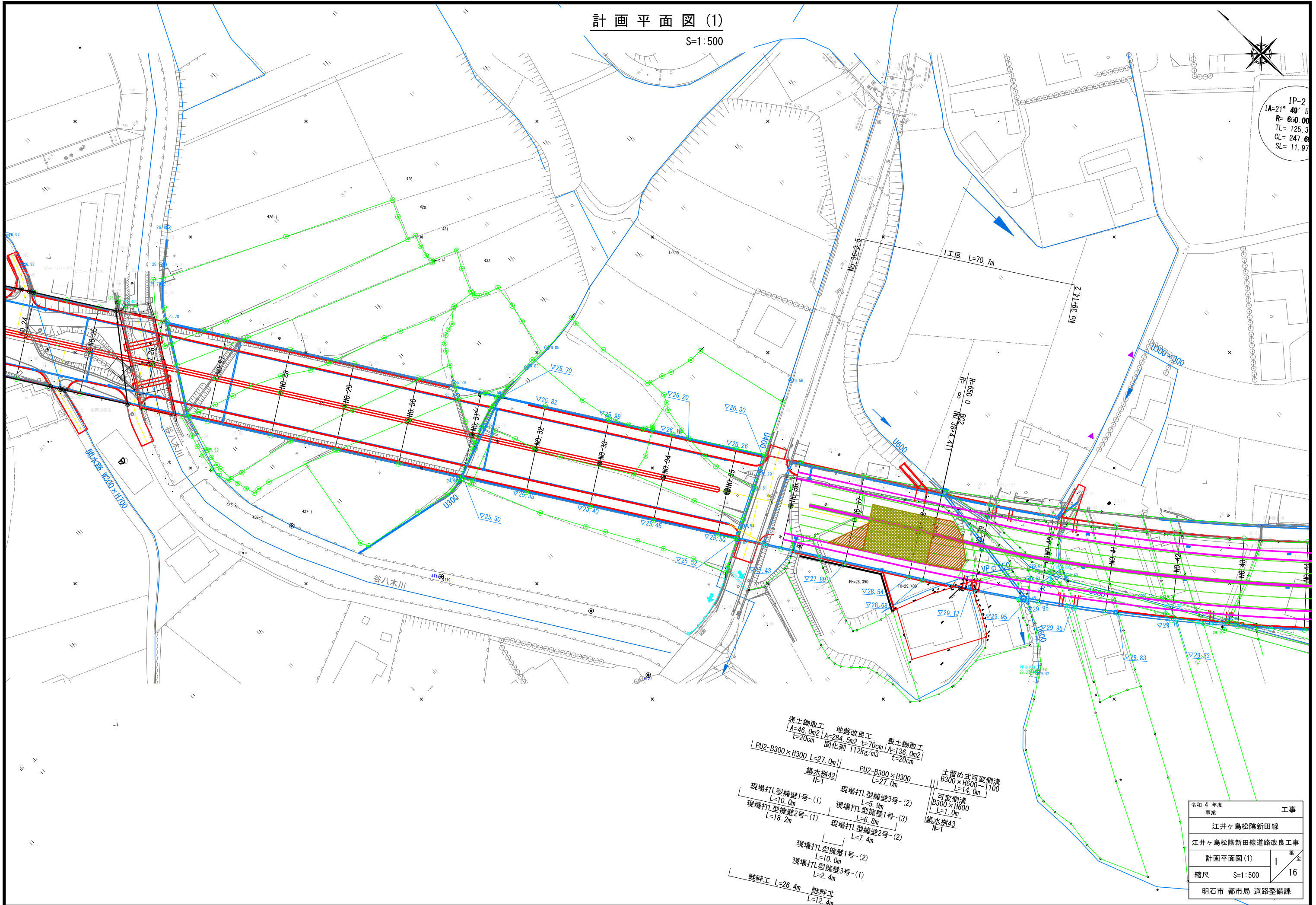




計画平面図 (1)

S=1:500

IP-2  
 IA=21° 49' 5"  
 R= 650.00  
 TL= 125.3  
 CL= 247.6  
 SL= 11.97



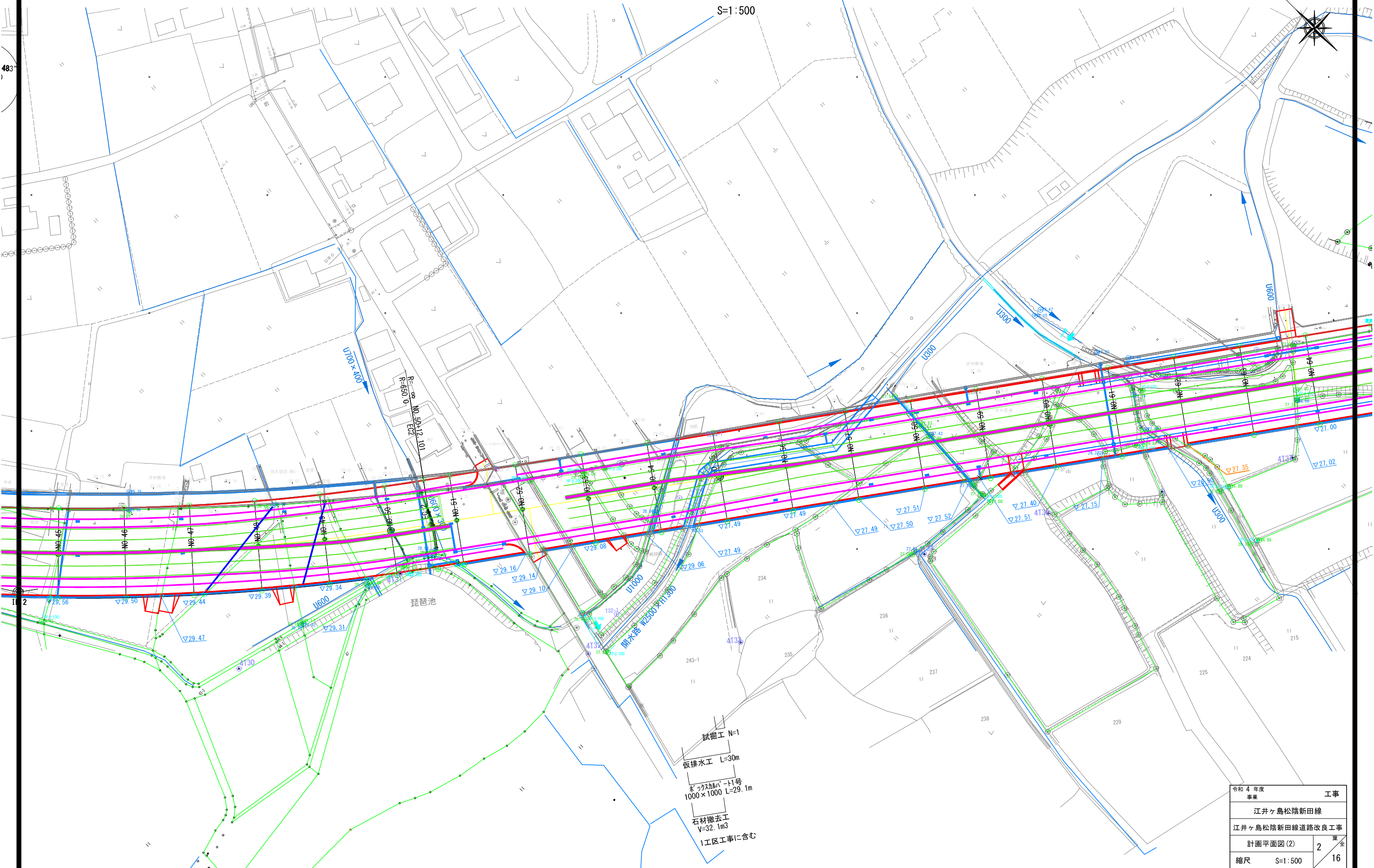
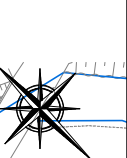
表土掘取工 A=46.0m <sup>2</sup> t=20cm	地盤改良工 A=284.5m <sup>2</sup> t=70cm 固化剤 112kg/m <sup>3</sup>	表土掘取工 A=136.0m <sup>2</sup> t=20cm
PU2-B300×H300 L=27.0m	PU2-B300×H300 L=27.0m	土留め式可変側溝 B300×H600~1100 L=14.0m
集水樹42 N=1	現場打L型擁壁3号-(2) L=5.9m	可変側溝 B300×H600 L=1.0m
現場打L型擁壁1号-(1) L=10.0m	現場打L型擁壁1号-(3) L=6.8m	集水樹43 N=1
現場打L型擁壁2号-(1) L=18.2m	現場打L型擁壁2号-(2) L=7.4m	
現場打L型擁壁1号-(2) L=10.0m	現場打L型擁壁3号-(1) L=2.4m	
現場打L型擁壁3号-(1) L=2.4m	駐留工 L=26.4m	
	駐留工 L=12.4m	

令和4年度 事業	工事
江井ヶ島松陰新田線	
江井ヶ島松陰新田線道路改良工事	
計画平面図(1)	1
縮尺	S=1:500
明石市 都市局 道路整備課	16



計画平面図 (2)

S=1:500

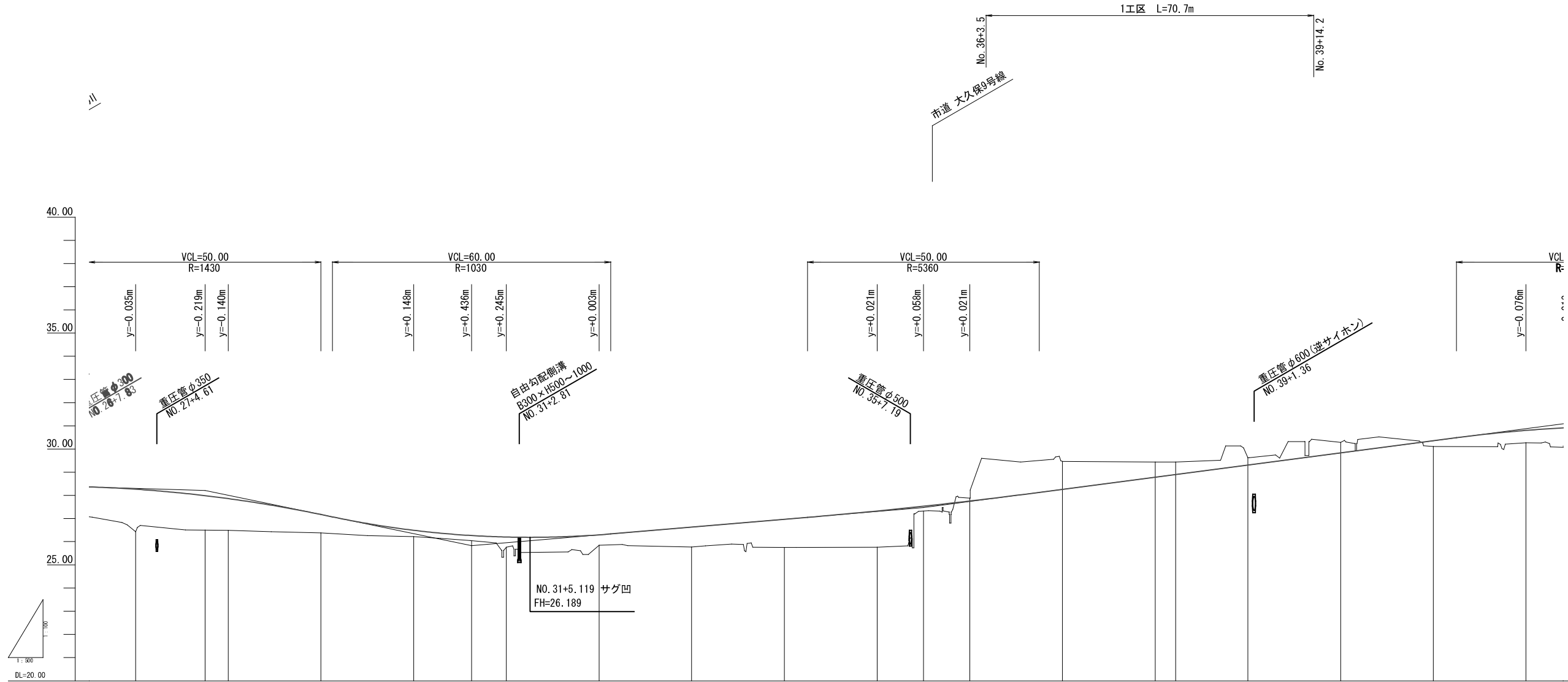


試掘工 N=1  
 仮排水工 L=30m  
 ホックカルバート1号  
 1000×1000 L=29.1m  
 石材撤去工  
 V=32.1m<sup>3</sup>  
 1工区工事に含む

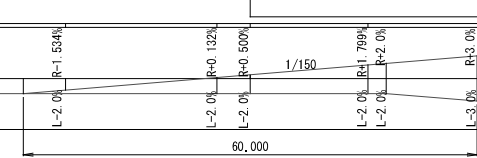
令和4年度 事業	工事
江井ヶ島松陰新田線	
江井ヶ島松陰新田線道路改良工事	
計画平面図(2)	2
縮尺	S=1:500
16	
明石市 都市局 道路整備課	

# 縦断図 (1)

SH=1:500  
SV=1:100

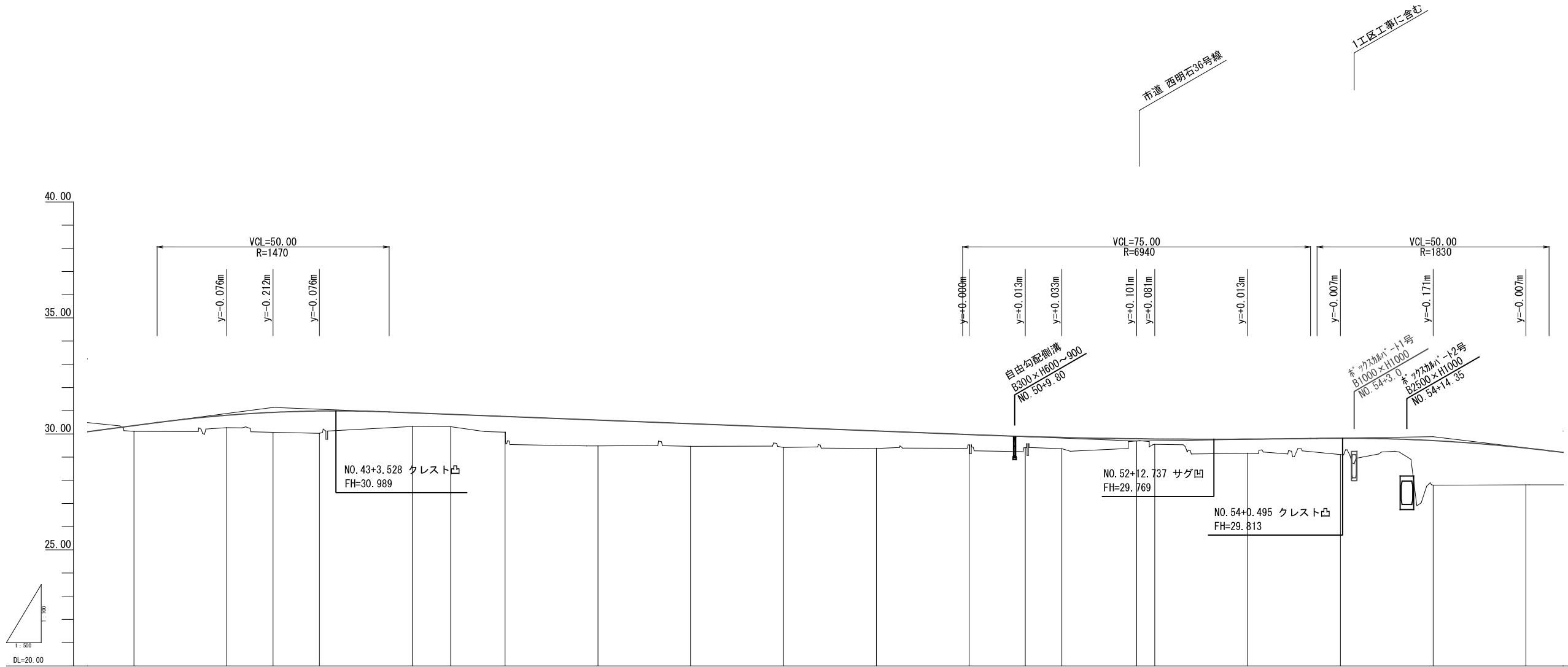


勾配	28.206		25.830		27.473		27.473												
	$i=4.132\%$ $L=57.500m$		$i=1.685\%$ $L=97.500m$		$i=2.619\%$ $L=140.000m$														
盛土	1.835	27.987	1.369	0.793	0.276	0.441	0.436	0.860	1.217	1.565	0.124	1.201	0.658	0.542	0.314	0.450	0.243	0.531	
切土																			
計画高	28.265	27.987	27.859	27.173	26.496	26.266	26.201	26.296	26.630	26.967	27.325	27.531	27.756	28.259	28.782	29.306	29.830	30.353	30.801
地盤高	26.43	27.987	26.49	26.38	26.22	26.49	25.76	25.85	25.77	25.75	25.76	27.88	29.46	29.44	29.62	30.28	30.11	30.27	30.801
追加距離	540.000	555.000	560.000	580.000	600.000	612.500	620.000	640.000	660.000	680.000	700.000	710.000	720.000	740.000	760.000	780.000	800.000	820.000	840.000
単距離	20.000	15.000	5.000	20.000	20.000	12.500	7.500	20.000	20.000	20.000	20.000	10.000	10.000	20.000	4.411	15.589	20.000	20.000	20.000
測点	NO. 27	NO. 27 +15.0	NO. 28	NO. 29	NO. 30	NO. 30 +12.5	NO. 31	NO. 32	NO. 33	NO. 34	NO. 35	NO. 35 +10.0	NO. 36	NO. 37	NO. 38	NO. 39	NO. 40	NO. 41	NO. 42
曲線																			
片勾配	L, R -2.00%																		



# 縦断図 (2)

SH=1:500  
SV=1:100

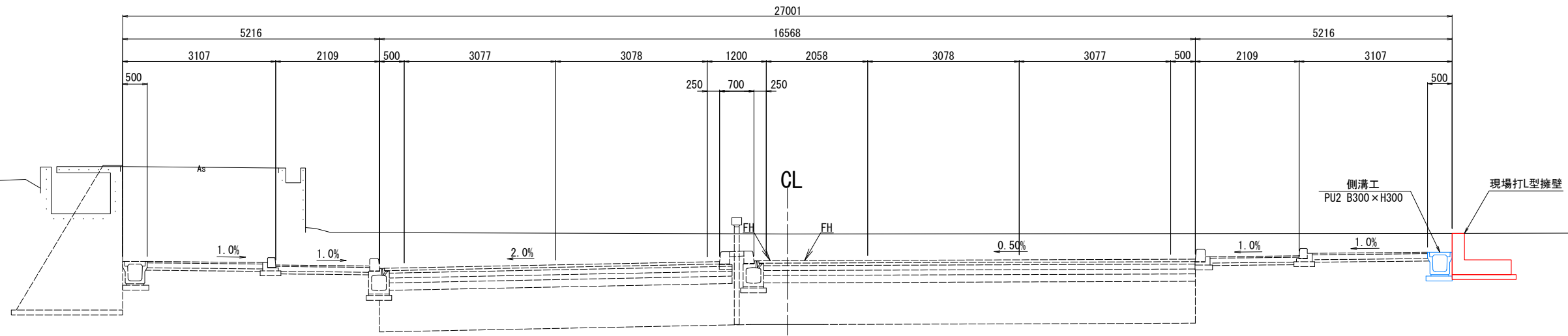


勾配																			
盛土	0.243	0.531	0.965	0.585	0.531	0.679	1.113	0.977	0.871	0.755	0.449	0.488	0.487	29.789	0.231	0.613	0.703	1.919	1.586
切土																			
計画高	30.353	30.801	30.927	30.985	30.905	30.841	30.749	30.593	30.437	30.281	30.125	29.969	29.888	29.789	29.781	29.773	29.813	29.709	29.386
地盤高	30.11	30.27	30.927	30.02	30.32	30.31	30.07	29.48	29.46	29.41	29.37	29.52	29.40	29.55	29.55	29.16	29.11	27.79	27.80
追加距離	820.000	840.000	850.000	860.000	880.000	888.256	900.000	920.000	940.000	960.000	980.000	1000.000	1012.101	1036.100	1040.000	1060.000	1080.000	1100.000	1120.000
単距離	20.000	20.000	10.000	10.000	20.000	8.256	11.744	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	12.101	3.900	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000
測点	NO.41	NO.42	NO.42 +10.0	NO.43	NO.44	SP.2	NO.45	NO.46	NO.47	NO.48	NO.49	NO.50	EC.2	NO.51	NO.52	NO.53	NO.54	NO.55	NO.56
曲線	<p>IP.2 IA=21°49'59" TI=125.366 R=650.000 CL=247.690 SL=11.979</p>																		
片勾配																			

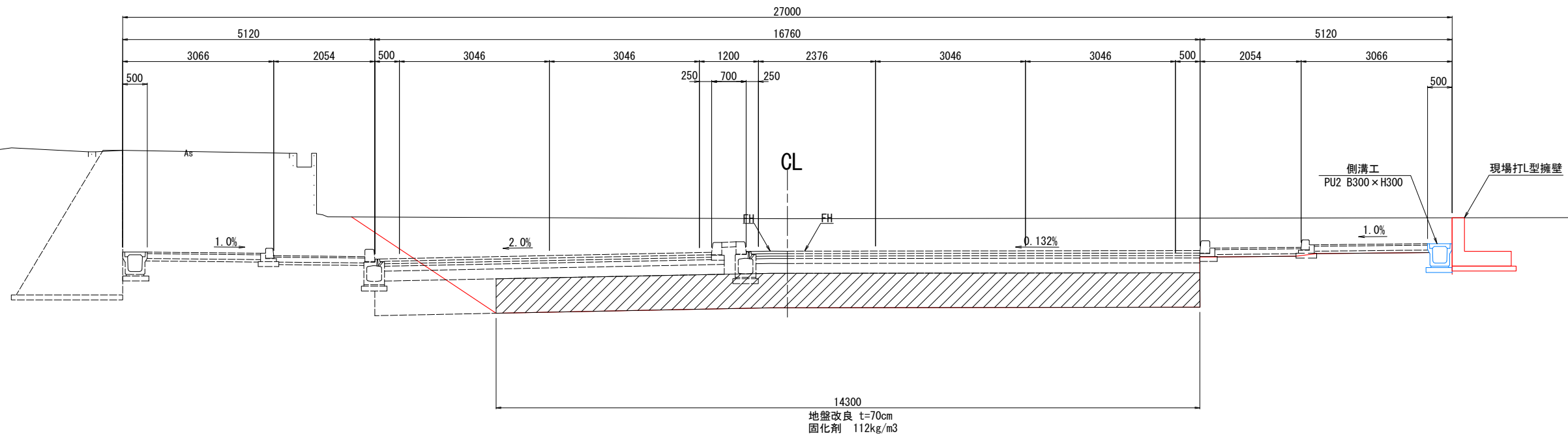


標準横断図 S=1:50

一般部  
BC. 2



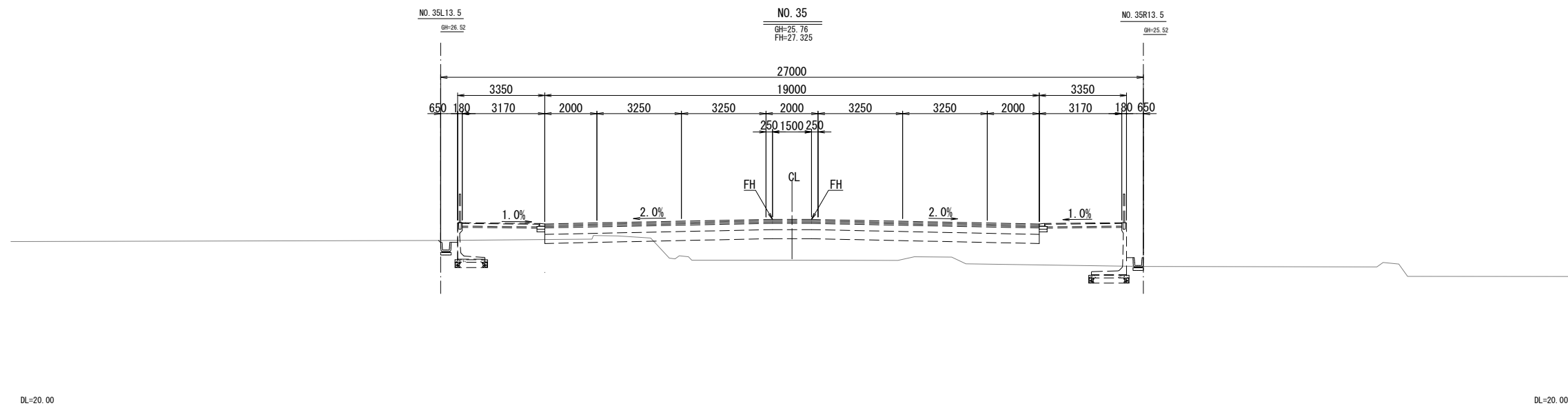
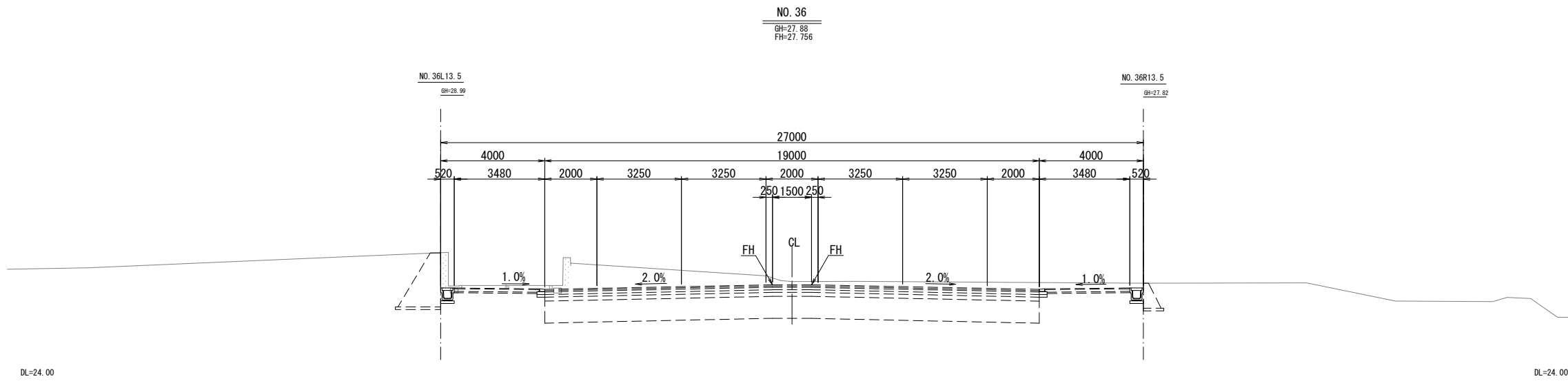
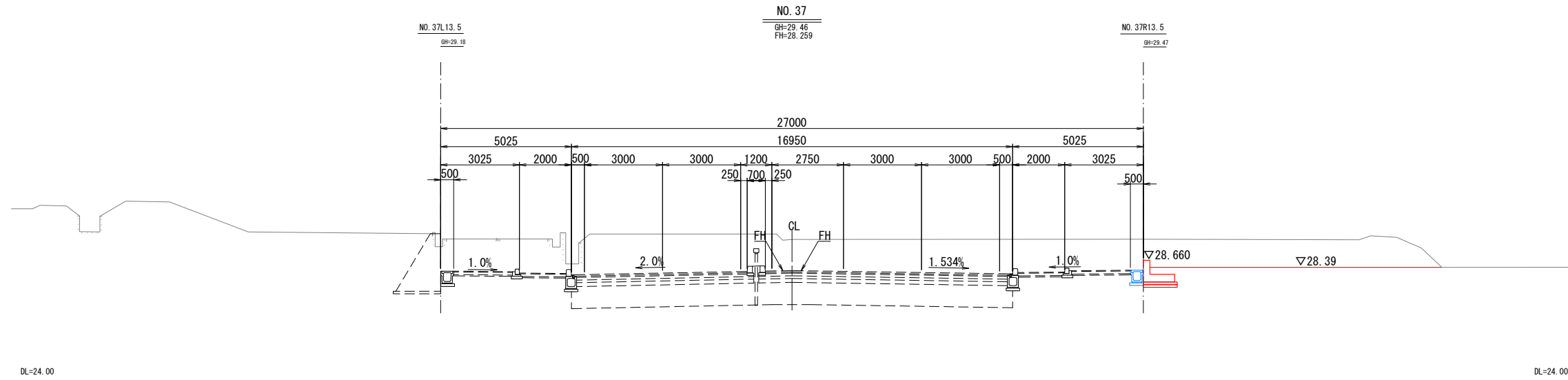
地盤改良部  
NO. 38



令和 4 年度 事業	工事
江井ヶ島松陰新田線	
江井ヶ島松陰新田線道路改良工事	
標準横断図	5
縮尺 S=1:50	16
明石市 都市局 道路整備課	

# 横断図 (1)

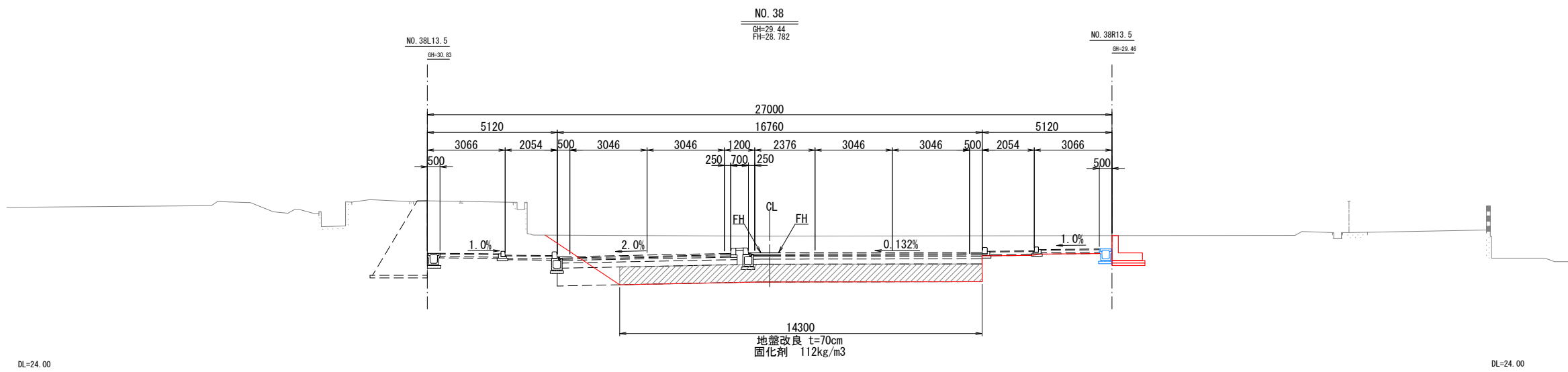
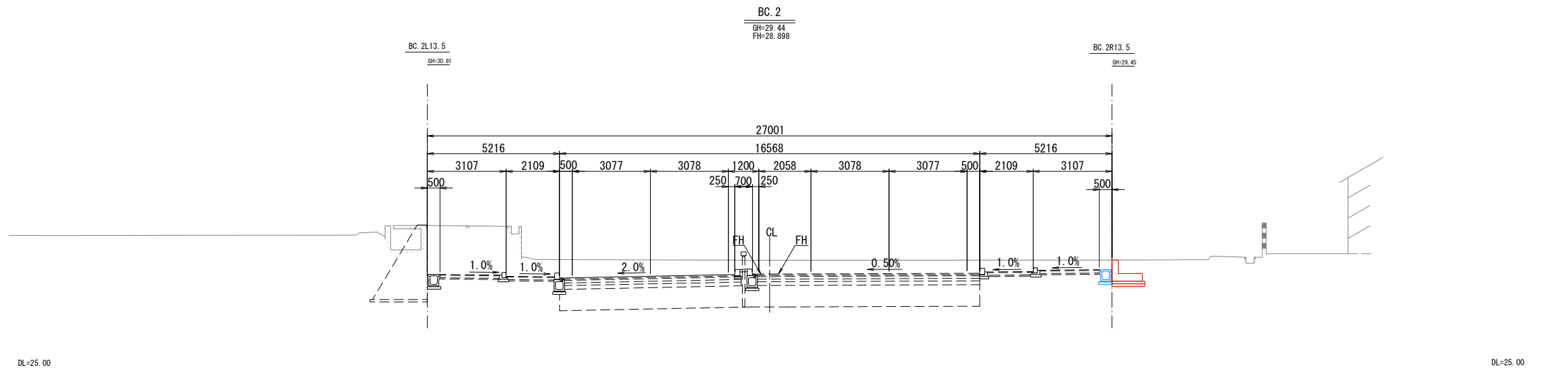
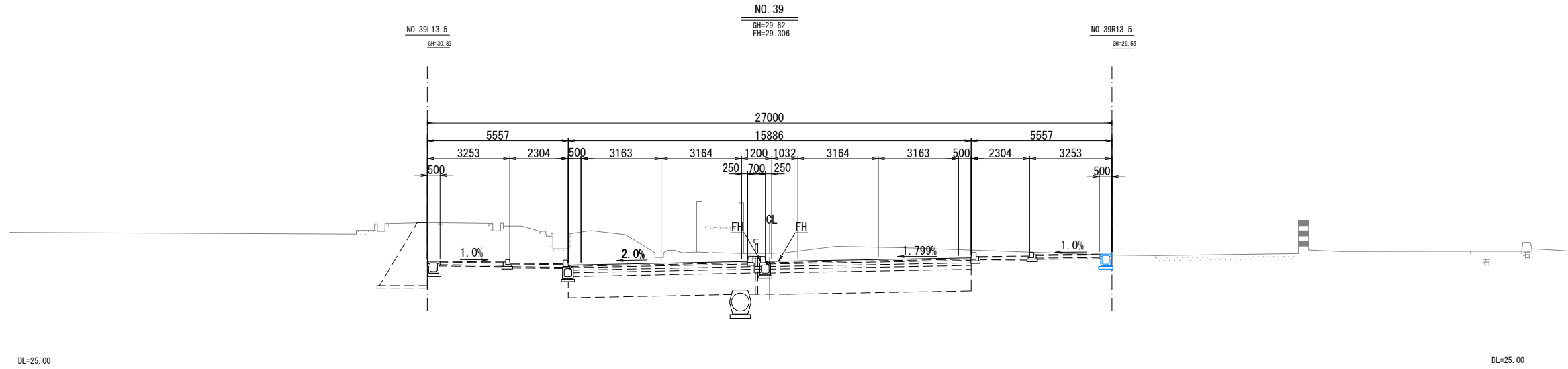
S=1:100



令和 4 年度	
江井ヶ島松陰新田線	
江井ヶ島松陰新田線道路改良工事	
横断図 (1)	6
縮尺 S=1:100	16
明石市 都市局 道路整備課	

# 横断図 (2)

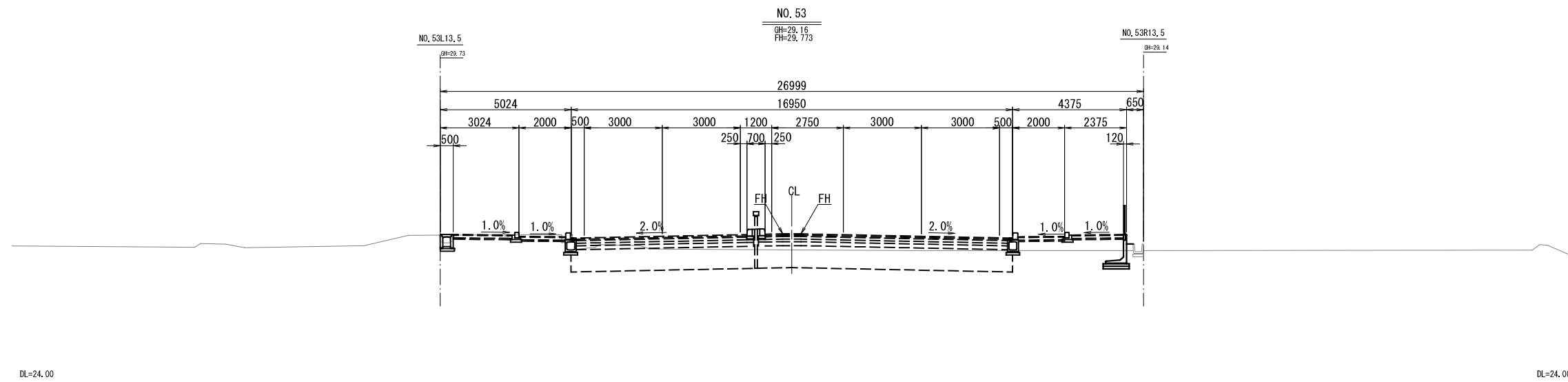
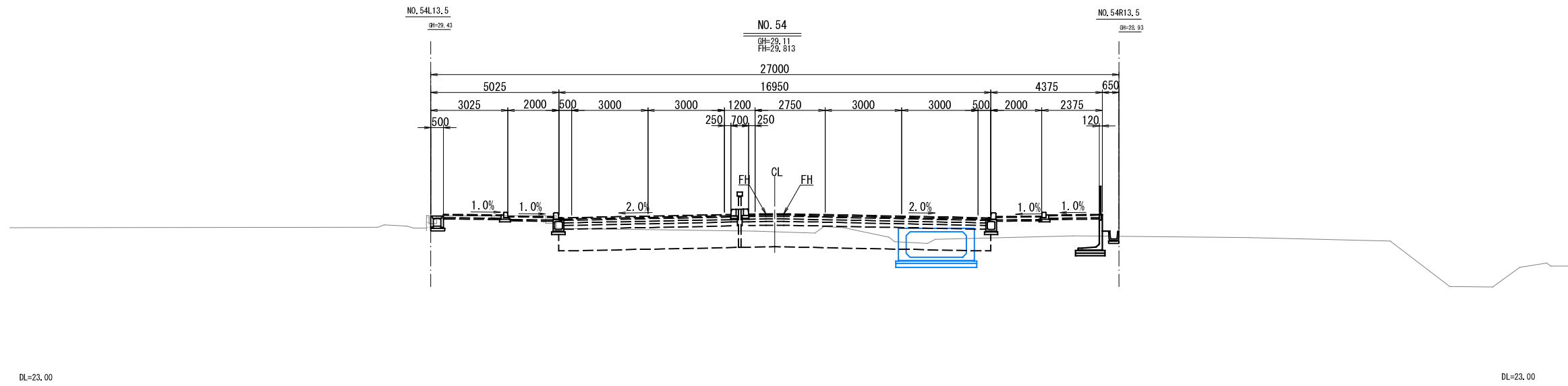
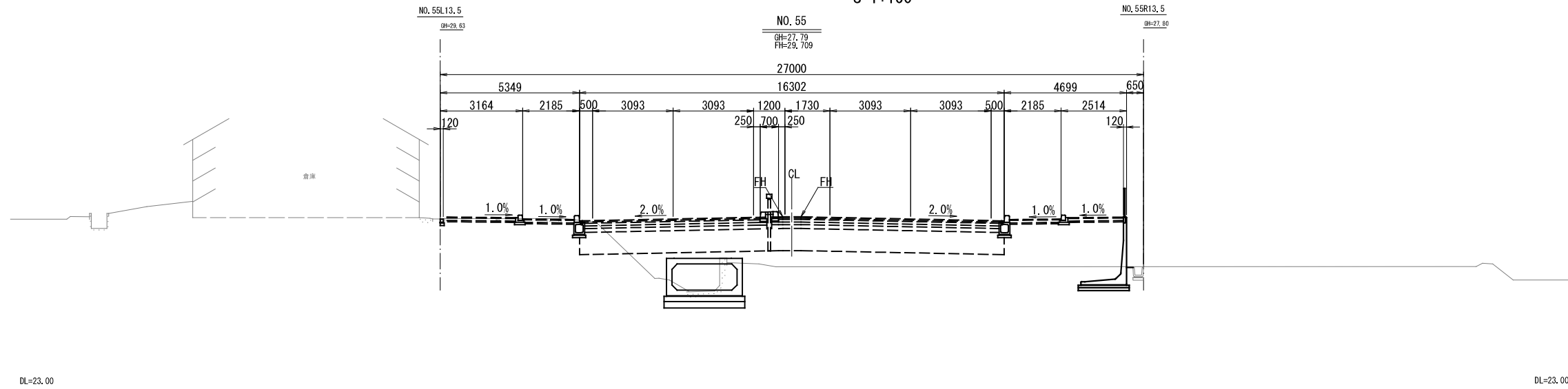
S=1:100



令和 4 年度 事業	工事
江井ヶ島松陰新田線	
江井ヶ島松陰新田線道路改良工事	
横断図 (2)	7 / 16
縮尺	S=1:100
明石市 都市局 道路整備課	

# 横断図 (3)

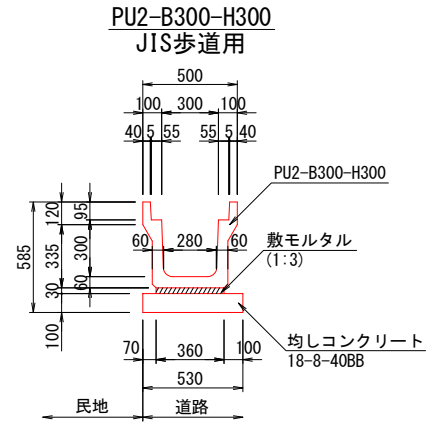
S=1:100



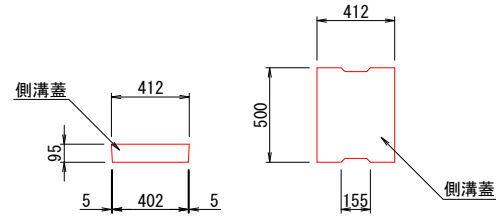
令和 4 年度 事業	工事
江井ヶ島松陰新田線	
江井ヶ島松陰新田線道路改良工事	
横断図 (3)	8 / 業 16 / 全
縮尺	S=1:100
明石市 都市局 道路整備課	

# 構造図 (1)

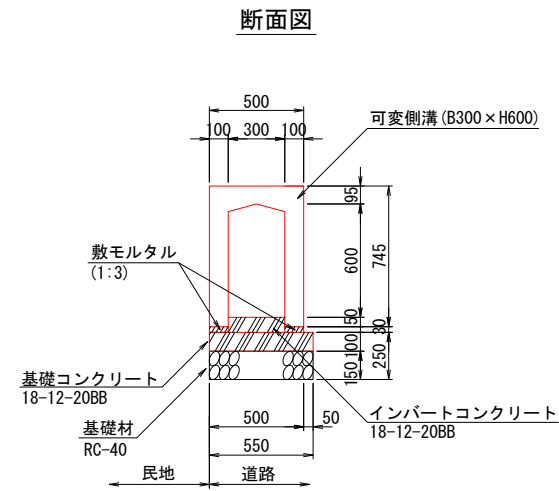
側溝・水路工  
S=1:20



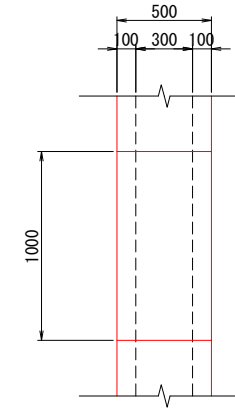
側溝蓋 (JIS歩道用) 300用



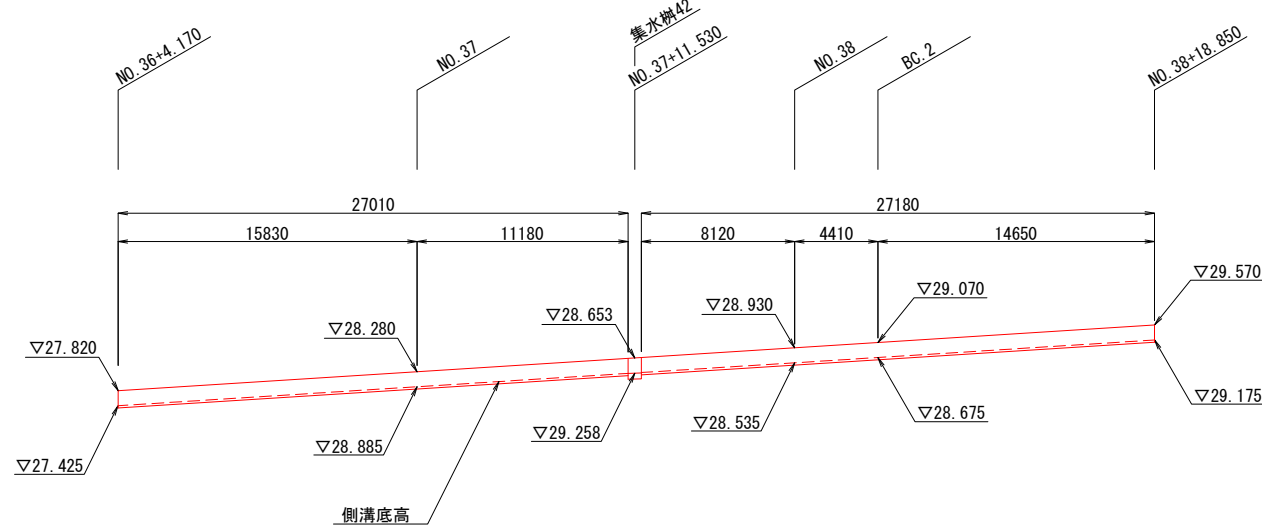
可変側溝 (B300×H600)  
S=1:20



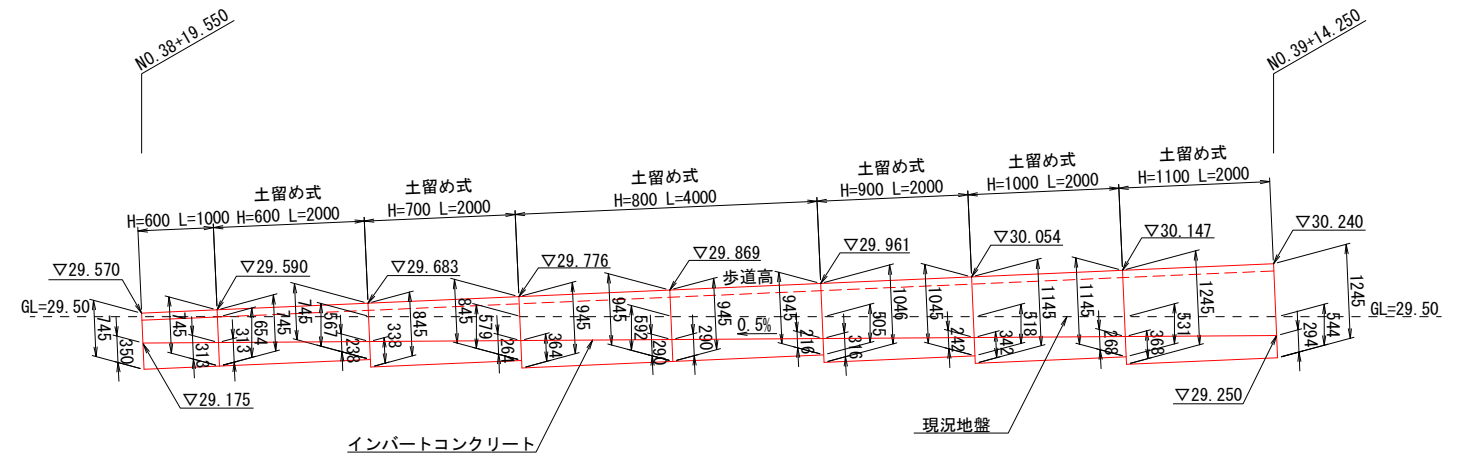
標準施工平面図



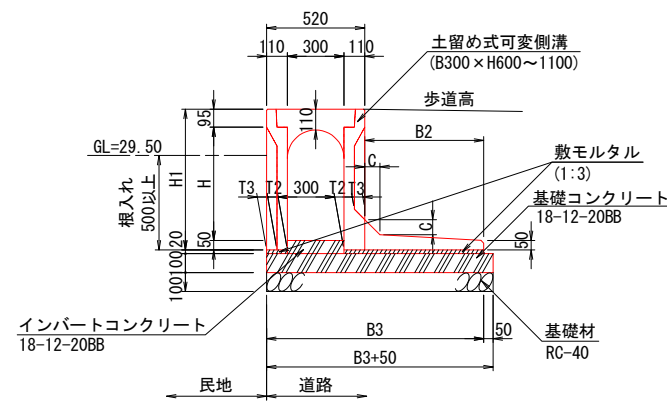
側溝縦断面  
V=1:100 H=1:200



土留め式可変側溝割付図  
S=1:50



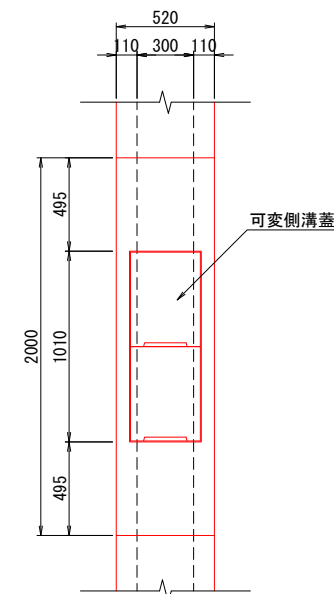
土留め式可変側溝 (B300×H600~1100)  
S=1:20



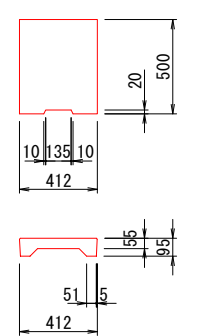
寸法表

内幅	H	T2	T3	B2	B3	C
300	600	55	55	630	1150	80
	700	55	55	630	1150	80
	800	55	55	630	1150	80
	900	70	40	780	1300	100
	1000	70	40	780	1300	100
	1100	70	40	780	1300	100

標準施工平面図



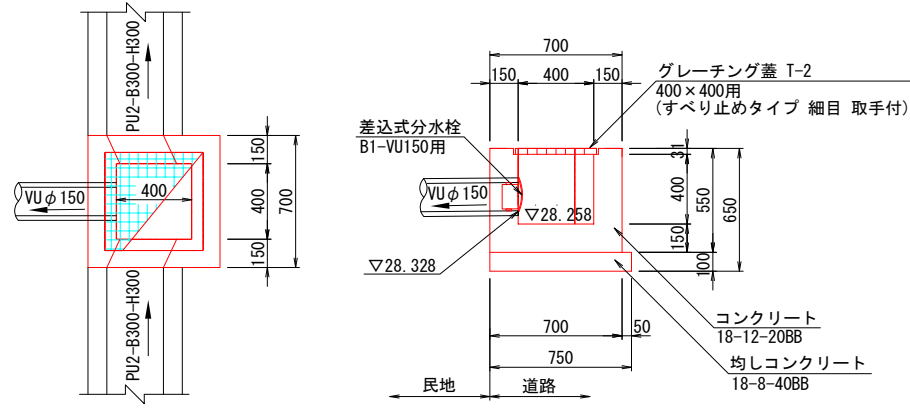
可変側溝蓋 歩道用 (1種)  
B300用 S=1:10



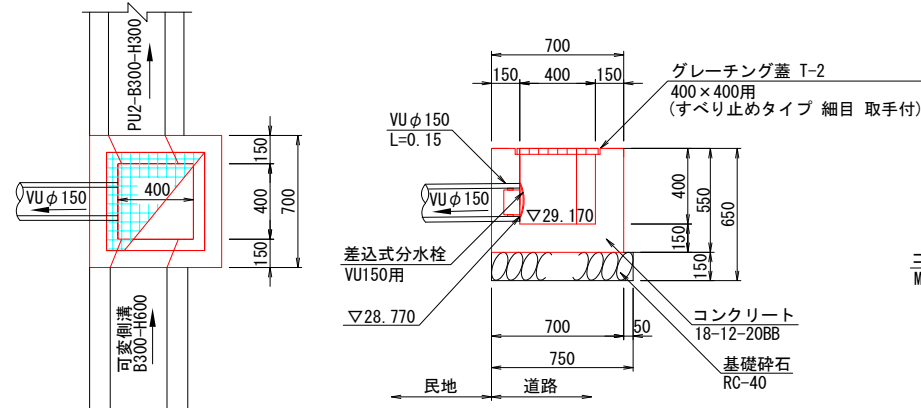
令和 4 年度 事業	工事
江井ヶ島松陰新田線	
江井ヶ島松陰新田線道路改良工事	
構造図 (1)	9
縮尺 図示	16
明石市 都市局 道路整備課	

# 構造図 (2)

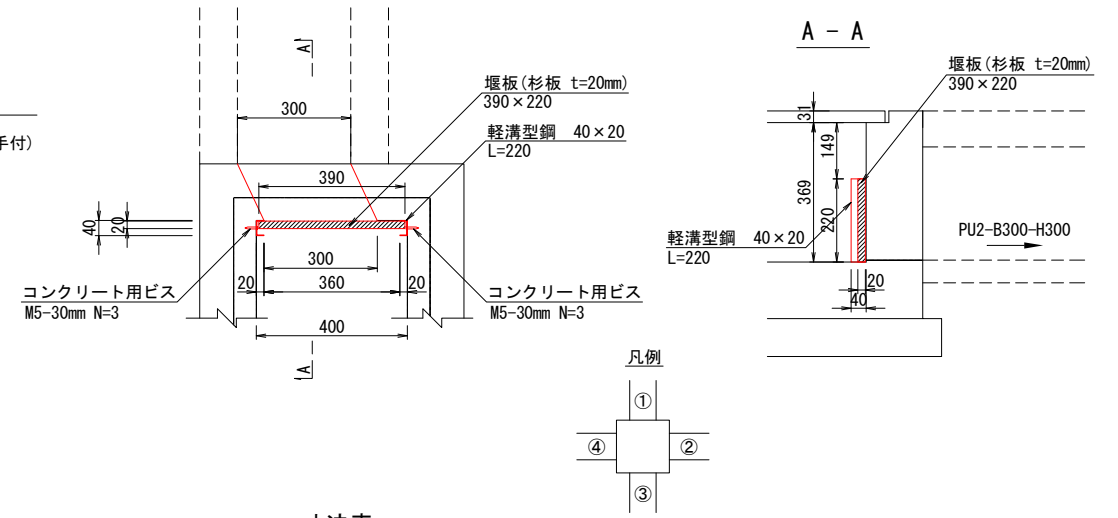
集水樹42  
S=1:20



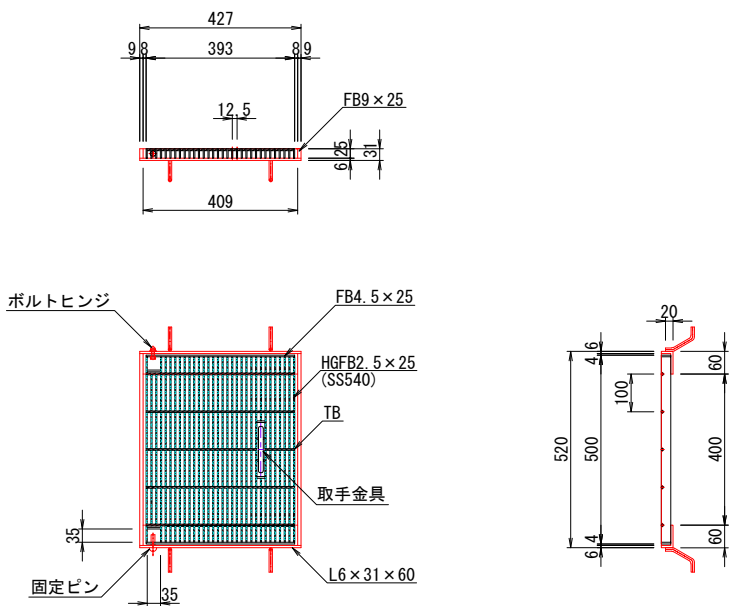
集水樹43  
S=1:20



堰板  
S=1:10

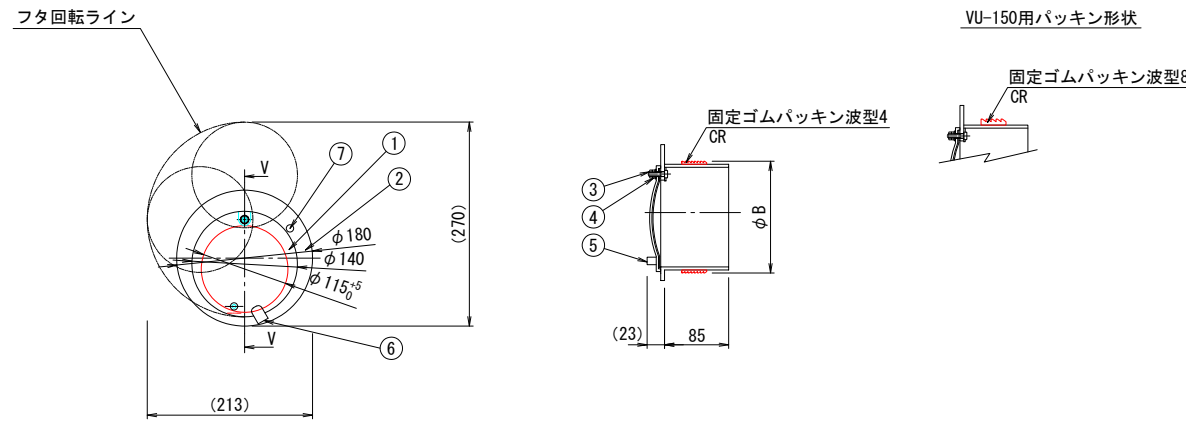


グレーチング蓋 (T-2)  
400x400用  
すべり止めタイプ 細目 取手付  
S=1:20



参考重量: グレーチング 9.3kg  
受 枠 5.5kg

差込式分水栓  
S=1:5



単位: mm

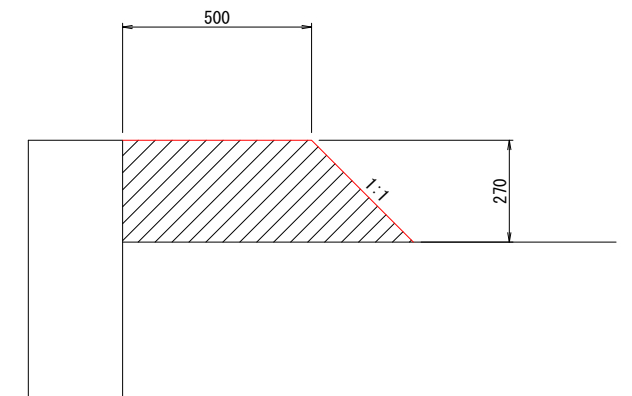
品番	B	適合管
VU150用	155	VU-150 (内径φ154)

番号	名称	数量	材質
1	フタ	1	ABS
2	本体	1	ABS
3	フタ取付ボルト	1	SUS304
4	フタ取付ナット	2	SUS304
5	ツマミ	1	ABS
6	ツメ	1	ABS
7	ストッパー	1	ABS

寸法表

集水樹番号	寸法 (mm)			
	設置箇所			
	①	②	③	④
42	b390 x h220	-	-	差込式分水栓 VU150用
43	b390 x h220	-	-	差込式分水栓 VU150用

畦畔工  
S=1:10

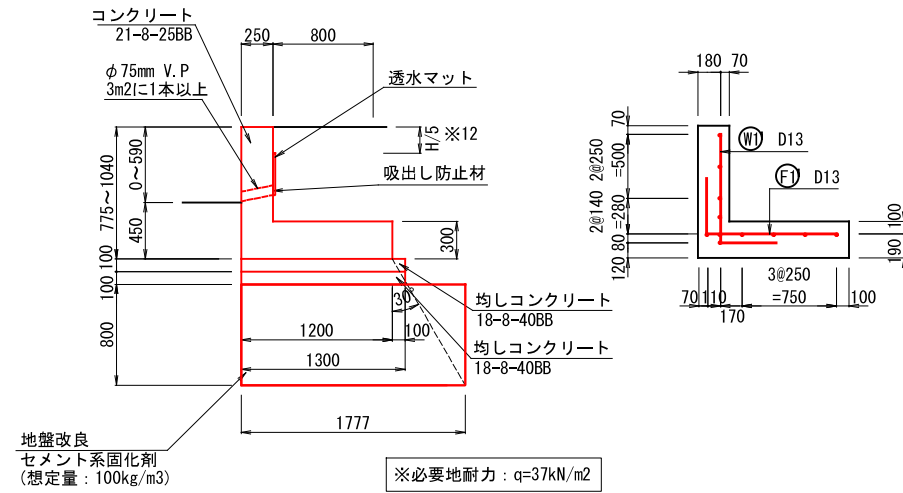


# 現場打L型擁壁構造図(1)

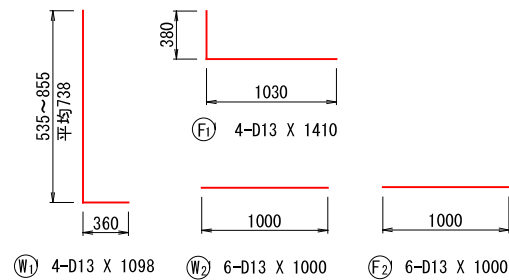
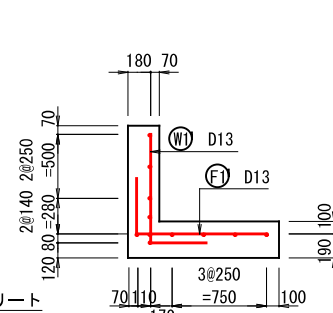
S=1:30

現場打L型擁壁2号-(1)  
現場打L型擁壁2号-(2)

## 構造図



## 断面配筋

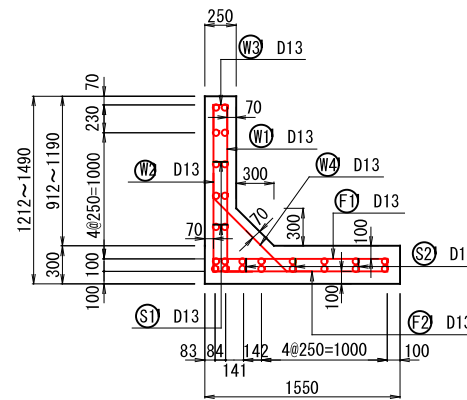


鉄筋質量表

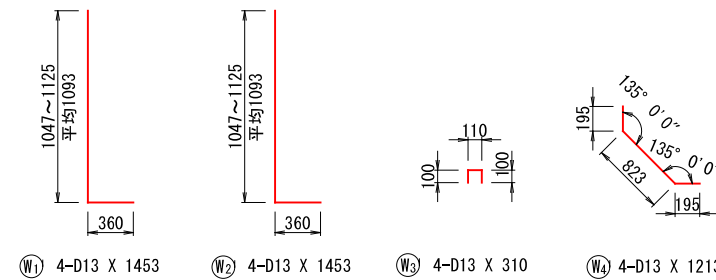
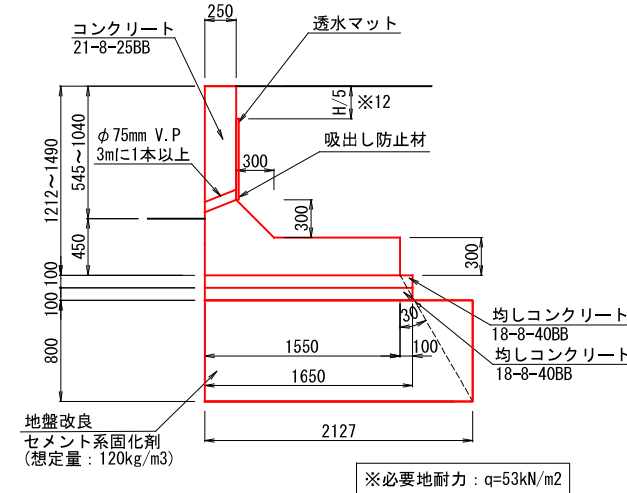
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	形状	摘要
W1	D13	1098	4	0.995	1.09	4.4	L	(平均長)
W2	D13	1000	6	0.995	1.00	6.0	—	
F1	D13	1410	4	0.995	1.40	5.6	—	
F2	D13	1000	6	0.995	1.00	6.0	—	
						D13	22.0	kg

現場打L型擁壁1号-(1)  
現場打L型擁壁1号-(3)

## 断面配筋



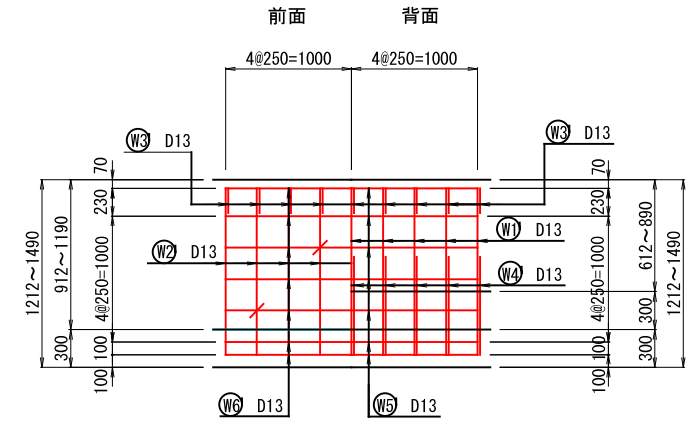
## 構造図



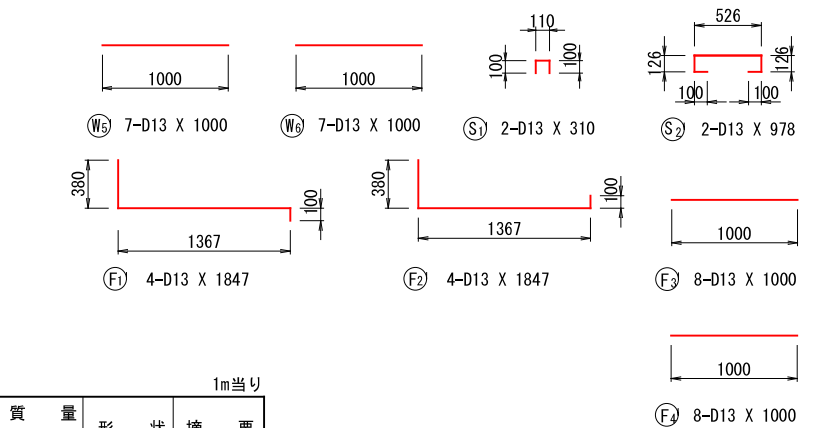
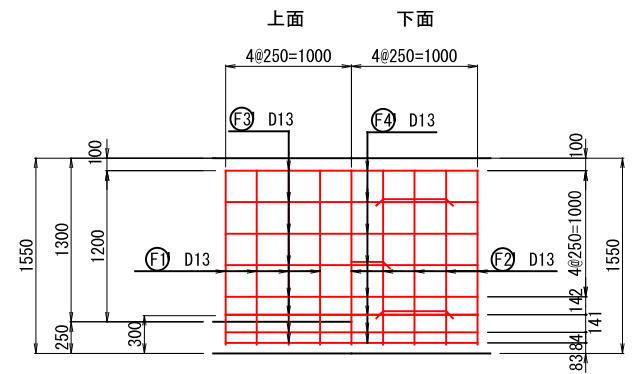
鉄筋質量表

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	形状	摘要
W1	D13	1453	4	0.995	1.45	5.8	L	(平均長)
W2	D13	1453	4	0.995	1.45	5.8	L	(平均長)
W3	D13	310	4	0.995	0.31	1.2	□	
W4	D13	1213	4	0.995	1.21	4.8	—	
W5	D13	1000	7	0.995	1.00	7.0	—	
W6	D13	1000	7	0.995	1.00	7.0	—	
F1	D13	1847	4	0.995	1.84	7.4	—	
F2	D13	1847	4	0.995	1.84	7.4	—	
F3	D13	1000	7	0.995	1.00	7.0	—	
F4	D13	1000	7	0.995	1.00	7.0	—	
S1	D13	310	2	0.995	0.31	0.6	□	
S2	D13	978	2	0.995	0.97	1.9	□	
						D13	62.9	kg

## たて壁



## 底板



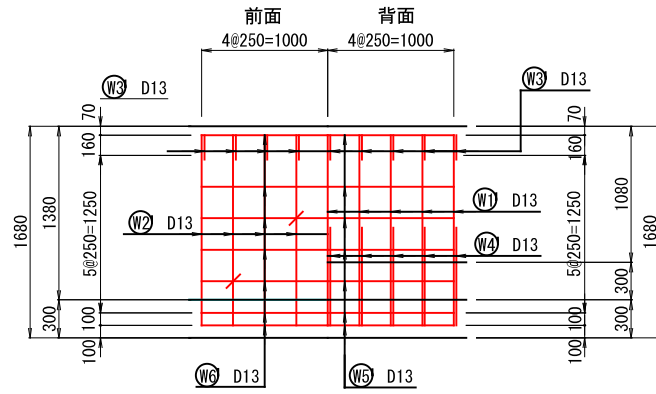
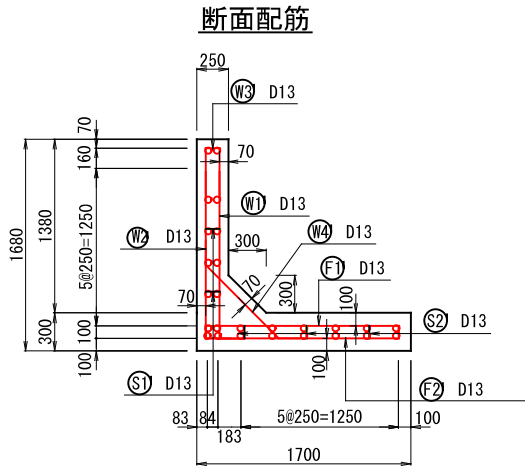
注1) L型擁壁は頭切りとする。  
 注2) 定着は主鉄筋で40D以上その他は鉄筋コンクリート標準仕様書による。  
 注3) 擁壁底版の根入れ深さは、H(見え高)の2割以上とし最低根入れ深さは45cmとする。  
 注4) 伸縮目地は原則として20m以内に1カ所とし底版も設ける。但し擁壁折れ点からは2m以上ないし擁壁の高さ程度離隔する。また折れ点は出隅補強する。  
 注5) 基礎底版の地盤支持力についてはそれぞれ載荷試験等で確認し所要値以上確保し施工前に報告すること。(確保方法は地盤改良を行う)  
 注6) 標記の地盤改良厚及び配合は想定値であり、必要地耐力を確保する様、地盤改良を行うこと。  
 注7) 出隅部で底版の主筋が上下に重なる所は下の鉄筋の有効性を優先し底版の厚みを鉄筋径分上へ増し打ちすること。  
 注8) 鉄筋の純かぶり厚は6cm以上とする。  
 注9) 底版が扇形状になる所はrが大きい方で規定ピッチになるよう配筋を行うこと。  
 注10) 上記に記載されている単位(重力単位系)による物理量はSI単位系により換算して読み替えるものとする。  
 注11) 鉄筋強度はSD345とする。  
 注12) 透水マットは田面より20cm以上下げること。

# 現場打L型擁壁構造図(2)

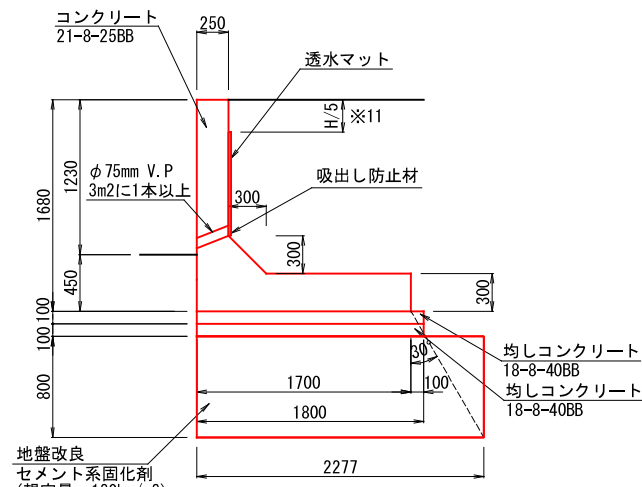
S=1:30

## 現場打L型擁壁3号(2)

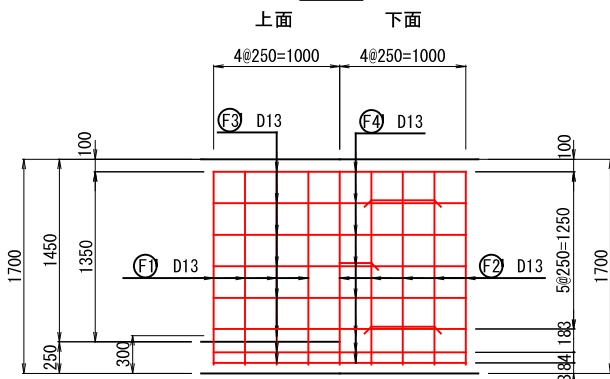
### たて壁



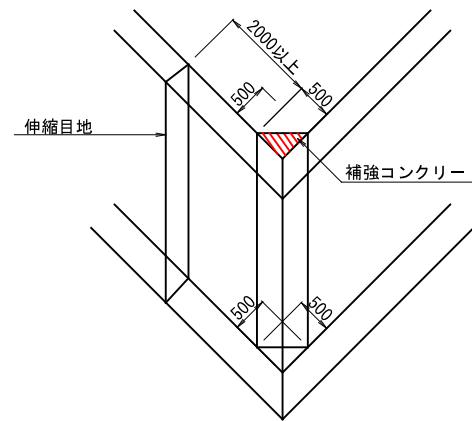
### 構造図



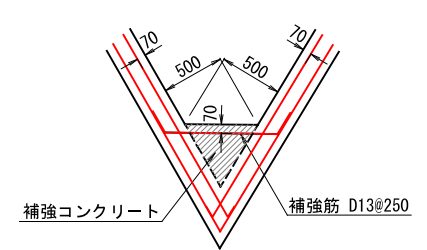
### 底板



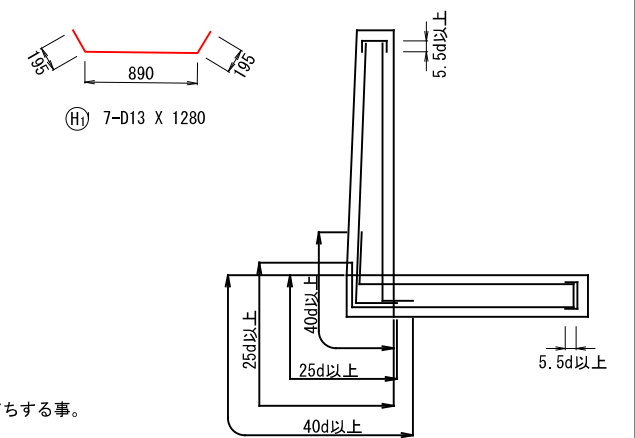
### 隅角部出隅補強図



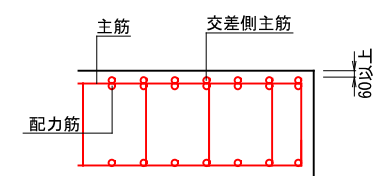
### 平面図



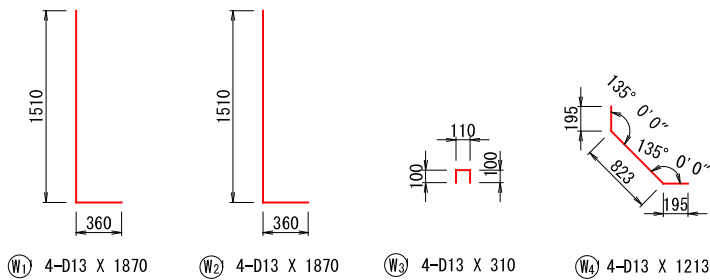
### 配筋要領図



### 出隅部底板配筋要領



※鉄筋外面より60mm以上の被りが取れない場合はコンクリートを増打ちする事。



### 鉄筋質量表

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	形状	摘要
W1	D13	1870	4	0.995	1.86	7.4	L	(平均長)
W2	D13	1870	4	0.995	1.86	7.4	L	(平均長)
W3	D13	310	4	0.995	0.31	1.2	□	
W4	D13	1213	4	0.995	1.21	4.8	∩	
W5	D13	1000	7	0.995	1.00	7.0	—	
W6	D13	1000	7	0.995	1.00	7.0	—	
F1	D13	1997	4	0.995	1.99	8.0	L	
F2	D13	1997	4	0.995	1.99	8.0	L	
F3	D13	1000	7	0.995	1.00	7.0	—	
F4	D13	1000	7	0.995	1.00	7.0	—	
S1	D13	310	2	0.995	0.31	0.6	□	
S2	D13	978	2	0.995	0.97	1.9	□	
						D13	67.3	kg

- 1) 定着は主鉄筋で40d以上その他は鉄筋コンクリート標準仕様書による。
- 2) 擁壁底版の根入れ深さは、H(見え高)の2割以上とし最低根入れ深さは45cmとする。
- 3) 伸縮目地は原則として20m以内に1カ所とし底版も設ける。但し擁壁折れ点からは2m以上ない擁壁の高さ程度離隔する。また折れ点は出隅補強する。
- 4) 基礎底版の地盤支持力についてはそれぞれ載荷試験等で確認し所要値以上確保し施工前に報告すること。(確保方法は地盤改良を行う)
- 5) 標記の地盤改良厚及び配合は想定値であり、必要地耐力を確保する様、地盤改良を行うこと。
- 6) 出隅部で底版の主筋が上下に重なる所は下の鉄筋の有効性を優先し底版の厚みを鉄筋径分上に増し打ちすること。
- 7) 鉄筋の縄かぶり厚は6cm以上とする。
- 8) 底版が扇形状になる所はrが大きい方で規定ピッチになるよう配筋を行うこと。
- 9) 上記に記載されている単位(重力単位系)による物理量はSI単位系により換算して読み替えるものとする。
- 10) 鉄筋強度はSD345とする。
- 11) 透水マットは田面より20cm以上下げる事。

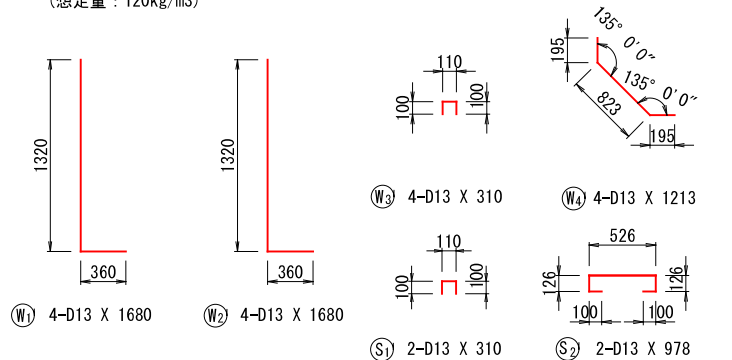
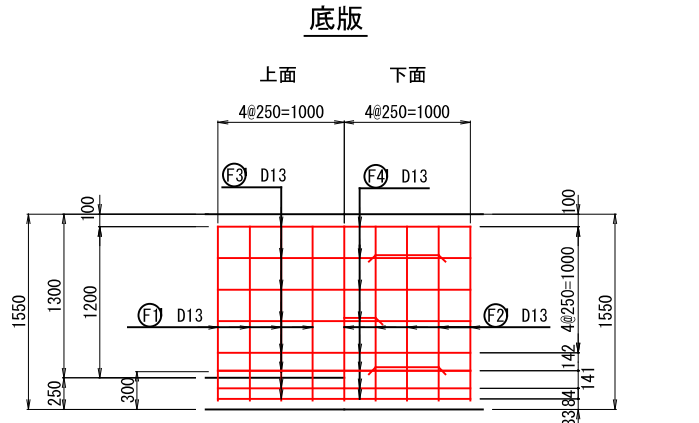
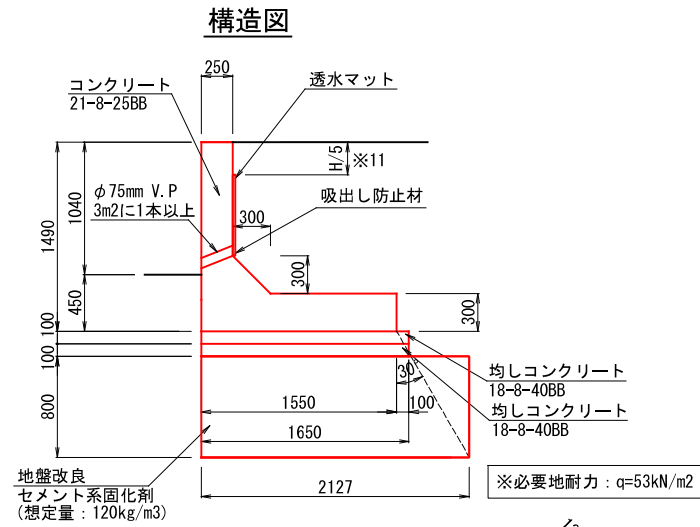
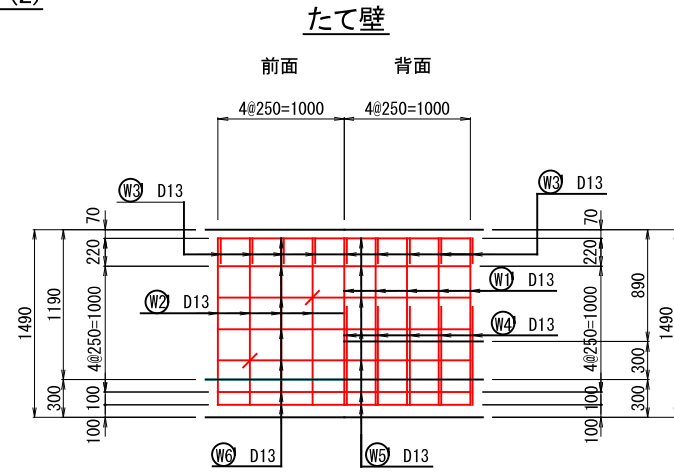
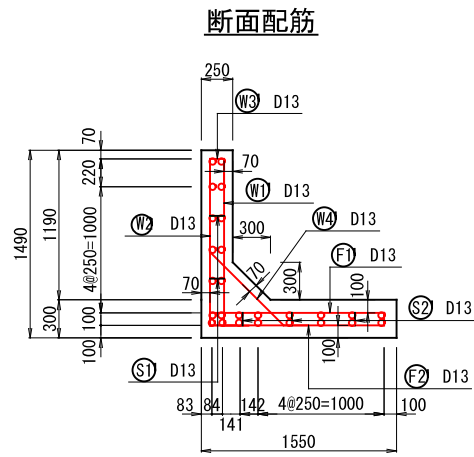
令和 年度	工事
事業	江井ヶ島松陰新田線
現場打L型擁壁構造図(2)	業主
縮尺	1:30
明石市 都市局 道路整備課	



# 現場打L型擁壁構造図(3)

(民地部擁壁) S=1:30

現場打L型擁壁1号-(2)

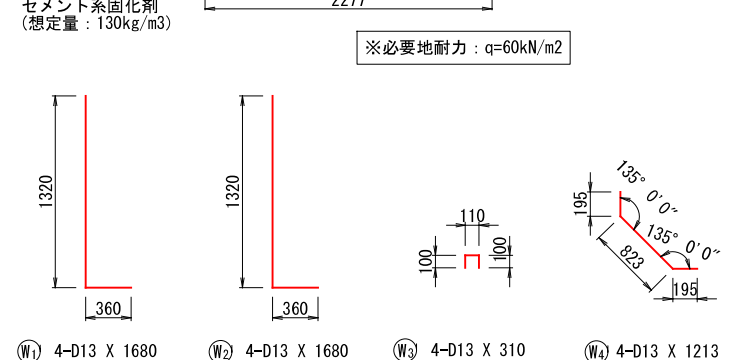
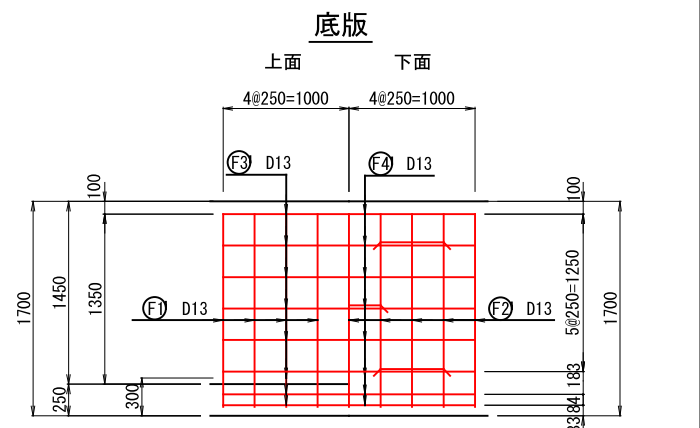
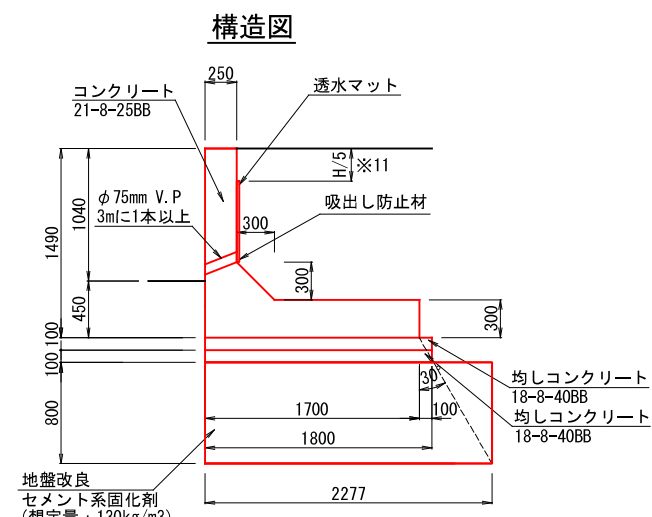
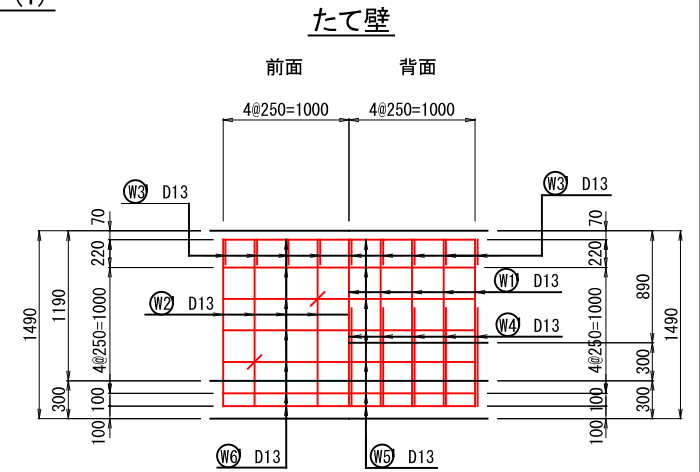
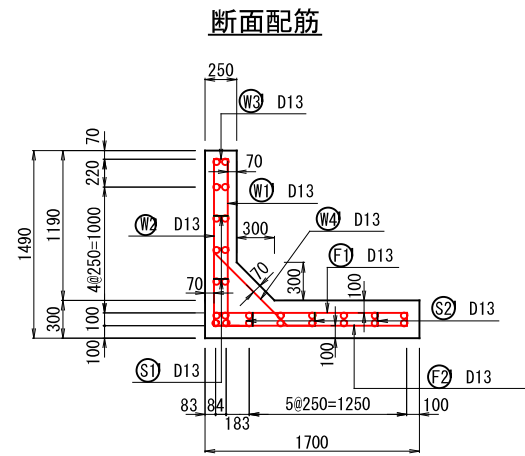


鉄筋質量表 1m当り

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	形状	摘要
W1	D13	1680	4	0.995	1.67	6.7	L	(平均長)
W2	D13	1680	4	0.995	1.67	6.7	L	(平均長)
W3	D13	310	4	0.995	0.31	1.2	□	
W4	D13	1213	4	0.995	1.21	4.8	∩	
W5	D13	1000	7	0.995	1.00	7.0	—	
W6	D13	1000	7	0.995	1.00	7.0	—	
F1	D13	1847	4	0.995	1.84	7.4	└	
F2	D13	1847	4	0.995	1.84	7.4	└	
F3	D13	1000	7	0.995	1.00	7.0	—	
F4	D13	1000	7	0.995	1.00	7.0	—	
S1	D13	310	2	0.995	0.31	0.6	□	
S2	D13	978	2	0.995	0.97	1.9	□	
					D13	64.7	kg	

- 注1) 定着は主鉄筋で40D以上その他は鉄筋コンクリート標準仕様書による。  
 注2) 擁壁底版の根入れ深さは、H(見え高)の2割以上とし最低根入れ深さは45cmとする。  
 注3) 伸縮目地は原則として20m以内に1カ所とし底版も設ける。但し擁壁折れ点からは2m以上ない擁壁の高さ程度離隔する。また折れ点は出隅補強する。  
 注4) 基礎底版の地盤支持力についてはそれぞれ載荷試験等で確認し所要値以上確保し施工前に報告すること。(確保方法は地盤改良を行う)  
 注5) 標記の地盤改良厚及び配合は想定値であり、必要地耐力を確保する様、地盤改良を行うこと。  
 注6) 出隅部で底版の主筋が上下に重なる所は下の鉄筋の有効性を優先し底版の厚みを鉄筋径分上りに増し打ちすること。  
 注7) 鉄筋の純かぶり厚は6cm以上とする。  
 注8) 底版が扇形状になる所はrが大きい方で規定ピッチになるよう配筋を行うこと。  
 注9) 上記に記載されている単位(重力単位系)による物理量はSI単位系により換算して読み替えるものとする。  
 注10) 鉄筋強度はSD345とする。  
 注11) 透水マットは田面より20cm以上下げること。

現場打L型擁壁3号-(1)



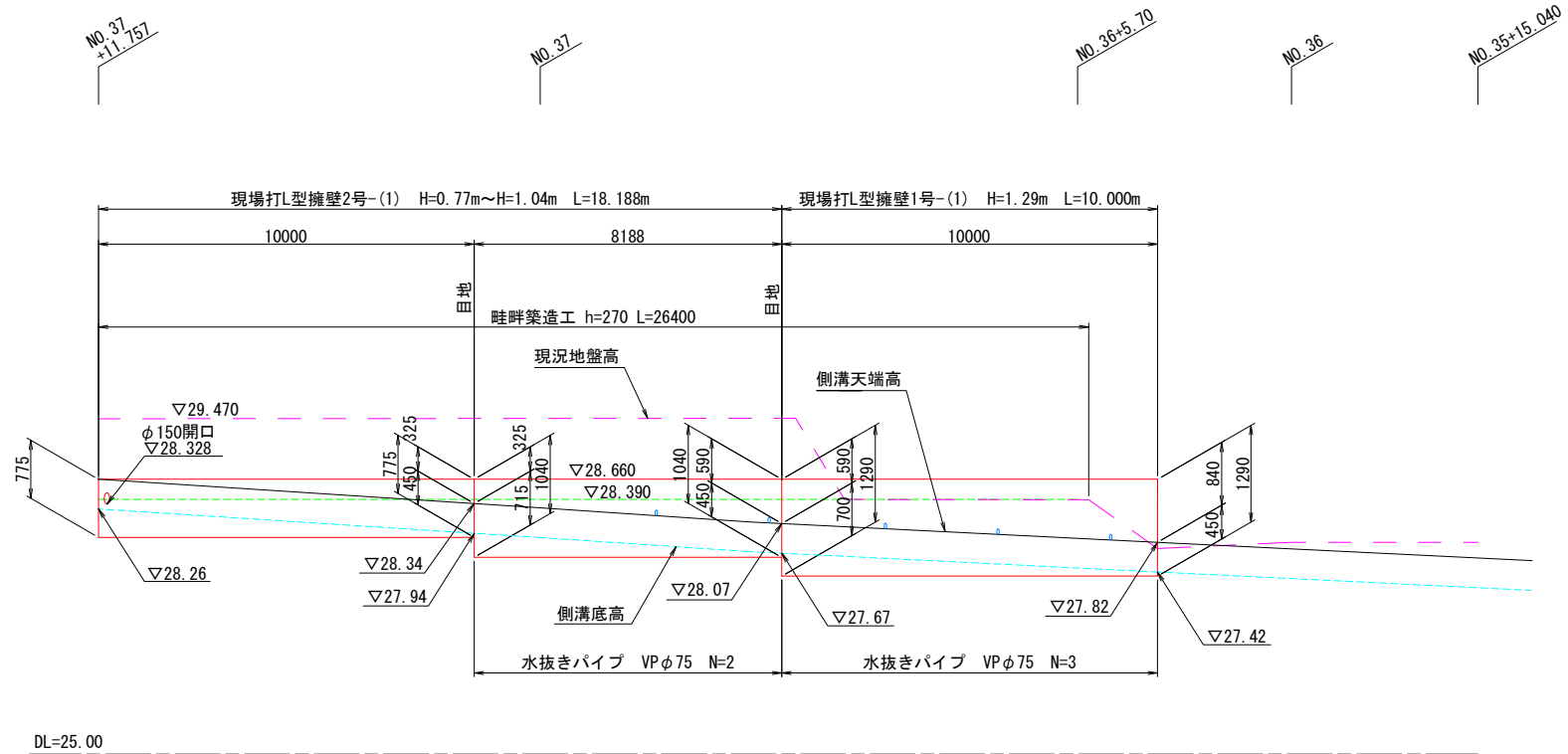
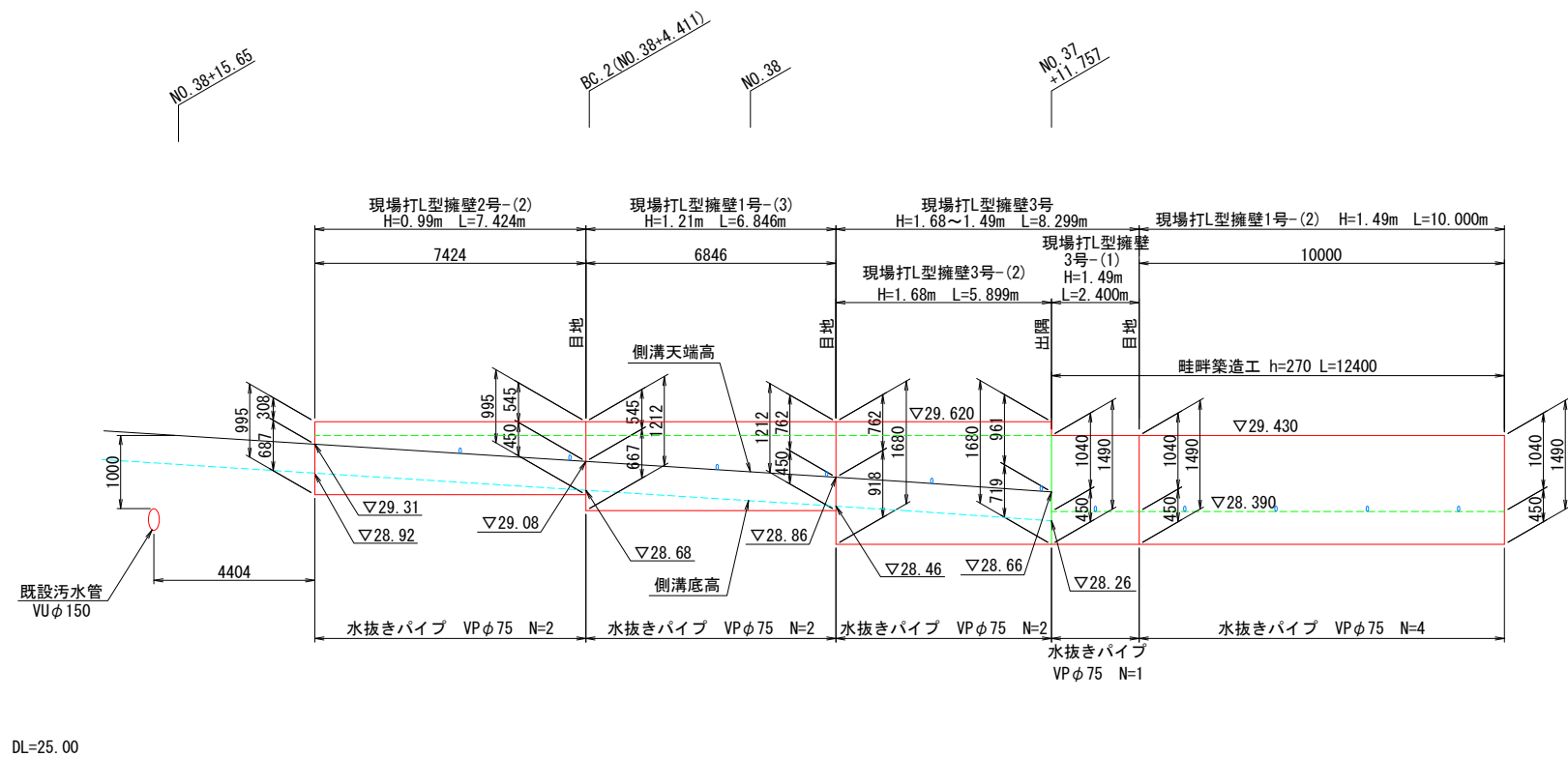
鉄筋質量表 1m当り

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	形状	摘要
W1	D13	1680	4	0.995	1.67	6.7	L	(平均長)
W2	D13	1680	4	0.995	1.67	6.7	L	(平均長)
W3	D13	310	4	0.995	0.31	1.2	□	
W4	D13	1213	4	0.995	1.21	4.8	∩	
W5	D13	1000	7	0.995	1.00	7.0	—	
W6	D13	1000	7	0.995	1.00	7.0	—	
F1	D13	1997	4	0.995	1.99	8.0	└	
F2	D13	1997	4	0.995	1.99	8.0	└	
F3	D13	1000	7	0.995	1.00	7.0	—	
F4	D13	1000	7	0.995	1.00	7.0	—	
S1	D13	310	2	0.995	0.31	0.6	□	
S2	D13	978	2	0.995	0.97	1.9	□	
					D13	65.9	kg	

令和 年度 工事  
 事業 江井ヶ島松陰新田線  
 現場打L型擁壁構造図(3)  
 縮尺 1:30  
 明石市 都市局 道路整備課

# 現場打L擁壁展開図

SH=1:100  
SV=1:50

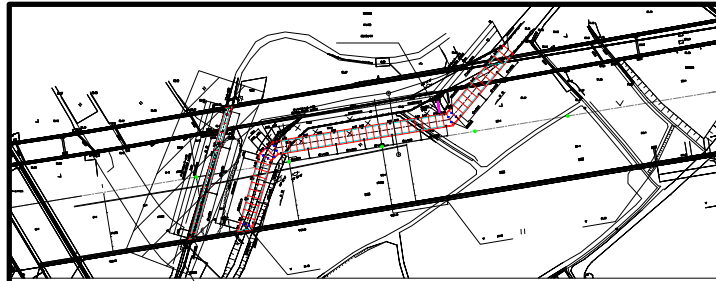


令和 4 年度 事業	工事
江井ヶ島松陰新田線	
江井ヶ島松陰新田線道路改良工事	
現場打L擁壁展開図	14 / 業全
縮尺 図示	16
明石市 都市局 道路整備課	

# ボックスカルバート割付図

1号

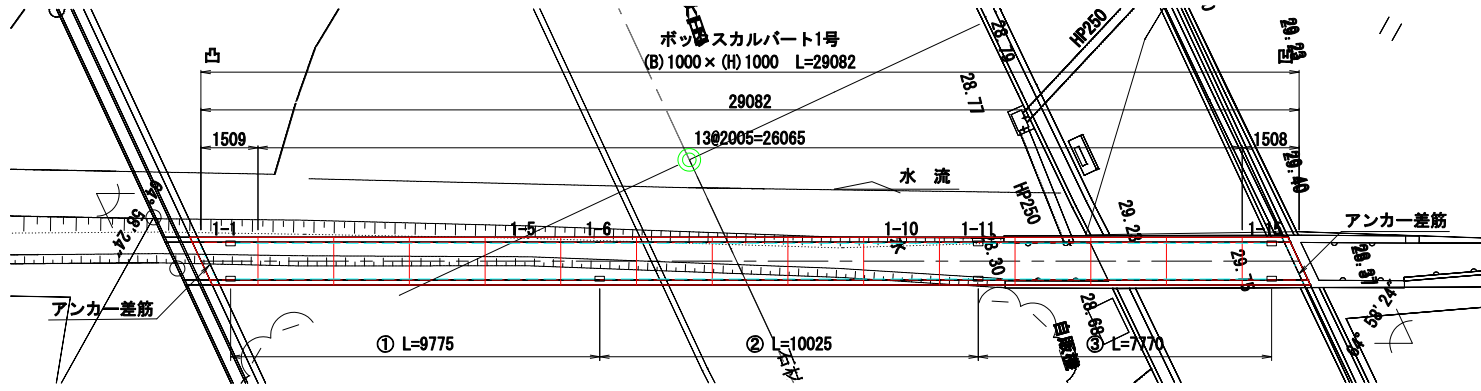
設計条件		
項目	単位	設計値
標準土被り	m	0.2-3.0
上載荷重	—	T-245
		横断・縦断
単位体積重量	鉄筋コンクリート	kN/m <sup>3</sup> 24.5
	土	kN/m <sup>3</sup> 18.0
土圧係数	—	0.5
外水位	—	なし



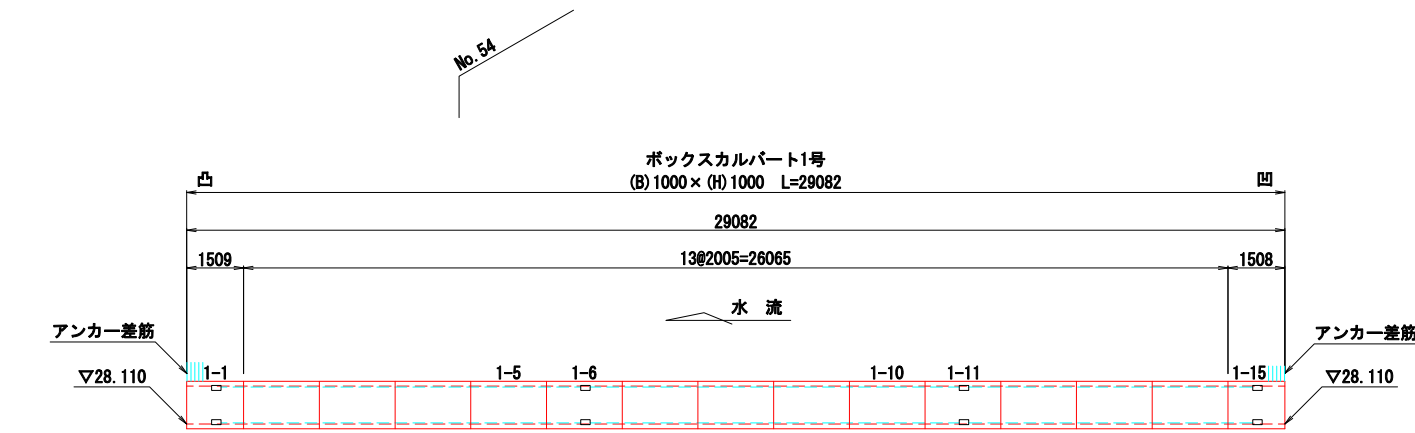
位置図

1号割付区間

平面図  
S=1:100



側面図  
S=1:100



DL=26.00

地覆擁壁構造図

下流側

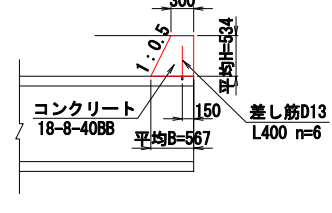
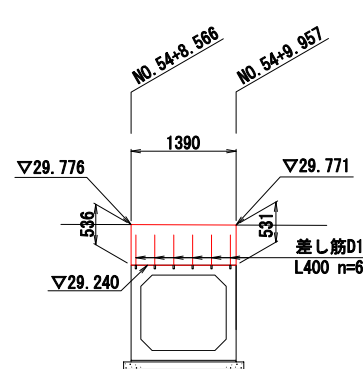
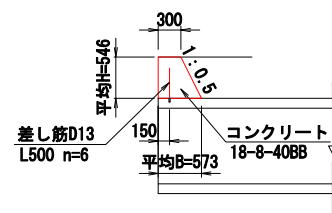
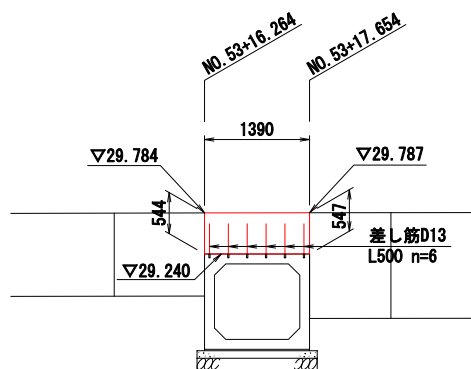
上流側

展開図  
S=1:50

断面図  
S=1:50

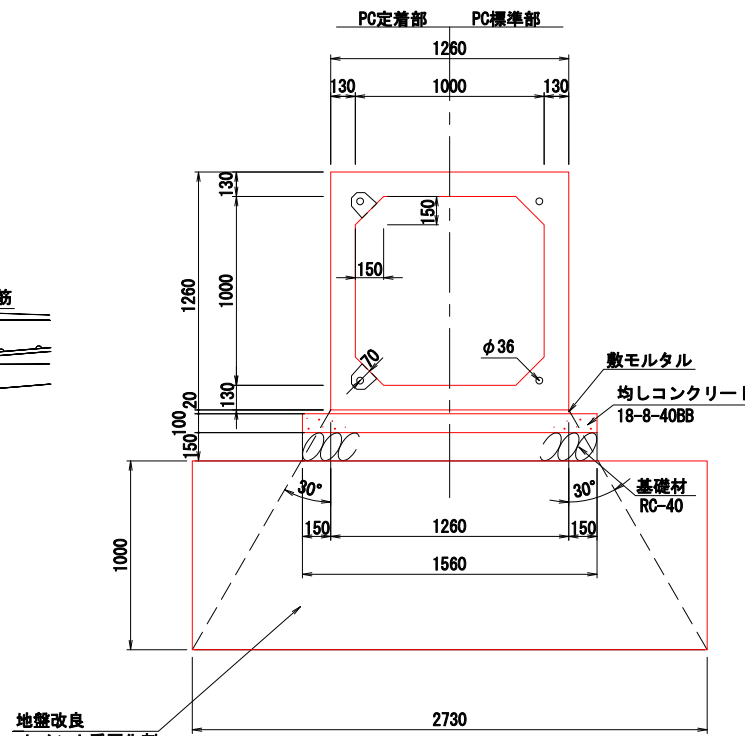
展開図  
S=1:50

断面図  
S=1:50



※差し筋は異形片ネジD13 (W1/2) とし、ボックスカルバート部はインサートナットを設置すること。

標準断面図  
S=1:20

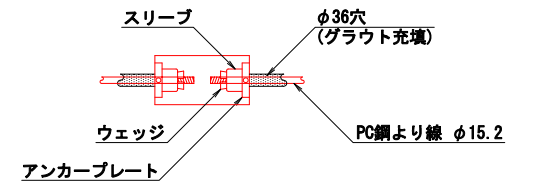


地盤改良  
セメント系固着剤  
(想定量: 120kg/m<sup>3</sup>)

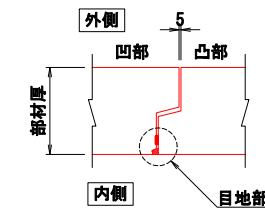
※必要地耐力: q=95kN/m<sup>2</sup>

※地盤改良厚hは1000mmを想定しているが、施工時に地盤支持力の確認を行い、必要地耐力を満たさない場合、適切な地盤改良を行うこと。

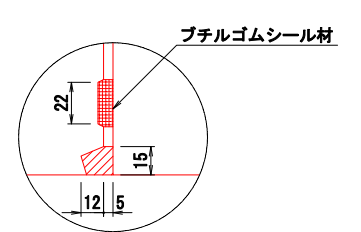
定着部詳細図  
S=1:10



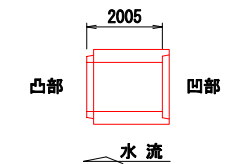
継手詳細図  
S=1:10



目地部詳細図  
S=1:50



寸法旗揚げ位置図  
S=1:100



1号 PC縦締め材料表

縦締め区間	締め付力	区間数	延長	PC綱より線 7本よりφ15.2	アンカープレート 75×75×19	スリーブ ウェッジ	グラウト
①	80.0 kN	1	9.775 m	11.300 m × 4 本	8枚	8組	0.036 m <sup>3</sup>
②	80.0 kN	1	10.025 m	11.550 m × 4 本	8枚	8組	0.037 m <sup>3</sup>
③	60.0 kN	1	7.770 m	9.300 m × 4 本	8枚	8組	0.029 m <sup>3</sup>
合計		3		128.600m	24枚	24組	0.102 m <sup>3</sup>

※縦締め数量表は、下流側より施工（上流側にて締付）した場合を示す。  
 ※上流端は、緊張作業のため、余留が必要となる。  
 ※PC綱より線の規格はSMPR7BM又はSMPR7B（許容緊張力180kN）とする。  
 ※グラウトは、低粘性型無収縮グラウトを原則とする。  
 マスターフロー-150（ポリスソリューションズ株式会社）同等品以上。

1号 製品数量表

製品番号	サイズ			規格	数量	参考質量	摘要
	B	H	L				
	1000	1000	2000	標準	11 本	3160 kg	
1-6, 1-11			2000	定着用	2 本	3160 kg	
1-1			1798 1210	斜角 定着用 アンカー差筋	1 本	2380 kg	D13 L=500 n=6
1-15			1209 1797	斜角 定着用 アンカー差筋	1 本	2370 kg	D13 L=400 n=6
合計					15 本		

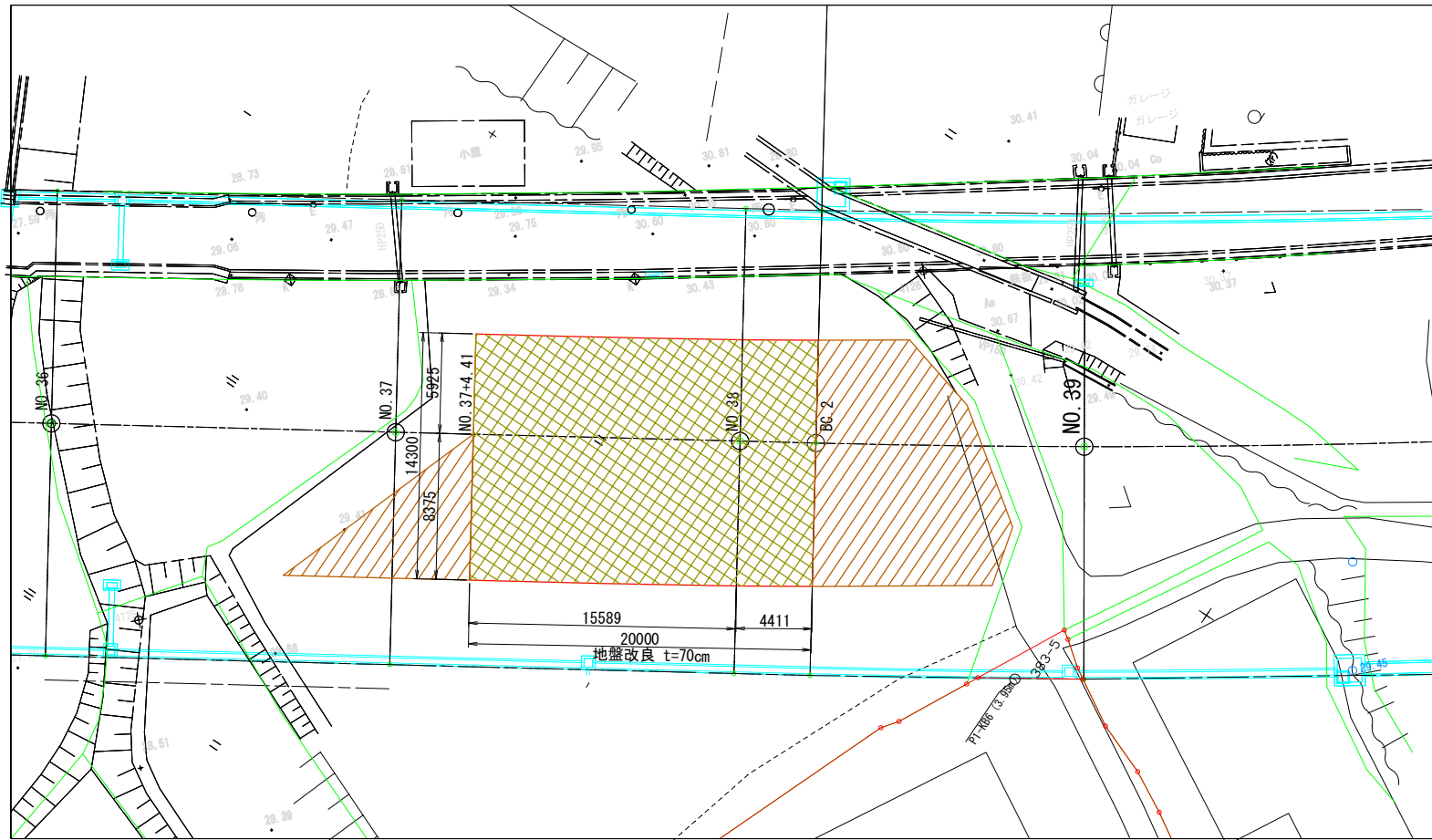
435213069-C-1-20220624

※製品1本につき伸びを5mm考慮。

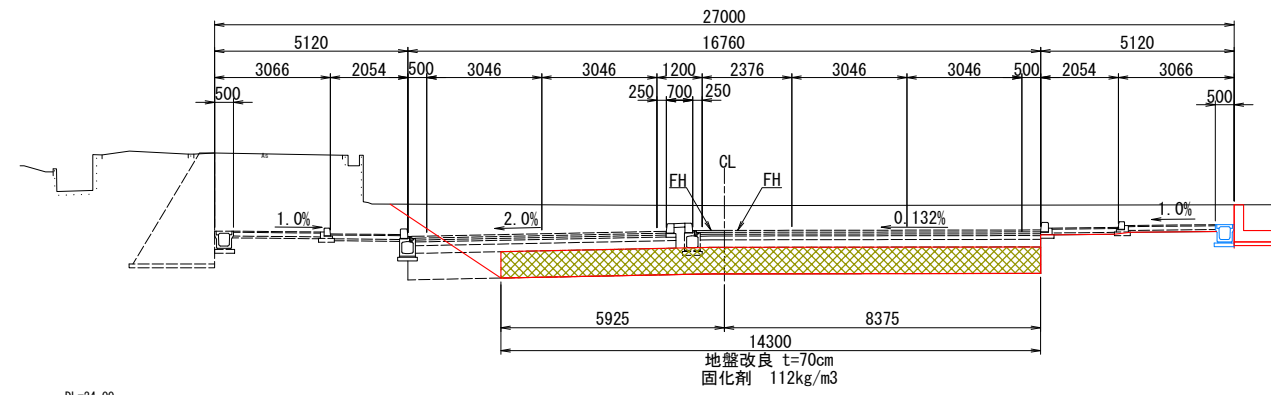
令和4年度 事業	工事
江井ヶ島松陰新田線	
江井ヶ島松陰新田線道路改良工事	
ボックスカルバート割付図	15
縮尺	図示 16
明石市 都市局 道路整備課	

# 地盤改良工詳細図

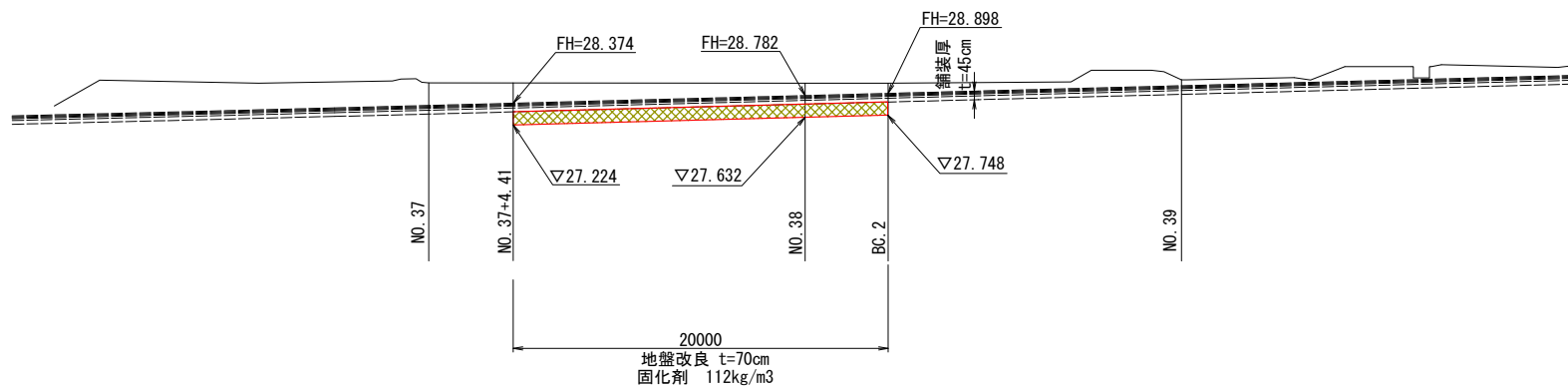
平面図 S=1:200



横断図 S=1:100  
NO. 38



縦断図 S=1:200



令和 4 年度 事業	工事
江井ヶ島松陰新田線	
江井ヶ島松陰新田線道路改良工事	
地盤改良工詳細図	16 / 全
縮尺	図示 16
明石市 都市局 道路整備課	

令和04年度 江井ヶ島松陰新田線道路改良工事

見積参考図書  
(当初設計)

工事番号

路線名等 市道大久保840号線

工事箇所 明石市大久保町松陰新田地内

工種 道路改良



# 総括情報表

単価適用年月日	0-04.08.01(0)		
	今 回		前 回
工種区分 (公共) 施工地域区分	04 道路改良 26 補正無し		

# 工事費内訳書

頁0-0002/0139

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							
	道路改良						
	道路土工						
	掘削工						
	掘削						
	作業土工	1		式			工種 第0001号明細表
	床掘り						
	埋戻し	1		式			工種 第0002号明細表
	残土処理工	1		式			工種 第0003号明細表



# 工事費内訳書

頁0-0003/0139

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
土砂等運搬						
	1		式			工種 第0004号明細表
残土等処分						
	1		式			工種 第0005号明細表
地盤改良工						
路床安定処理工						
安定処理						
	1		式			工種 第0006号明細表
安定処理工(擁壁)						
安定処理(擁壁)						
	1		式			工種 第0007号明細表
安定処理工(カルバート)						
安定処理(カルバート)						
	1		式			工種 第0008号明細表

# 工事費内訳書

頁0-0004/0139

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
擁壁工						
場所打擁壁工(構造物単位)						
現場打L型擁壁 1号 L=16.8m 平均高H=1.25m	1		式			工種 第0009号明細表
現場打L型擁壁 2号 L=25.6m 平均高H=0.92m	1		式			工種 第0010号明細表
現場打L型擁壁 3号 L=5.9m 平均高H=1.68m	1		式			工種 第0011号明細表
カルバート工						
プレキャストカルバート工						
プレキャストボックス	1		式			工種 第0012号明細表
排水構造物工						

# 工事費内訳書

頁0-0005/0139

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
側溝工						
プレキャストU型側溝						
自由勾配側溝	1		式			工種 第0013号明細表
側溝蓋	1		式			工種 第0014号明細表
集水柵・マンホール工	1		式			工種 第0015号明細表
現場打ち集水柵						
構造物撤去工	1		式			工種 第0016号明細表
構造物取壊し工						
舗装版切断						
	1		式			工種 第0017号明細表

# 工事費内訳書

頁0-0006/0139

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版破碎						
	1		式			工種 第0018号明細表
コンクリートはつり						
	1		式			工種 第0019号明細表
運搬処理工						
殻運搬						
	1		式			工種 第0020号明細表
殻処分						
	1		式			工種 第0021号明細表
仮設工						
交通管理工						
交通誘導警備員						
	1		式			工種 第0022号明細表
直接工事費計						

# 工事費内訳書

頁0-0007/0139

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費計						
技術管理費						
地質調査費			式			
軟弱地盤調査費	1		式			工種 第0023号明細表
	1		式			工種 第0024号明細表
共通仮設費率分			式			
純工事費計						
現場管理費			式			
工事原価計						
一般管理費等			式			



# 工事費内訳書

頁0-0009/0139

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
附帯工事費(1)						
道路改良						
道路土工						
掘削工						
掘削						
作業土工	1		式			工種 第0025号明細表
床掘り						
埋戻し	1		式			工種 第0026号明細表
残土処理工	1		式			工種 第0027号明細表

# 工事費内訳書

頁0-0010/0139

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
土砂等運搬						
	1		式			工種 第0028号明細表
残土等処分						
	1		式			工種 第0029号明細表
地盤改良工						
安定処理工 (擁壁)						
安定処理 (擁壁)						
	1		式			工種 第0030号明細表
擁壁工						
場所打擁壁工(構造物単位)						
現場打型擁壁 1号-2 L=10.0m 平均高さH=1.49	1		式			工種 第0031号明細表
現場打型擁壁 3号-1 L=2.4m 平均高H=1.49	1		式			工種 第0032号明細表



# 工事費内訳書

頁0-0011/0139

	費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
	畦畔工						
	畦畔工						
	畦畔工						
	支障物撤去工	1		式			工種 第0033号明細表
	石材撤去工						
	石材撤去工						
	復元測量	1		式			工種 第0034号明細表
	復元測量						
	復元測量						
	復元測量	1		式			工種 第0035号明細表

# 工事費内訳書

頁0-0012/0139

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設工						
仮排水工						
仮排水工						
土砂等運搬	1		式			工種 第0036号明細表
土砂等処分	1		式			工種 第0037号明細表
	1		式			工種 第0038号明細表
舗装						
舗装工						
アスファルト舗装工						
上層路盤(車道・路肩部)	1		式			工種 第0039号明細表

# 工事費内訳書

頁0-0013/0139

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
表層(車道・路肩部)						
仮設工	1		式			工種 第0040号明細表
交通管理工						
交通誘導警備員						
	1		式			工種 第0041号明細表
直接工事費計						
共通仮設費計						
準備費						
試掘工			式			
	1		式			工種 第0042号明細表
技術管理費						
			式			

# 工事費内訳書

頁0-0014/0139

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
軟弱地盤調査費						
	1		式			工種 第0043号明細表
共通仮設費率分			式			
純工事費計						
現場管理費						
工事原価計			式			
一般管理費等						
工事価格			式			
消費税相当額						
合 計			式			

















名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
安定処理 施工箇所->構造物基礎 混合深さ->1m以下 固化材使用量=9.5 t/100m <sup>2</sup>	35	m <sup>2</sup>			施工 第0-0011号内訳表
安定処理 施工箇所->構造物基礎 混合深さ->1m以下 固化材使用量=7.9 t/100m <sup>2</sup>	45	m <sup>2</sup>			施工 第0-0012号内訳表
安定処理 施工箇所->構造物基礎 混合深さ->1m以下 固化材使用量=10.4 t/100m <sup>2</sup>	13	m <sup>2</sup>			施工 第0-0013号内訳表
合 計	1	式			



現場打L型擁壁1号

## 工種明細表

頁0-0024/0139

L=16.8m

平均高H=1.25m

工種 第0009号明細表

名称・規格	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	2		m3						施工	第0-0015号内訳表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	3		m2						施工	第0-0016号内訳表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	2		m3						施工	第0-0015号内訳表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	3		m2						施工	第0-0016号内訳表
コンクリート(場所打擁壁) コンクリート(各種) 一般養生	12		m3						施工	第0-0017号内訳表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	44		m2						施工	第0-0018号内訳表
鉄筋工 異形棒鋼 (SD345) D13mm	1.05		t						施工	第0-0019号内訳表
一般用硬質塩化ビニル管(VP管) 径75mm×厚5.5mm×長4000mm	0.3		本							
吸出防止材設置	0.4		m2						施工	第0-0020号内訳表



現場打L型擁壁2号

## 工種明細表

頁0-0026/0139

L=25.6m

平均高H=0.92m

工種 第0010号明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	3	m3			施工 第0-0015号内訳表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	5	m2			施工 第0-0016号内訳表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	3	m3			施工 第0-0015号内訳表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	5	m2			施工 第0-0016号内訳表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	13	m3			施工 第0-0022号内訳表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	47	m2			施工 第0-0018号内訳表
鉄筋工 異形棒鋼 (SD345) D13mm	0.56	t			施工 第0-0019号内訳表
一般用硬質塩化ビニル管 (VP管) 径75mm×厚5.5mm×長4000mm	0.2	本			
吸出防止材設置	0.3	m2			施工 第0-0020号内訳表





現場打L型擁壁3号

## 工種明細表

頁0-0028/0139

L=5.9m

平均高H=1.68m

工種 第0011号明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	1	m3			施工 第0-0015号内訳表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	1	m2			施工 第0-0016号内訳表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	1	m3			施工 第0-0015号内訳表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	1	m2			施工 第0-0016号内訳表
コンクリート(場所打擁壁) コンクリート(各種) 一般養生	5	m3			施工 第0-0017号内訳表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	20	m2			施工 第0-0018号内訳表
鉄筋工 異形棒鋼 (SD345) D13mm	0.39	t			施工 第0-0019号内訳表
一般用硬質塩化ビニル管(VP管) 径75mm×厚5.5mm×長4000mm	0.1	本			
吸出防止材設置	0.1	m2			施工 第0-0020号内訳表



# 工種明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
ボックスカルバート 作業区分→据付 L=2.0m/個 0<B≤1.25 0<H≤1.25	29	m			施工 第0-0023号内訳表
ボックスカルバート B1000*1000*2000 縦締・シース孔	11	本			
ボックスカルバート B1000*1000*2000 縦締・定着	2	本			
ボックスカルバート B1000*1000*1798/1210 縦締・定着	1	本			
ボックスカルバート B1000*1000*1209/1797 縦締・定着	1	本			
定着金具	24	組			
PC鋼より線 φ15.2mm	128	m			
1号地覆擁壁工（下流側）	1	箇所			施工 第0-0024号内訳表
1号地覆擁壁工（上流側）	1	箇所			施工 第0-0026号内訳表











































現場打L型擁壁1号-2

## 工種明細表

頁0-0050/0139

L=10.0m

平均高さH=1.49

工種 第0031号明細表

名称・規格	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	1		m3			施工 第0-0015号内訳表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	2		m2			施工 第0-0016号内訳表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	1		m3			施工 第0-0015号内訳表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	2		m2			施工 第0-0016号内訳表
コンクリート(場所打擁壁) コンクリート(各種) 一般養生	8		m3			施工 第0-0017号内訳表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	31		m2			施工 第0-0018号内訳表
鉄筋工 異形棒鋼 (SD345) D13mm	0.64		t			施工 第0-0019号内訳表
一般用硬質塩化ビニル管(VP管) 径75mm×厚5.5mm×長4000mm	0.25		本			
吸出防止材設置	0.36		m2			施工 第0-0020号内訳表





現場打L型擁壁3号-1

## 工種明細表

頁0-0052/0139

L=2.4m

平均高H=1.49

工種 第0032号明細表

名称・規格	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	0.4		m3						施工	第0-0015号内訳表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	0.4		m2						施工	第0-0016号内訳表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	0.4		m3						施工	第0-0015号内訳表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	0.4		m2						施工	第0-0016号内訳表
コンクリート(場所打擁壁) コンクリート(各種) 一般養生	2		m3						施工	第0-0017号内訳表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	8		m2						施工	第0-0018号内訳表
鉄筋工 異形棒鋼 (SD345) D13mm	0.16		t						施工	第0-0019号内訳表
一般用硬質塩化ビニル管(VP管) 径75mm×厚5.5mm×長4000mm	0.06		本							
吸出防止材設置	0.09		m2						施工	第0-0020号内訳表





















名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員 B	43	人日			施工 第0-0049号内訳表
交通誘導警備員 B	21	人日			施工 第0-0071号内訳表
交通誘導警備員 B	21	人日			施工 第0-0072号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
試掘工	1	箇所			施工 第0-0073号内訳表
殻運搬 舗装版破碎	0.2	m3			施工 第0-0045号内訳表
土砂等運搬 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)	6	m3			施工 第0-0068号内訳表
処分費 アスファルト殻	1	式			施工 第0-0074号内訳表
処分費 土砂	1	式			施工 第0-0075号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
溶出試験（配合試験時） 六価加ム（環境庁告示第46号） 前処理費・溶出液作成料含む	1	検体			
溶出試験（施工時） 六価加ム（環境庁告示第46号） 前処理費・溶出液作成料含む	1	検体			
合 計	1	式			

掘削  
[規格1] 土砂 オープンカット

[規格2] 5,000m3未満

# 積算単価算出表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0065/0139  
m3 当り

[ 摘要 ]

1

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) [標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(3次)]				バックホウ(クローラ型)			
K								
R1	運転手(特殊)				運転手(特殊)			
R								
Z1	軽油 1.2号 ハトロール給油				軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土質	=1	土砂					
B	施工方法	=1	オープンカット					
D	押土の有無	=2	無し					
E	障害の有無	=1	無し					
F	施工数量	=3	5,000m3未満					

床掘り  
[規格1] 土砂 上記以外(小規模)

[規格2] 擁壁部

# 積算単価算出表

施工 第0-0002号内訳表

頁0-0066/0139  
m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホ(クロー型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホ(クロー型)			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土質	=1		土砂				
B	施工方法	=5		上記以外(小規模)				



床掘り  
[規格1] 土砂 上記以外(小規模)

[規格2] 排水部

# 積算単価算出表

施工 第0-0003号内訳表

頁0-0067/0139  
m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホ(クロー型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホ(クロー型)			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土質	=1	土砂					
B	施工方法	=5	上記以外(小規模)					

床掘り  
[規格1] 土砂 上記以外(小規模)

[規格2] カルバート部

# 積算単価算出表

施工 第0-0004号内訳表

頁0-0068/0139  
m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホ(クローラ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホ(クローラ型)			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土質	=1	土砂					
B	施工方法	=5	上記以外(小規模)					

埋戻し  
[規格1] 上記以外(小規模) 土砂

[規格2] 擁壁部

# 積算単価算出表

施工 第0-0005号内訳表

頁0-0069/0139  
m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホ(クローラ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホ(クローラ型)			
K2	タンパ 及びランマ 質量60~80kg			タンパ 及びランマ			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z2	ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	施工方法	=5	上記以外(小規模)				
B	土質	=1	土砂				

埋戻し  
[規格1] 上記以外(小規模) 土砂

[規格2] 排水部

# 積算単価算出表

施工 第0-0006号内訳表

頁0-0070/0139  
m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホ(クローラ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホ(クローラ型)			
K2	タンパ 及びランマ 質量60~80kg			タンパ 及びランマ			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z2	ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z							
				計			
積算単価 =							
A 施工方法	=5		上記以外(小規模)				
B 土質	=1		土砂				

埋戻し  
[規格1] 上記以外(小規模) 土砂

[規格2] カルバート部

# 積算単価算出表

施工 第0-0007号内訳表

頁0-0071/0139  
m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホ(クローラ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホ(クローラ型)			
K2	タンパ 及びランマ 質量60~80kg			タンパ 及びランマ			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z2	ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	施工方法	=5	上記以外(小規模)				
B	土質	=1	土砂				

土砂等運搬

[規格1] 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)

[規格2]

# 積算単価算出表

施工 第0-0008号内訳表

頁0-0072/0139

[ 摘要 ]

1

m3 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土砂等発生現場	=1	標準					
B	積込機種・規格	=1	バックホ山積0.8m3(平積0.6m3)					
C	土質	=1	土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
D	DID区間の有無	=2	有り					
E	運搬距離	=14	6.0km以下					



安定処理

[規格1] 施工箇所->路床 混合深さ->1m以下

[規格2] 固化材使用量=7.84 t/100m2

# 積算単価算出表

施工 第0-0010号内訳表

頁0-0074/0139

[ 摘要 ] 1 m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ 山積0.45m3(平積0.35m3)2.9t吊 [クローラ型クレーン付] 超低騒音型・排出ガス対策型			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含)			
K2		タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含)			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tパック			セメント系固化材 発塵抑制型			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	使用機種	=2	バックホウ					
B	施工箇所	=1	路床					
C	混合深さ	=3	1m以下					
D	固化材100m2当り使用量(t/100m2)	=7.84	固化材100m2当り使用量(t/100m2)					
F	固化材の種類	=7	固化材(各種)					
G	固化材(各種)(円/t)の単価コード	=1	固化材(各種)(円/t)の単価コード					



安定処理

[規格1] 施工箇所→構造物基礎 混合深さ→1m以下 [規格2] 固化材使用量=9.5 t/100m2

# 積算単価算出表

施工 第0-0011号内訳表

頁0-0075/0139

[ 摘要 ]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊 [クローラ型クレーン付] 超低騒音型・排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含)			
K2		振動ローラ(舗装用) 質量0.8~1.1t [ハンドガイト式]			振動ローラ			
K								
R1		土木一般世話役			土木一般世話役			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tパック			セメント系固化材 発塵抑制型			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	使用機種	=2	バックホウ					
B	施工箇所	=2	構造物基礎					
C	混合深さ	=3	1m以下					
D	固化材100m2当り使用量(t/100m2)	=9.5	固化材100m2当り使用量(t/100m2)					
F	固化材の種類	=7	固化材(各種)					
G	固化材(各種)(円/t)の単価コード	=1	固化材(各種)(円/t)の単価コード					

安定処理

[規格1] 施工箇所→構造物基礎 混合深さ→1m以下 [規格2] 固化材使用量=7.9 t/100m2

# 積算単価算出表

施工 第0-0012号内訳表

頁0-0076/0139

[ 摘要 ]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊 [クローラ型クレーン付]			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含)			
K2		超低騒音型・排出ガス対策型含 振動ローラ(舗装用) 質量0.8~1.1t [ハンドガイト式]			振動ローラ			
K								
R1		土木一般世話役			土木一般世話役			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tパック			セメント系固化材 発塵抑制型			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	使用機種	=2	バックホウ					
B	施工箇所	=2	構造物基礎					
C	混合深さ	=3	1m以下					
D	固化材100m2当り使用量(t/100m2)	=7.9	固化材100m2当り使用量(t/100m2)					
F	固化材の種類	=7	固化材(各種)					
G	固化材(各種)(円/t)の単価コード	=1	固化材(各種)(円/t)の単価コード					

安定処理

# 積算単価算出表

施工 第0-0013号内訳表

頁0-0077/0139

[規格1] 施工箇所->構造物基礎 混合深さ->1m以下

[規格2] 固化材使用量=10.4 t/100m2

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊 [クローラ型クレーン付]			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含)			
K2		超低騒音型・排出ガス対策型含 振動ローラ(舗装用) 質量0.8~1.1t [ハンドガイト式]			振動ローラ			
K								
R1		土木一般世話役			土木一般世話役			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tパック			セメント系固化材 発塵抑制型			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	使用機種	=2	バックホウ					
B	施工箇所	=2	構造物基礎					
C	混合深さ	=3	1m以下					
D	固化材100m2当り使用量(t/100m2)	=10.4	固化材100m2当り使用量(t/100m2)					
F	固化材の種類	=7	固化材(各種)					
G	固化材(各種)(円/t)の単価コード	=1	固化材(各種)(円/t)の単価コード					

安定処理

[規格1] 施工箇所→構造物基礎 混合深さ→1m以下 [規格2] 固化材使用量= 1.2 t /100m2

# 積算単価算出表

施工 第0-0014号内訳表

頁0-0078/0139

[ 摘要 ]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊 [クローラ型クレーン付] 超低騒音型・排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含)			
K2		振動ローラ(舗装用) 質量0.8~1.1t [ハンドガイト式]			振動ローラ			
K								
R1		土木一般世話役			土木一般世話役			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tパック			セメント系固化材 発塵抑制型			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	使用機種	=2	バックホウ					
B	施工箇所	=2	構造物基礎					
C	混合深さ	=3	1m以下					
D	固化材100m2当り使用量(t/100m2)	=12	固化材100m2当り使用量(t/100m2)					
F	固化材の種類	=7	固化材(各種)					
G	固化材(各種)(円/t)の単価コード	=1	固化材(各種)(円/t)の単価コード					

# 積算単価算出表

標準単価	代表機労材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K									
R1		普通作業員				普通作業員			
R2		特殊作業員				特殊作業員			
R3		土木一般世話役				土木一般世話役			
R									
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%				生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比60%以下			
Z									
						計			
積算単価 =									
A	構造物種別	=1	無筋・鉄筋構造物						
B	打設工法	=4	人力打設						
C	コンクリート規格	=9	18-8-40BB[水セメント比 60%以下]						
E	養生工の種類	=2	一般養生						
G	現場内小運搬の有無	=2	無し						

型枠  
[規格1] 一般型枠

[規格2] 均しコンクリート

# 積算単価算出表

施工 第0-0016号内訳表

1  
頁0-0080/0139  
m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		型わく工			型わく工			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	型枠の種類	=1	一般型枠					
B	構造物の種類	=4	均しコンクリート					

コンクリート(場所打擁壁)  
[規格1] コンクリート(各種)

[規格2] 一般養生

# 積算単価算出表

施工 第0-0017号内訳表

頁0-0081/0139  
m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	コンクリートポンプ車 圧送能力90~110m <sup>3</sup> /h [トラック架装・フォーム式]			コンクリートポンプ車			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R4	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			コンクリート 21-8-25BB			
Z2	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	生コンクリート規格 =3		コンクリート(各種)				
B	養生工の種類 =1		一般養生				
C	圧送管延長距離区分 =1		延長無し				
D	コンクリート(各種) (円/m <sup>3</sup> )の単価コード =2		コンクリート(各種) (円/m <sup>3</sup> )の単価コード				

型枠  
[規格1] 一般型枠

[規格2] 鉄筋・無筋構造物

# 積算単価算出表

施工 第0-0018号内訳表

頁0-0082/0139  
m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		型わく工			型わく工			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	型枠の種類	=1	一般型枠					
B	構造物の種類	=1	鉄筋・無筋構造物					







目地板  
[規格1] 瀝青質目地板 t=10mm

[規格2]

# 積算単価算出表

施工 第0-0021号内訳表

頁0-0085/0139  
m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		瀝青繊維質目地板 厚さ10mm			瀝青質板 (厚10mm)			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	目地板の種類	=1		瀝青質目地板 t=10mm				

# 積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		コンクリートポンプ車 圧送能力90~110m3/h [トラック架装・ブーム式]			コンクリートポンプ車			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R4		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			コンクリート 21-8-25BB			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	構造物種別	=1	無筋・鉄筋構造物					
B	打設工法	=1	コンクリートポンプ車打設					
C	コンクリート規格	=27	コンクリート(各種)					
D	設計日打設量	=1	10m3以上100m3未満					
E	養生工の種類	=2	一般養生					
F	圧送管延長距離区分	=1	延長無し					
I	コンクリート(各種)(円/m3)の単価コード	=2	コンクリート(各種)(円/m3)の単価コード					

ボックスカルバート  
[規格1] 作業区分→据付 L=2.0m/個

[規格2] 0<B≤1.25 0<H≤1.25

# 積算単価算出表

施工 第0-0023号内訳表

頁0-0087/0139

[ 摘要 ]

1

m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ラフテレンクレーン 25t吊 [油圧伸縮シブ型] 排出ガス対策型含			ラフテレンクレーン(排出ガス対策型含) ホータ付き			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		特殊作業員			特殊作業員			
R								
Z1		ボックスカルバート RC B600×H600×L2000 T-25 土被り0.2~3.0m			ダミー			
Z								
					計			
	積算単価 =							
A	作業区分	=1	据付					
B	製品長	=3	2.0m/個					
C	内空幅・内空高(m)	=1	0<B≤1.25 0<H≤1.25					
D	基礎材種別	=1	基礎砕石+均しコンクリート					
E	PC鋼材による縦締め	=2	有り					
F	ボックスカルバート(円/m)の単価コード	=0	ボックスカルバート(円/m)の単価コード					









# 施工単価表

施工 第0-0027号内訳表

頁0-0091/0139

プラスチックU型 落ちふた式U形側溝 1種(歩道用)

[規格1] JIS133

[規格2]

[ 摘要 ]

10

m 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
JIS側溝 1種 JIS133 歩道用[下水汚泥スラグ入り]		m			
U型側溝 機械・労務	10.00	m			施工 第0-0028号内訳表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	0.60	m <sup>3</sup>			施工 第0-0015号内訳表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	2.00	m <sup>2</sup>			施工 第0-0016号内訳表
合 計	10	m			
単 位 当 り	1	m			
A U型側溝の形状 B 寸法 C 基礎材区分		=1 =2 =1			落ちふた式U形側溝 1種(歩道用) JIS100型 B:300 H:300 [JIS133/JIS333] コンクリート基礎
D 夜間作業の有無 E 時間的制約の有無 F 施工箇所における補正		=1 =1 =1			昼間作業 時間的制約なし 無し







モルタル練  
[規格1] 高炉 混合比->1:3

[規格2]

# 積算単価算出表

施工 第0-0031号内訳表

頁0-0095/0139  
m3 当り

1

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		セメント 高炉B 25kg袋入			高炉セメント(B種)			
Z2		砂 細目(洗い)			砂 洗砂			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	セメント種別	=3	高炉					
B	砂種類	=1	洗砂					
C	混合比	=3	1:3					

# 施工単価表

施工 第0-0032号内訳表

頁0-0096/0139

土留め式可変側溝

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備	1 箇所 当り 考
土留め式可変側溝 300*600*2000	1	本				
土留め式可変側溝 300*700*2000	1	本				
土留め式可変側溝 300*800*2000	2	本				
自由勾配側溝 機械・労務	8	m				施工 第0-0030号内訳表
土留め式可変側溝 300*900*2000	1	本				
土留め式可変側溝 300*1000*2000	1	本				
土留め式可変側溝 300*1100*2000	1	本				
自由勾配側溝 機械・労務	6	m				施工 第0-0033号内訳表
再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)		m <sup>3</sup>				
生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下		m <sup>3</sup>				
モルタル練 高炉 混合比->1:3	0.25	m <sup>3</sup>				施工 第0-0031号内訳表
生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下		m <sup>3</sup>				













# 施工単価表

施工 第0-0037号内訳表

頁0-0102/0139

現場打集水桝42

[規格1]400\*400\*400

[規格2]

[ 摘要 ]

1

箇所 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
型桝 一般型桝 均しコンクリート	0.62	m2			施工 第0-0016号内訳表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	0.06	m3			施工 第0-0015号内訳表
型桝 一般型桝 小型構造物	2.37	m2			施工 第0-0038号内訳表
コンクリート 小型構造物	0.20	m3			施工 第0-0039号内訳表
グレーチング蓋 400*400 細目 取手付 110° 開閉 受桝共	1	枚			
蓋版 機械・労務	1	枚			施工 第0-0035号内訳表
差込式分水栓 B1-150U	1	個			
単 位 当 り	1	箇所			

型枠  
[規格1] 一般型枠

[規格2] 小型構造物

# 積算単価算出表

施工 第0-0038号内訳表

1  
頁0-0103/0139  
m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		型わく工			型わく工			
R2		普通作業員			普通作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	型枠の種類	=1	一般型枠					
B	構造物の種類	=2	小型構造物					

# 積算単価算出表

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	構造物種別	=2	小型構造物					
B	打設工法	=4	人力打設					
C	コンクリート規格	=10	18-12-20BB[水セメント比 60%以下]					
E	養生工の種類	=2	一般養生					
G	現場内小運搬の有無	=2	無し					



基礎砕石

[規格 1] 砕石厚->12.5cmを超え17.5cm以下

[規格 2] 再生クラッシャー RC-30, RC-40

# 積算単価算出表

施工 第0-0041号内訳表

頁0-0106/0139

[ 摘要 ]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含				バックホウ(排出ガス対策型含)			
K									
R1		普通作業員				普通作業員			
R2		特殊作業員				特殊作業員			
R3		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
R4		土木一般世話役				土木一般世話役			
R									
Z1		再生クラッシャー RC-40				再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油				軽油			
Z									
						計			
積算単価 =									
A	砕石の厚さ	=3	12.5cmを超え17.5cm以下						
B	砕石の種類	=1	再生クラッシャー RC-30, RC-40						



舗装版切断(アスファルト舗装版)  
[規格 1] As舗装版厚->15cm以下

[規格 2]

# 積算単価算出表

施工 第0-0042号内訳表

頁0-0107/0139  
m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		コンクリートカッタ 切削深20cm級 [ハキューム式・湿式]			コンクリートカッタ			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		コンクリートカッタ(プレート) 径22インチ			舗道版切断 カッタープレート			
Z2		カソリン レギュラー スタンド			レギュラーカソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	舗装版種別	=1		アスファルト舗装版				
B	アスファルト舗装版厚	=1		15cm以下				

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		小型バックホウ積込0.13m <sup>3</sup> (平積0.10m <sup>3</sup> ) [クローラ型・排出ガス型(第2次基準値)]			小型バックホウ(クローラ型)			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								



殻運搬  
[規格1] 舗装版破碎

[規格2]

# 積算単価算出表

施工 第0-0045号内訳表

頁0-0110/0139  
m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		ダンプトラック[オロト・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 2t積級[オロト・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	殻発生作業	=3	舗装版破碎					
B	積込工法区分	=4	機械(小規模土工)					
C	DID区間の有無	=2	有り					
D	運搬距離	=20	8.0km以下					

殻運搬

[規格 1] コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし

[規格 2]

# 積算単価算出表

[ 摘要 ]

施工 第0-0046号内訳表

頁0-0111/0139

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		タンブトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			タンブトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	殻発生作業	=2	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし					
B	積込工法区分	=1	機械					
C	DID区間の有無	=2	有り					
D	運搬距離	=20	8.0km以下					











安定処理

[規格1] 施工箇所→構造物基礎 混合深さ→1m以下 [規格2] 固化材使用量=9.4t/100m2

# 積算単価算出表

施工 第0-0051号内訳表

頁0-0116/0139

[ 摘要 ]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊 [クローラ型クレーン付] 超低騒音型・排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含)			
K2		振動ローラ(舗装用) 質量0.8~1.1t [ハンドガイト式]			振動ローラ			
K								
R1		土木一般世話役			土木一般世話役			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1tパック			セメント系固化材 発塵抑制型			
Z2		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	使用機種	=2	バックホウ					
B	施工箇所	=2	構造物基礎					
C	混合深さ	=3	1m以下					
D	固化材100m2当り使用量(t/100m2)	=9.4	固化材100m2当り使用量(t/100m2)					
F	固化材の種類	=7	固化材(各種)					
G	固化材(各種)(円/t)の単価コード	=1	固化材(各種)(円/t)の単価コード					



土砂等運搬

[規格1] 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)

[規格2]

# 積算単価算出表

施工 第0-0054号内訳表

頁0-0118/0139

[ 摘要 ]

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[オロト・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 2t積級[オロト・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土砂等発生現場	=2	小規模					
B	積込機種・規格	=6	バックホ山積0.13m3(平積0.1m3)					
C	土質	=1	土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
D	DID区間の有無	=2	有り					
E	運搬距離	=44	24.0km以下					



# 施工単価表

施工 第0-0056号内訳表

頁0-0120/0139

復元測量

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
測量技師		人			1 処分費
測量技師補		人			1 処分費
測量助手		人			1 処分費
測量補助員		人			1 処分費
機械経費		%			
材料費		%			
精度管理費		%			
<変化率による補正>		万m2			
単 位 当 り	1	万m2			
A 地域区分		=5	耕地		

# 施工単価表

施工 第0-0057号内訳表

頁0-0121/0139

仮排水工

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	1 箇所 備考 当り
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	10	m			施工 第0-0042号内訳表
舗装版破碎積込(小規模土工)	13	m <sup>2</sup>			施工 第0-0043号内訳表
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	10	m <sup>3</sup>			施工 第0-0058号内訳表
暗渠排水管 据付・撤去 波状管及び網状管(200~400mm)	60	m			施工 第0-0059号内訳表
大型土のう製作・設置 流用土	2	袋			施工 第0-0060号内訳表
大型土のう撤去	2	袋			施工 第0-0062号内訳表
埋戻し 再生切込碎石	10	m <sup>3</sup>			施工 第0-0064号内訳表
上層路盤(車道・路肩部) 粒調碎石 M-25, M-30, M-40 t = 150mm	13	m <sup>2</sup>			施工 第0-0066号内訳表
表層(車道・路肩部) t = 50mm 密粒度アスコン[再](13)	13	m <sup>2</sup>			施工 第0-0067号内訳表
単 位 当 り	1	箇所			

床掘り  
[規格1] 土砂 上記以外(小規模)

[規格2]

# 積算単価算出表

施工 第0-0058号内訳表

頁0-0122/0139  
m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホ(クロー型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホ(クロー型)			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土質	=1		土砂				
B	施工方法	=5		上記以外(小規模)				



暗渠排水管  
[規格1] 据付・撤去

[規格2] 波状管及び網状管(200~400mm)

# 積算単価算出表

施工 第0-0059号内訳表

頁0-0123/0139

[ 摘要 ]

1  
m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		暗渠排水管 波状管 呼び径300mm 高密度ポリエチレン管(シングル構造)			高密度ポリエチレン管 φ300			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	作業区分	=3	据付・撤去					
B	管種別	=2	波状管及び網状管					
C	呼び径	=2	200~400mm					
D	継手材料費	=1	要					
E	暗渠排水管(円/m)の単価コード	=3	暗渠排水管(円/m)の単価コード					

# 施工単価表

施工 第0-0060号内訳表

頁0-0124/0139

大型土のう製作・設置

[規格1] 名称・規格	[規格2]流用土	[摘要]	10	袋	当り
名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
大型土のう(1.5t用) φ110(丸形)×110(7ヶ付)		枚			
土砂(流用土)		m3			
バックホ運転(賃料)		日			
諸雑費		%			
合計	10	袋			
単位当り	1	袋			
A 作業区分		=1	製作・設置		
B 土のう袋の種類		=1	普通型(1.5t用)		
C 袋詰土区分		=2	流用土		
D 作業半径		=1	6m以下		

# 施工単価表

施工 第0-0062号内訳表

頁0-0125/0139

大型土のう撤去

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
バックホ運転 (賃料)		日			
合 計	10	袋			
単 位 当 り	1	袋			
A 作業区分 D 作業半径		=4 =1	撤去 6m以下		

10 袋 当り



埋戻し  
[規格 1] 上記以外(小規模) 土砂

[規格 2]

# 積算単価算出表

施工 第0-0065号内訳表

頁0-0127/0139  
m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホ(クローラ型) 山積0.28m3 (平積0.2m3) [後方超小旋回型・排ガス(第2次)]			バックホ(クローラ型)			
K2	タンパ 及びランマ 質量60~80kg			タンパ 及びランマ			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z2	ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z							
				計			
積算単価 =							
A 施工方法	=5		上記以外(小規模)				
B 土質	=1		土砂				

上層路盤(車道・路肩部)  
 [規格1] 粒調碎石 M-25, M-30, M-40

[規格2] t = 150mm

# 積算単価算出表

施工 第0-0066号内訳表

頁0-0128/0139  
 m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	モータロータ フレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			モータロータ			
K2	ロッドロー 質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロッドロー			
K3	タイヤロー 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤロー(排出ガス対策型含)			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	普通作業員			普通作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生粒度調整碎石 RM-40 全厚t=150mm			粒調碎石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2	軽油 1.2号 ハトール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	材料	=3	粒調碎石 M-25, M-30, M-40				
D	全仕上り厚(mm)	=150	全仕上り厚(mm)				
E	施工区分	=1	1層施工				

表層(車道・路肩部)  
[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

# 積算単価算出表

施工 第0-0067号内訳表

1  
頁0-0129/0139  
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハンドガイド式]			振動ローラ(舗装用)			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	アスファルト混合物 密粒度AS混合物(20) t=50mm			密粒度アスファルト混合物(再生材) TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	ガソリン レキユール スタント			レキユールガソリン			
Z4	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=1	1.4m未満(1層当り平均厚50mm以下)				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=8	密粒度アスコン[再](13)				

表層(車道・路肩部)

[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

# 積算単価算出表

施工 第0-0067号内訳表

頁0-0130/0139

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
D	夜間割増の有無	=1	無し					
E	瀝青材料種類	=2	プライコート PK-3					



土砂等運搬

[規格1] 土質->土砂(岩塊・玉石混り土含む)

[規格2]

# 積算単価算出表

[ 摘要 ]

施工 第0-0068号内訳表

頁0-0131/0139

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		ダンプトラック[オロト・ディーゼル] 4t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 4t積級[オロト・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K								
R1		運転手(一般)			運転手(一般)			
R								
Z1		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土砂等発生現場	=2	小規模					
B	積込機種・規格	=5	バックホ山積0.28m3(平積0.2m3)					
C	土質	=1	土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
D	DID区間の有無	=2	有り					
E	運搬距離	=16	7.0km以下					



表層(車道・路肩部)  
[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

# 積算単価算出表

施工 第0-0070号内訳表

頁0-0133/0139  
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	アスファルトフィニッシャ 舗装幅2.3~6.0m [ホイール型] 排出ガス対策型含			アスファルトフィニッシャ(排出ガス対策型含)			
K2	ロータリー 質量10~12t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロータリー(排出ガス対策型含)			
K3	タイヤローラ 質量8~20t  排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含)			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	アスファルト混合物 密粒度AS混合物(20) t=50mm			密粒度アスファルト混合物(再生材) TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							







# 施工単価表

施工 第0-0073号内訳表

頁0-0137/0139

試掘工

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数	[規格2] 単位	[摘要] 単価	金額	1 箇所 考 当り
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚->15cm以下	8	m			施工 第0-0042号内訳表
舗装版破碎積込(小規模土工)	4	m <sup>2</sup>			施工 第0-0043号内訳表
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	6	m <sup>3</sup>			施工 第0-0058号内訳表
埋戻し 再生切込砕石	5	m <sup>3</sup>			施工 第0-0064号内訳表
上層路盤(車道・路肩部) 粒調砕石 M-25, M-30, M-40 t = 150mm	4	m <sup>2</sup>			施工 第0-0066号内訳表
表層(車道・路肩部) t = 50mm 密粒度アスコン[再](13)	4	m <sup>2</sup>			施工 第0-0067号内訳表
単 位 当 り	1	箇所			





